

曾 於 市 学 校 施 設 等 長 寿 命 化 計 画



令和2年3月
(令和7年3月改訂)

曾 於 市

-改訂履歴-

版	年月	改訂内容／改訂理由
第 1 版	令和 2 年 3 月	新規策定。
第 2 版	令和 7 年 3 月	一部施設の解体撤去や利用終了に伴い、第 5 章．長寿命化の実施計画 3．事業計画策定（1）今後 10 年間の事業計画の内容を修正。

目 次

序章. 学校施設等の長寿命化計画の背景・目的等

1. 背景と目的	1
2. 計画の位置づけ	2
3. 計画期間	4
4. 計画における対象施設	4

第1章. 学校施設等の目指すべき姿

1. 学校施設等の今日的な課題	5
(1) 安全・快適な学校施設の環境向上	5
(2) 児童生徒の減少に伴う適正な学校の規模	5
(3) 社会の変化に対応した教育機器・教材の拡充	5
(4) 生活空間としての施設の充実	6
(5) 地域のコミュニティ施設としての活用	6
2. 学校施設のあり方	8

第2章. 学校施設等の実態

1. 学校施設等を取り巻く状況	10
(1) 人口・世帯数の推移	10
(2) 地域別人口の推移	11
(3) 将来人口	14
(4) 財政状況	17
2. 運営状況・活用状況の把握	20
(1) 公共施設全体の保有状況	20
(2) 学校施設等の保有状況	21
(3) 児童・生徒数及び学級数の変化	26
(4) 学校施設の配置状況	32
(5) 学校の維持管理コスト	34
(6) 学校施設等の実態を踏まえた課題	41
3. 学校施設等の老朽化状況	44
(1) 学校施設等の老朽化状況の把握	44
(2) 学校施設等の老朽化所見	57

第3章. 学校施設等設備の基本方針

1. 学校施設の規模・配置状況を踏まえた施設整備	58
--------------------------	----

(1) 施設整備の方策	58
(2) 統合化への展望	60
2. 改修等の基本的な方針	61
(1) 長寿命化の方針	61
(2) 予防保全の方針	64
(3) 目標使用年数の設定	64
(4) 改修周期の設定	65

第4章. 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準

1. 改修等の整備水準	67
2. 維持管理の項目・手法等	69
(1) 維持管理の必要性	69
(2) 維持管理の項目	69
(3) 点検・評価結果の蓄積	71

第5章. 長寿命化の実施計画

1. 施設評価及び優先順位	72
(1) 施設評価	72
(2) 改修等の優先順位	72
2. ライフサイクルコストの算定	73
3. 事業計画策定	77
(1) 今後10年間の事業計画	77
(2) 事業推進のための財源	82

第6章. 長寿命化計画の継続的運営方針

1. 情報基盤の整備と活用	83
(1) 施設カルテ及び建物目視調査票の作成	83
(2) データベース及び簡易マニュアルの作成	83
(3) データベースの活用	83
2. 推進体制の整備	84
3. フォローアップ	85

目 次

序章. 学校施設等の長寿命化計画の背景・目的等

1. 背景と目的	1
2. 計画の位置づけ	2
3. 計画期間	4
4. 計画における対象施設	4

第1章. 学校施設等の目指すべき姿

1. 学校施設等の今日的な課題	5
(1) 安全・快適な学校施設の環境向上	5
(2) 児童生徒の減少に伴う適正な学校の規模	5
(3) 社会の変化に対応した教育機器・教材の拡充	5
(4) 生活空間としての施設の充実	6
(5) 地域のコミュニティ施設としての活用	6
2. 学校施設のあり方	8

第2章. 学校施設等の実態

1. 学校施設等を取り巻く状況	10
(1) 人口・世帯数の推移	10
(2) 地域別人口の推移	11
(3) 将来人口	14
(4) 財政状況	17
2. 運営状況・活用状況の把握	20
(1) 公共施設全体の保有状況	20
(2) 学校施設等の保有状況	21
(3) 児童・生徒数及び学級数の変化	26
(4) 学校施設の配置状況	32
(5) 学校の維持管理コスト	34
(6) 学校施設等の実態を踏まえた課題	41
3. 学校施設等の老朽化状況	44
(1) 学校施設等の老朽化状況の把握	44
(2) 学校施設等の老朽化所見	57

第3章. 学校施設等設備の基本方針

1. 学校施設の規模・配置状況を踏まえた施設整備	58
--------------------------	----

(1) 施設整備の方策	58
(2) 統合化への展望	60
2. 改修等の基本的な方針	61
(1) 長寿命化の方針	61
(2) 予防保全の方針	64
(3) 目標使用年数の設定	64
(4) 改修周期の設定	65

第4章. 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準

1. 改修等の整備水準	67
2. 維持管理の項目・手法等	69
(1) 維持管理の必要性	69
(2) 維持管理の項目	69
(3) 点検・評価結果の蓄積	71

第5章. 長寿命化の実施計画

1. 施設評価及び優先順位	72
(1) 施設評価	72
(2) 改修等の優先順位	72
2. ライフサイクルコストの算定	73
3. 事業計画策定	77
(1) 今後10年間の事業計画	77
(2) 事業推進のための財源	82

第6章. 長寿命化計画の継続的運営方針

1. 情報基盤の整備と活用	83
(1) 施設カルテ及び建物目視調査票の作成	83
(2) データベース及び簡易マニュアルの作成	83
(3) データベースの活用	83
2. 推進体制の整備	84
3. フォローアップ	85



序章 学校施設等の長寿命化計画の背景・目的等

1. 背景と目的

本市の学校施設等は、高度経済成長期を契機として昭和 40 年代から 50 年代に集中して整備され、長寿命化の検討となる築 40 年以上を経過する建物が全体の約 4 割を占めている状態です。

その中で、校舎、屋内運動場等の主要建物の合計 161 棟のうち、44 棟が旧耐震基準である昭和 56 年以前に建設されたものであったため、これらを対象に耐震診断を行い、基準に満たない建物は改築や耐震補強工事等を実施しました。また、令和元年度から令和 2 年度にかけては小中学校の老朽化した屋内運動場の非構造部材の改修工事を実施しているところです。

建築物は、耐震補強を行った建物を含め、建築から長い年数が経過した建物や設備の老朽化により、今後も更に、建替え又は大規模改修に多額の費用が必要となると考えられます。

しかしながら、厳しい財政状況の中、学校施設等の整備を集中的に行うことは困難であり、財政運営に大きな影響を与えることから、計画的な施設整備を行う必要があります。

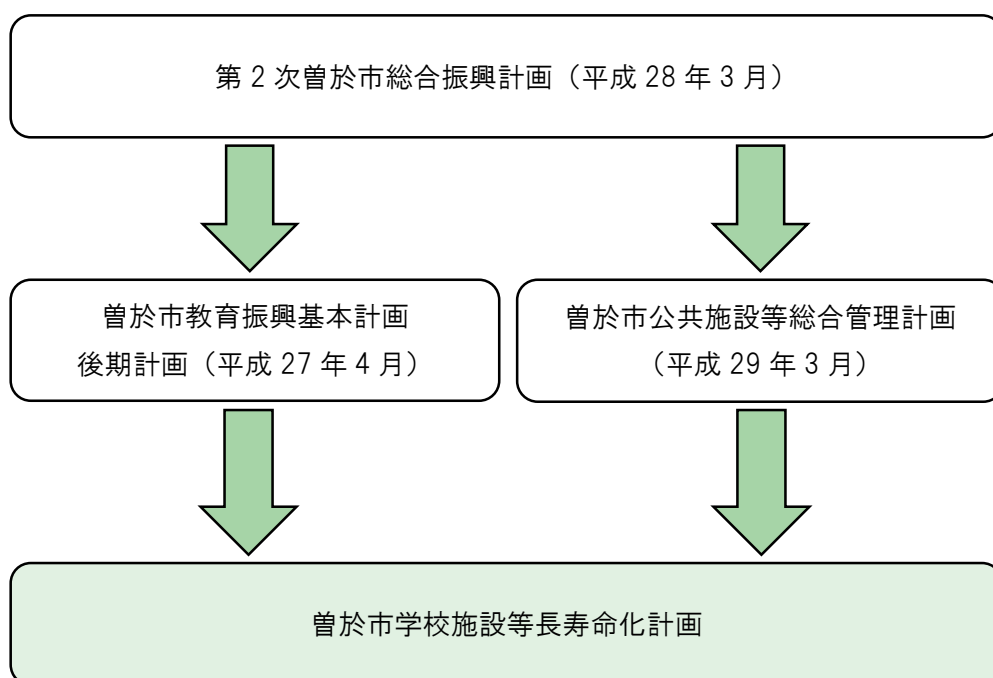
全国的に同様の傾向が見られる中、文部科学省は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」を公表し、単なる更新のための改修・改築ではなく、施設を長い期間、有効利用できる長寿命化改修への転換、計画的な維持管理に向けた中長期計画の策定・実施の考え方を示しています。

学校施設等長寿命化計画（以下、「本計画」という。）は、以上の背景を踏まえ、中長期的な視点から学校施設として求められる機能や役割などを考慮しながら長寿命化改修、建替等の方向性や優先順位等を設定し、施設整備に要するライフサイクルコストの縮減、財政負担の平準化、児童生徒の安全性の確保や適正な教育環境の充実を図ることを目的として策定するものです。

2. 計画の位置づけ

本計画は、以下の上位・関連計画を踏まえ、それらの内容との整合を図りながら、多様な機能や役割を充足しつつ、施設の維持管理を計画的に行うことで長寿命化を図ることを目的に策定します。

また、次頁では、上位計画である「第2次曾於市総合振興基本計画」、「曾於市教育振興基本計画 後期計画」、「曾於市公共施設等総合管理計画」における学校施設等に関する内容について整理します。



上位・関連計画	学校施設等に関する内容																						
第2次 曾於市総合振興計画	「第Ⅲ編 基本計画」9-1. 充実した教育環境の整備 10年後、子供たちが安心・安全な環境で夢実現のために学べるとともに、時代の要望に合致した学校施設になることを目指します。 ● 安心安全な学校施設 国の補助事業や基金積立等により、財源を確保しながら学校施設の改善を行っていきます。 ● パソコン、ICT 機器の整備 タブレット PC、無線 LAN の整備により、最新の ICT 環境を構築し、児童・生徒の学習環境を改善します。																						
曾於市 教育振興基本計画 後期計画	「第5章 今後5年間に取組む施策」 Ⅲ 学びを支える安全・安心で魅力ある教育環境の実現 充実した教育活動を存分に展開できる、機能的な施設・設備環境を整え、快適で十分な安全性、防災性や衛生的な環境を整えた安全・安心な学校施設として整備を図っていきます。 ● 安心・安全な学校施設の整備 【数値目標】 <table><tr><th rowspan="2">項 目</th><th>現状値</th><th>目標値</th><th rowspan="2">説 明</th></tr><tr><th>平成25年度</th><th>平成31年度</th></tr><tr><td>学校施設の耐震化率</td><td>97%</td><td>100%</td><td>2次診断による。</td></tr><tr><td>非構造部材の耐震化率</td><td>0.0%</td><td>100%</td><td></td></tr><tr><td>小学校施設整備実施計画</td><td>無</td><td>策定</td><td>事業化の推進</td></tr><tr><td>図書室の空調設備設置率</td><td>69.6% (23校中16校)</td><td>100% (23校中23校)</td><td></td></tr></table>	項 目	現状値	目標値	説 明	平成25年度	平成31年度	学校施設の耐震化率	97%	100%	2次診断による。	非構造部材の耐震化率	0.0%	100%		小学校施設整備実施計画	無	策定	事業化の推進	図書室の空調設備設置率	69.6% (23校中16校)	100% (23校中23校)	
項 目	現状値		目標値	説 明																			
	平成25年度	平成31年度																					
学校施設の耐震化率	97%	100%	2次診断による。																				
非構造部材の耐震化率	0.0%	100%																					
小学校施設整備実施計画	無	策定	事業化の推進																				
図書室の空調設備設置率	69.6% (23校中16校)	100% (23校中23校)																					
曾於市 公共施設等総合管理計画	小学校： 地区住民にとって核となっている施設であり、十分な議論と地区民・保護者の意向に十分に配慮しつつ、今後の児童の推移を考慮し、学校規模の適正化の議論を始めていく。 児童・生徒の安全性の確保と健全性の育成： 教育環境の充実を図るために、必要な修繕を実施しながら適正な維持管理に努めていく。 2つの学校給食センター及び2つの学校調理場： 児童・生徒数の減少による食数の減少により、1つのセンターに統合することについて議論を始めていく。																						

3. 計画期間

本計画の計画期間は、曾於市公共施設等総合管理計画で設定されている 40 年間を見据えた上で、今後 10 年間の事業計画を策定するものとします。

ただし、法改正等の社会的要求水準の変化を受けて、状況が変化する場合があるため、5 年～10 年を目途に計画の見直しを行います。

4. 計画における対象施設

本計画における対象施設は、下表に示す小学校 20 校（給食室 1 施設を含む）、中学校 3 校（給食室 1 施設を含む）、教職員住宅 49 棟、給食センター 2 施設とします。

表：学校施設等一覧

区分	施設名	区分	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	対象 建物数
小学校	末吉小学校	教職員 住宅	校長・教頭住宅	末吉町上町7-1-1	5,861	9
	櫛小学校		〃	末吉町南之郷4060-1	2,585	8
	高岡小学校		〃	末吉町南之郷10150-1	1,833	5
	岩北小学校		〃	末吉町岩崎3675-2	2,453	8
	岩南小学校		〃	末吉町岩崎2087-1	2,003	5
	諏訪小学校		〃	末吉町諏訪方10278-1	2,441	7
	光神小学校		〃	末吉町諏訪方290-1	2,397	7
	深川小学校		〃	末吉町深川7549	2,228	5
	柳迫小学校		〃	末吉町深川3669-5	2,513	5
	岩川小学校		〃	大隅町岩川5747	4,738	11
	菅牟田小学校		〃	大隅町岩川2856-1	1,575	5
	笠木小学校		〃	大隅町中之内5762	2,787	8
	大隅北小学校		〃	大隅町中之内3701-1	2,160	7
	恒吉小学校		〃	大隅町恒吉2767-1	2,081	4
	大隅南小学校		〃	大隅町月野9054	2,084	5
	月野小学校		〃	大隅町月野7133-1	2,778	9
	財部小学校		〃	財部町北俣10882	5,215	5
	財部北小学校		〃	財部町北俣5521	2,469	5
	財部南小学校		〃	財部町南俣5322	2,308	6
	中谷小学校		〃	財部町下財部5084	2,189	6
中学校	末吉中学校	〃	末吉町二之方2101	8,819	8	
	大隅中学校	〃	大隅町岩川5146	6,275	10	
	財部中学校	〃	財部町北俣814	5,202	6	
			向江教職員住宅	末吉町二之方1986-1	80	1
			教育長住宅	大隅町岩川4980-1	103	1
			西中園教職員住宅	大隅町岩川4976-3	62	1
給食 センター	大隅学校給食センター			大隅町岩川6116	750	2
	財部学校給食センター			財部町北俣814-2	491	2
					計	161

資料：令和1年度曾於市公立学校施設台帳



第 1 章 学校施設等の目指すべき姿

1. 学校施設等の今日的な課題

本市の教育行政において、人口減少や超高齢社会の到来、情報通信技術の発展、グローバル化の進展など、社会情勢が急激に変化する中、次のような多くの課題があります。

(1) 安全・快適な学校施設等の環境向上

本市の学校施設等の耐震化は完了していますが、建築年度が古く老朽化した校舎等が残されているため、修繕等を必要とする箇所が多くなってきているのが現状です。このため、建物の改修を計画的に進め、児童・生徒が安全かつ快適に学ぶことができる教育環境の充実を図ることが必要です。

また、習熟度別指導や少人数指導、特別支援教育など、児童・生徒一人ひとりの教育的なニーズに応えることができる施設整備が求められています。

(2) 児童生徒の減少に伴う適正な学校の規模

本市の児童・生徒数は、人口減少化・少子化の進行などにより年々減少しています。学校教育においては、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め、協力し合い、切磋琢磨することで一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことが重要とされており、一定の集団規模が確保されていることが望ましいものと考えられています。一方で、学校は地域コミュニティの核としての役割や機能を持つなど、地域の実情により学校の在り方は異なることがあり、「適正な学校規模」を一概に判断することは難しい点もあります。

しかし、少子化が中長期的に継続すると見込まれている現状においては、学校の小規模化、過小規模化に伴う教育上の諸課題がこれまで以上に顕在化することが懸念されています。

このことから、少子化に対応した活力ある学校づくりの方策を継続的に検討・実施していくことが求められており、児童生徒にとって望ましい学校規模について、保護者や地域と一体となって検討していくことが必要です。

(3) 社会の変化に対応した教育機器・教材の拡充

グローバル化の進展などにより、社会全体が急速に変化していく中で、情報化社会に対応したデジタル教材の活用や情報教育を推進するためのICT環境の充実、社会状況の変化や多様な学習活動に対応した教材の整備等を計画的に行い、児童生徒の学習能力の向上のための教育環境の充実を図っていくことが必要です。

(4) 生活空間としての施設の充実

児童生徒が 1 日の大半の時間を過ごす学校施設は、教育の場であるのみならず、生活の場として、充実した学校生活を過ごすことができる豊かで潤いのある空間としていくことが重要です。そのためには、学習の場としての整備だけでなく、交流の場の確保など多様な空間を整備することが必要です。

さらに、安全に施設が利用できるバリアフリー化や、不審者などに対する防犯対策を進めるとともに、トイレの設備など衛生的な環境整備を図る必要があります。

(5) 地域のコミュニティ施設としての活用

小中学校は、学校と地域との連携による多様な交流の場として活用されています。また、災害時などの避難場所に指定されています。このように、地域のコミュニティ施設としての多様な機能に対応できる施設や設備の整備が必要です。

表：曾於市避難施設一覧（学校施設のみ抜粋）

区域	地区名	避難場所	避難所 種別※	対応災害				収容人数(最大)	
				洪水・ 浸水	土砂 災害	地震	大 火 事	緊急 避難時	避難所 利用時
末吉	二之方	末吉小学校 体育館	○	○	○	○	○	250	220
		末吉小学校 校庭	緊	—	—	○	○	1,710	—
		末吉中学校 体育館	○	○	○	○	○	370	320
		末吉中学校 校庭	緊	—	—	○	○	4,000	—
	南之郷	高岡小学校 体育館	○	—	—	○	○	110	100
		高岡小学校 校庭	緊	—	—	○	○	570	—
		檉小学校 体育館	○	—	—	○	○	110	100
		檉小学校 校庭	緊	—	—	○	○	1,250	—
	岩 崎	岩南小学校 体育館	○	—	—	○	○	110	100
		岩南小学校 校庭	緊	—	—	○	○	540	—
		岩北小学校 体育館	○	○	○	○	○	110	100
		岩北小学校 校庭	緊	—	—	○	○	1,420	—
	諏訪方	光神小学校 体育館	○	○	○	○	○	130	120
		光神小学校 校庭	緊	—	—	○	○	1,170	—
		諏訪小学校 体育館	○	○	○	○	○	110	100
		諏訪小学校 校庭	緊	—	—	○	○	1,280	—
	深 川	柳迫小学校 体育館	○	○	○	○	○	110	100
		柳迫小学校 校庭	緊	—	—	○	○	970	—
		深川小学校 体育館	○	○	○	○	○	110	100
		深川小学校 校庭	緊	—	—	○	○	1,170	—
財部	財 部	財部小学校 体育館	○	○	○	○	○	200	180
		財部中学校 体育館	○	○	○	○	○	240	210
	財部南	財部南小学校 体育館	○	○	○	○	○	140	120
		財部南小学校 校庭	緊	—	—	○	○	1,050	—
	財部北	財部北小学校 体育館	○	○	○	○	○	130	120
		財部北小学校 校庭	緊	—	—	○	○	1,050	—
	中 谷	中谷小学校 体育館	○	○	○	○	○	140	120
		中谷小学校 校庭	緊	—	—	○	○	570	—
大隅	岩 川	岩川小学校 体育館	○	○	○	○	○	150	130
		岩川小学校 校庭	緊	—	—	○	○	1,340	—
		大隅中学校 体育館	○	○	○	○	○	250	220
		大隅中学校 校庭	緊	—	—	○	○	3,140	—
	菅牟田	菅牟田小学校 体育館	○	○	○	○	○	110	100
		菅牟田小学校 校庭	緊	—	—	○	○	680	—
	笠 木	笠木小学校 体育館	○	○	○	○	○	110	100
		笠木小学校 校庭	緊	—	—	○	○	1,170	—
	大隅北	大隅北小学校 体育館	○	○	○	○	○	130	110
		大隅北小学校 校庭	緊	—	—	○	○	1,510	—
	恒 吉	恒吉小学校 体育館	○	○	○	○	○	130	110
		恒吉小学校 校庭	緊	—	—	○	○	1,250	—
	大隅南	大隅南小学校 体育館	○	○	○	○	○	130	110
		大隅南小学校 校庭	緊	—	—	○	○	910	—
	月 野	月野小学校 体育館	○	○	○	○	○	100	90
		月野小学校 校庭	緊	—	—	○	○	1,510	—

令和1年6月現在
 ※避難所種別欄の「○」は緊急避難場所と避難所を兼ねる場所、「緊」は緊急避難場所としてのみ
 利用する場所を表す。

資料：曾於市資料

2. 学校施設のあり方

本計画の方針を定めるにあたり、次のような環境や空間等が整備された学校施設を目指します。

安全性

- 地震、台風、大雨等に強い学校施設
(非構造部材の耐震補強、照明器具等の落下防止措置)
- 防犯に対応した学校施設(防犯ブザーの設置や地域との連携)
- 安全で安心して生活できる環境(老朽化対策の推進、通学路の整備)

快適性

- 授業に集中でき、学習効率向上に資する快適な学習環境
(エアコンの設置、遮音・吸音性能への配慮)
- バリアフリーに配慮した環境(段差の解消、障がい者用トイレの設置 等)
- 児童生徒の健康や衛生面に配慮した環境
(トイレの洋式化、手洗いの自動水洗化、適正な照度の確保 等)
- 児童生徒の交流を促すなど、生活の場として快適に過ごすことができる環境
(多目的室、ミーティング室、児童クラブなどの環境整備 等)
- 教職員が快適に働ける環境(職員室の環境整備)
- 授業の充実に資する設備や機材等の整備(学校備品、教材備品の整備)
- 教職員等の事務の効率化を高められるICT環境(パソコンなどの整備)
- 省エネルギーに配慮した施設の整備(自然光の利用、特別教室の効率的な利用)

学習活動への適応性

- 個別指導や習熟度別指導など多様な学習形態を展開するための環境
(少人数教室、多目的室の環境整備 等)
- 学習効果を高められる教材等の整備、情報教育に対応したICT環境
(タブレットPC、無線LANなどの整備)
- 児童生徒の自発的な学習や読書活動を促すための環境(特別教室、図書室などの整備)
- 社会性を身につけるための空間(多学年間の学習環境、遊具施設の整備)
- 特別支援教育に配慮した学校施設(特別支援教室の環境整備)
- 道徳教育や生徒指導、進路指導等に取り組みやすい空間
(キャリア教育の推進、進路指導室や相談室の整備)
- 充実した運動ができる環境(屋内運動場、校庭の整備)

環境への適応性

- 環境を考慮した学校施設（太陽光発電、省エネルギー・省資源、木材利用、自然共生）

地域の拠点化

- 地域住民が健康づくりや学習拠点等に活用できる開かれた環境
（校庭、屋内運動場、特別教室などの開放）
- 児童クラブなど、放課後の児童の居場所がある施設（空き教室などの活用）
- 避難所としての機能を有する施設（トイレの洋式化、バリアフリー環境の整備）



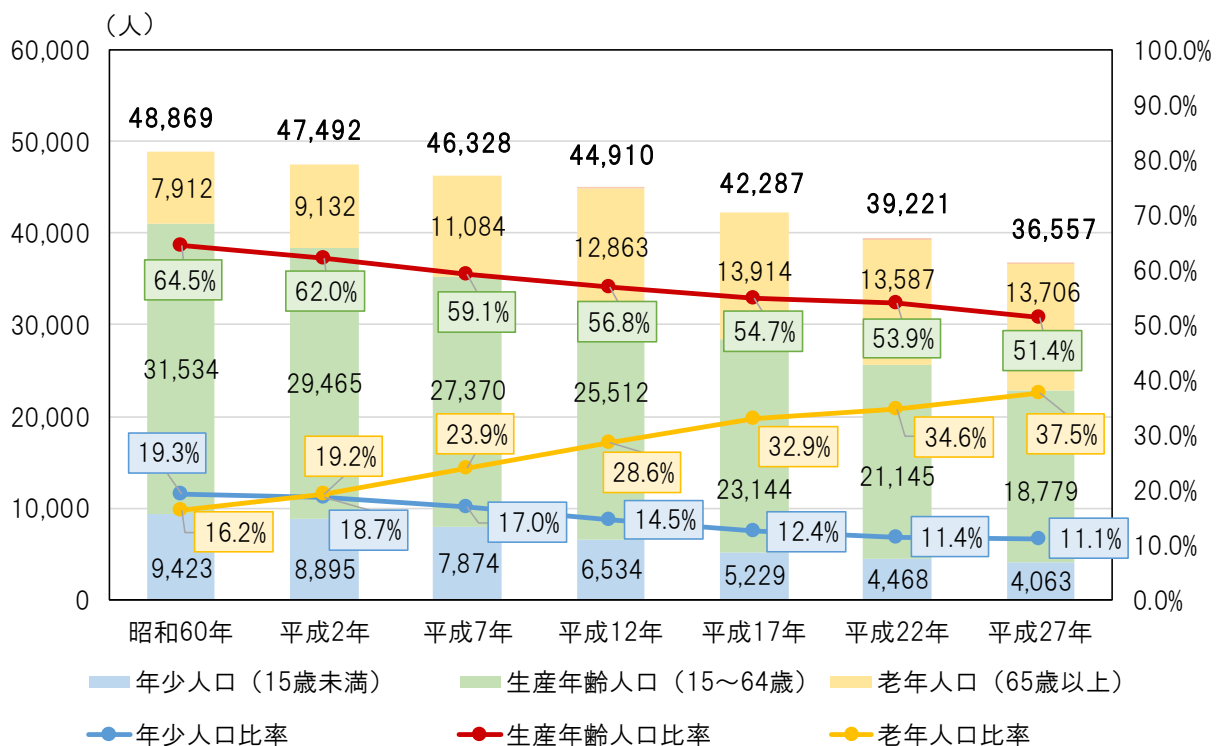
第2章 学校施設等の実態

1. 学校施設等を取り巻く状況

(1) 人口・世帯数の推移

本市の人口は、昭和60年以降減少傾向にあり、平成27年の国勢調査時点で36,557人となっており、昭和60年から平成27年までの30年間で、約12,400人減少しています。

下図は、年度別の全人口を3区分の年齢別に表わしたのですが、15歳未満の人口が昭和60年では9,423人であったのに対して、平成27年では4,063人に減少し、全人口に占める比率も1割程度まで減少しています。その一方、65歳以上の人口は、昭和60年の7,912人であったのに対して平成27年では全人口の4割近くを占める13,706人への増加しており、急速に少子高齢化が進行している状況です。



図：人口の推移

資料：国勢調査

次に、世帯数についてみると、昭和 60 年から平成 12 年までは増加傾向にありましたが、平成 17 年以降は減少傾向となっています。平成 27 年の国勢調査時点で 16,134 世帯となっており、30 年間で 1,286 世帯減少しています。

なお、世帯当たり人員も、年々少なくなっており、平成 27 年の国勢調査では、1 世帯当たり 2.27 人となっています。

表：人口・世帯数の推移

単位：人，世帯

曾於市	昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)
人口	48,959	47,492	46,328	44,910	42,287	39,221	36,557
世帯数	17,420	17,559	17,777	17,863	17,417	16,859	16,134
1世帯当人員	2.81	2.70	2.61	2.51	2.43	2.33	2.27

資料：国勢調査

(2) 地域別人口の推移

地域別に平成 12 年から平成 27 年までの人口の推移をみると、いずれの町でも減少傾向となっています。また、その減少率は 10%から 25%程度で、大隅町が 24.2%と最も大きい値を示しています。

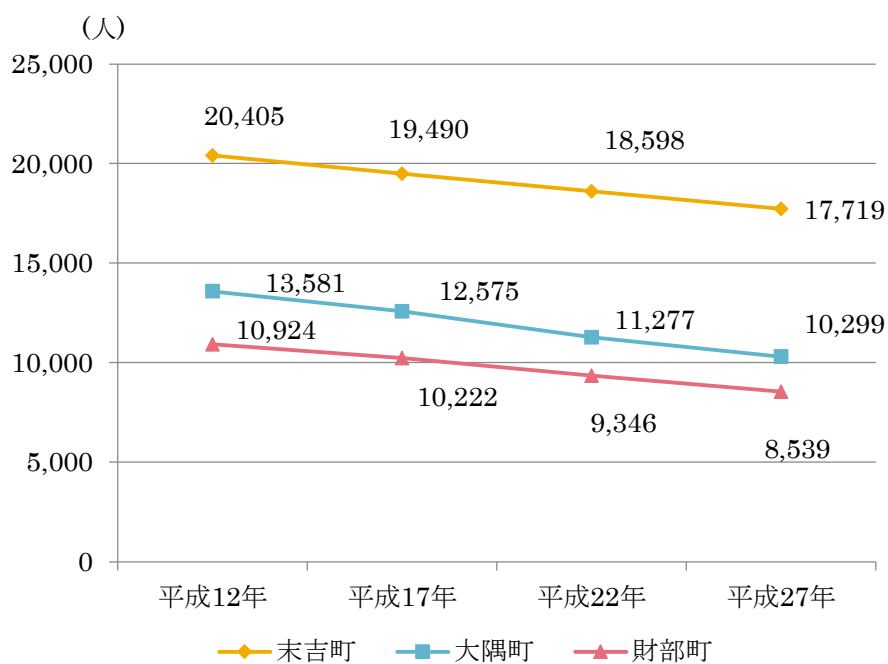
表：町別人口の推移

単位：人

人口		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	減少率
末吉町	実数	20,405	19,490	18,598	17,719	▲ 2,686
	比率	45.4%	46.1%	47.4%	48.5%	13.2%
大隅町	実数	13,581	12,575	11,277	10,299	▲ 3,282
	比率	30.2%	29.7%	28.8%	28.2%	24.2%
財部町	実数	10,924	10,222	9,346	8,539	▲ 2,385
	比率	24.3%	24.2%	23.8%	23.4%	21.8%
合計	実数	44,910	42,287	39,221	36,557	▲ 8,353
	比率	100%	100%	100%	100%	18.6%

資料：国勢調査

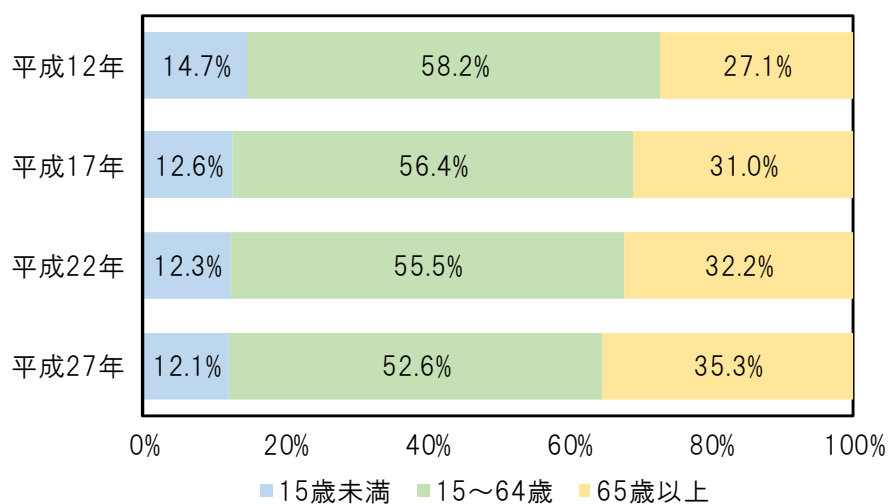
※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない。

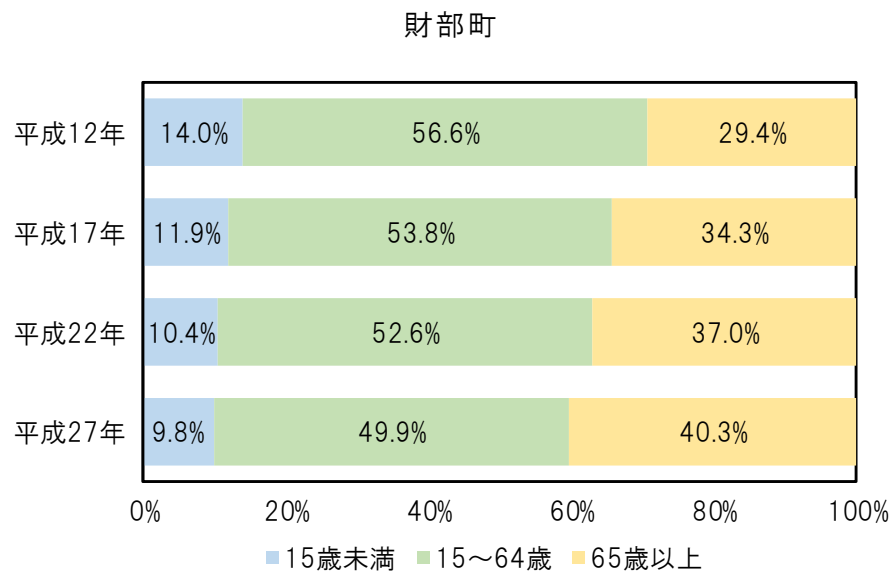
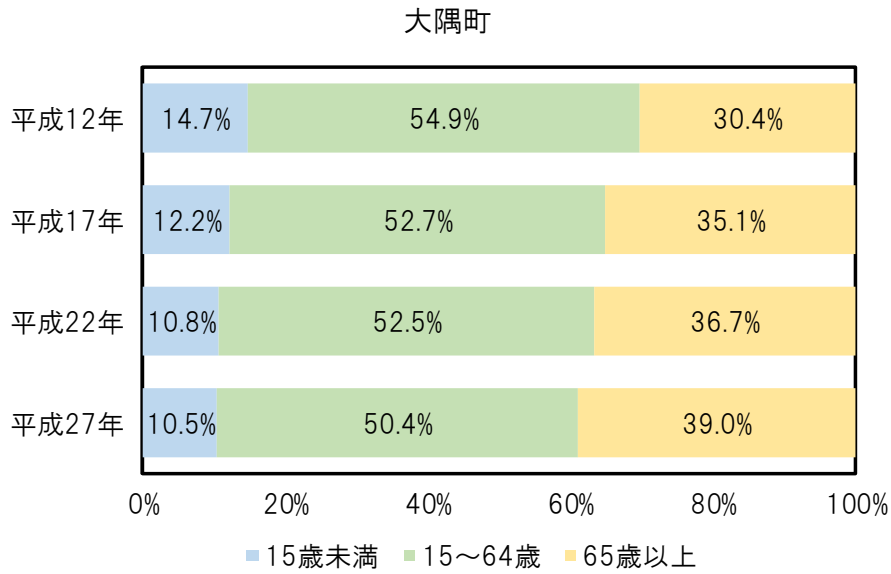


図：町別人口の推移

次に、平成12年から平成27年までの町別年齢区分別人口の推移をみると、いずれの町も65歳以上人口の割合が4割程度、15歳未満人口の割合が1割程度となっており、少子・高齢化が進行している状況です。

末吉町





図：町別・年齢区分別人口割合の推移

資料：国勢調査

※年齢不詳は含まない。

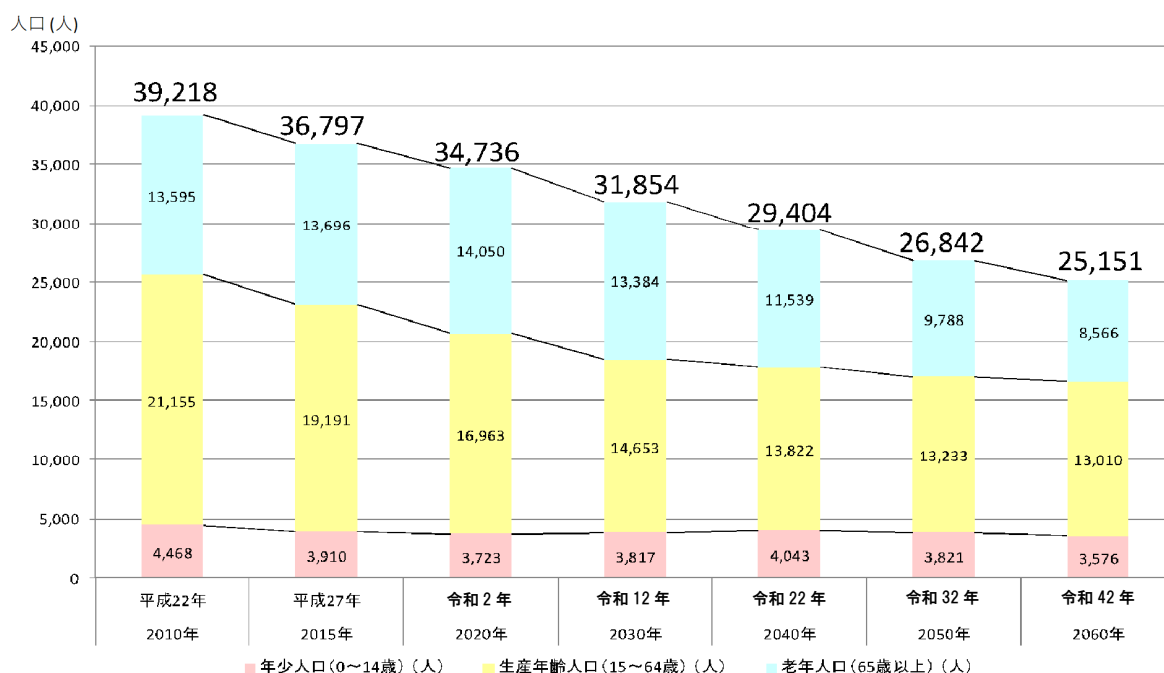
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しており、合計しても必ずしも100とはならない。

(3) 将来人口

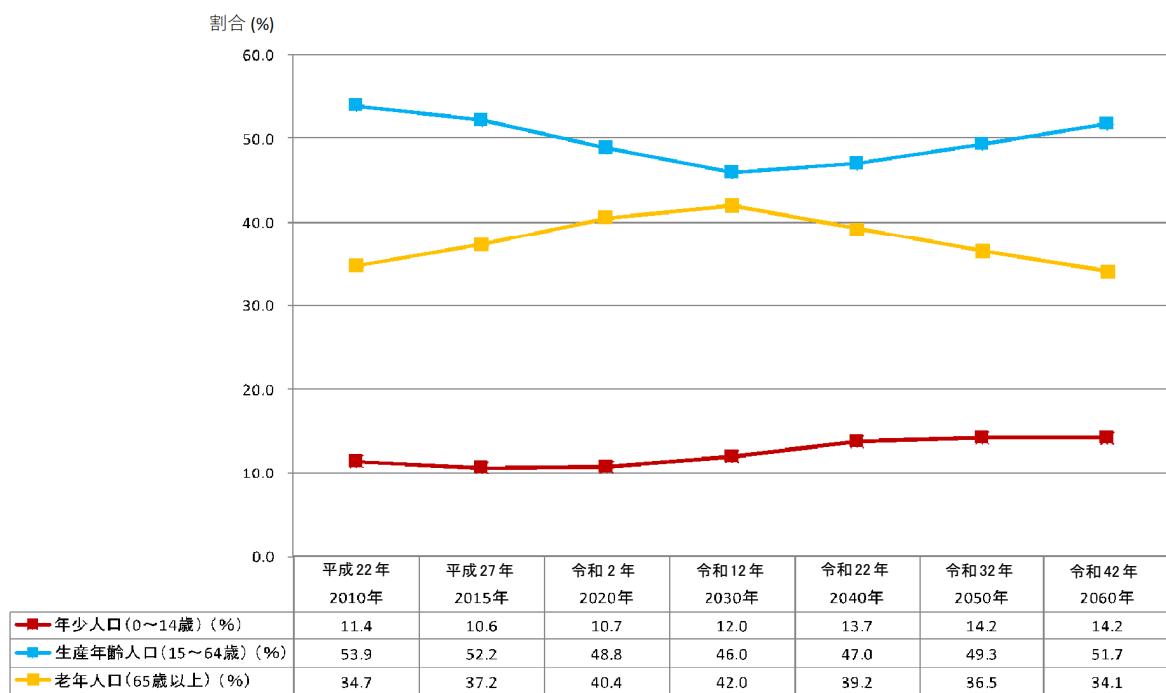
本市の将来人口については、平成 27 年 10 月に策定された「曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略」内の「人口ビジョン」において、国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）による将来人口推計と日本創生会議（以下、民間機関）による人口推計、独自計算による将来人口推計の計 3 パターンで推計を行っています。

いずれのパターンも人口は減少傾向となっており、市独自推計の将来人口予測においては、令和 42 年（2060 年）の人口が平成 22 年（2010）の人口の約 2/3 となっており、社人研の推計では減少率が更に顕著です。

独自計算による将来推計	
○ 合計特殊出生率の仮定（目標）	現在の合計特殊出生率の水準（1.60）から 2020 年（令和 2 年）に 1.75、2025 年（令和 7 年）に 1.90、2030 年（令和 12 年）2.05、そして 2035 年（令和 17 年）に人口置換水準である 2.1 に到達し、以後一定と仮定。
○ 純移動率の仮定（目標）	2025 年（令和 7 年）までに、本市の過去の人口移動がもっとも落ち着いていた時期（転出者数が最も少ない時期）であった 1995 年（平成 7 年）～2000 年（平成 12 年）の純移動率に均等に回復し、それ以後一定であると仮定。当該期間中に転出超過となっていた年代については、総合戦略の実施によって、さらに純移動率の割合が 25%もしくは 50%抑制されるものと仮定し推計を実施。

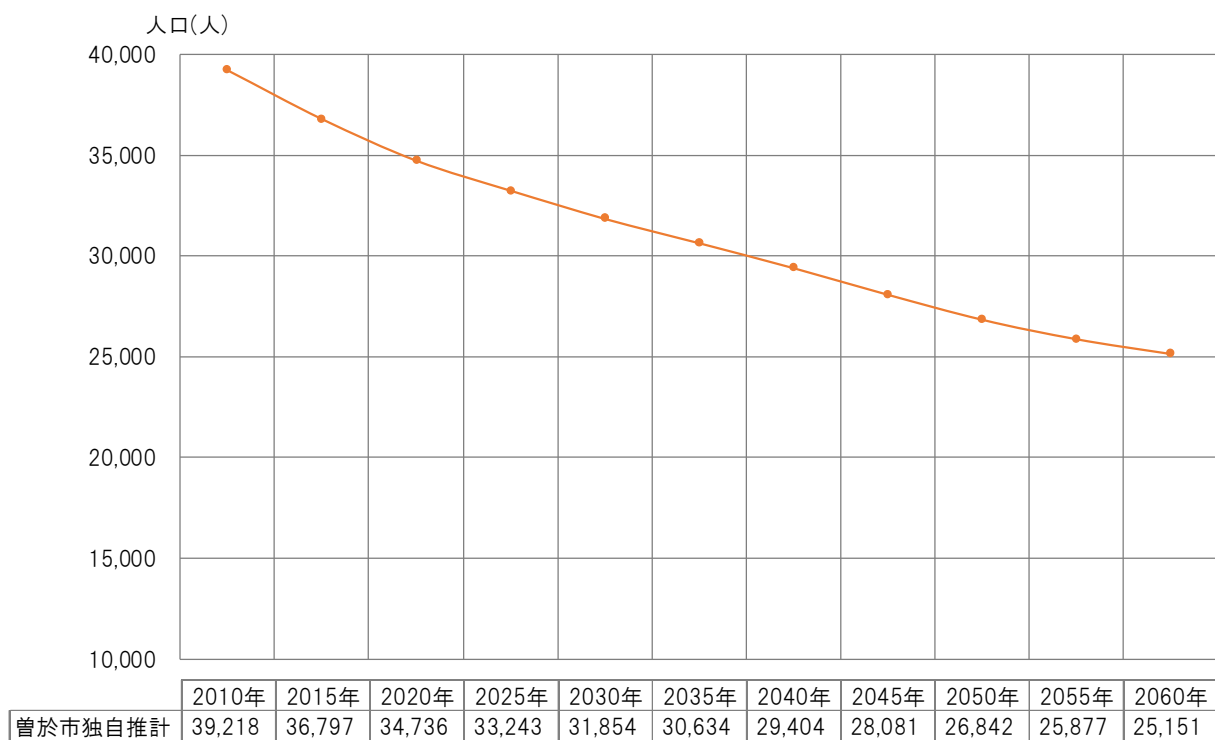


図：独自推計に基づく将来人口推計



図：独自推計に基づく将来人口推計(構成比率)

資料：曾於市人口ビジョン



図：独自推計に基づく将来人口推計(人)

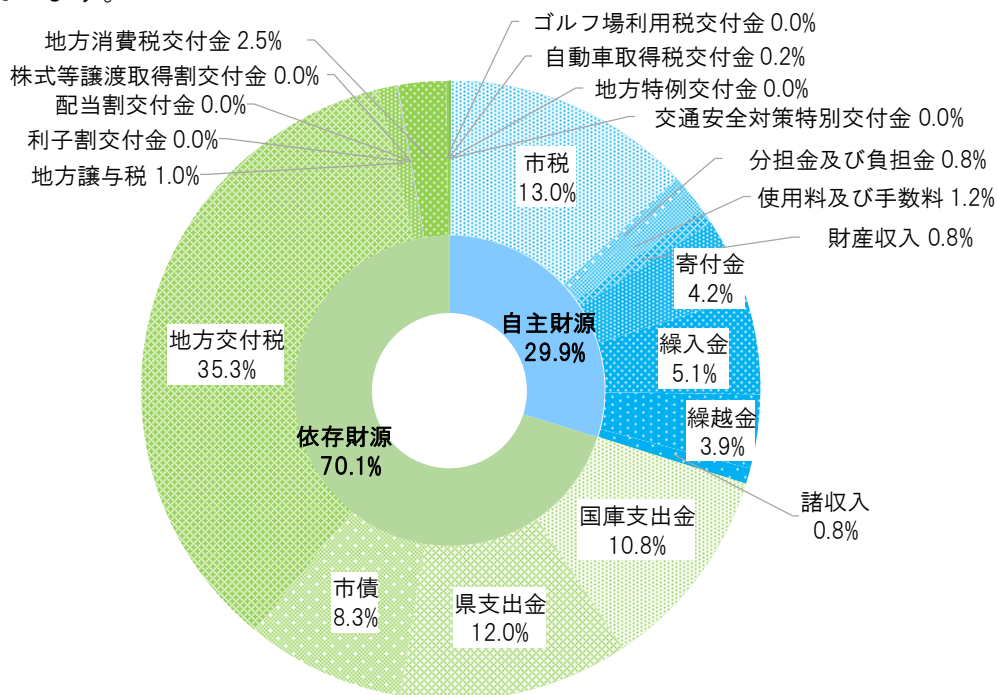
資料：曾於市人口ビジョン

(4) 財政状況

① 歳入（一般会計）の内訳

平成 29 年度決算の歳入額は、253 億 3,723 万円であり、前年度と比較すると 2 億 1,753 万円減少しています。

自主財源では「市税」が 13.0%、依存財源では「地方交付税」が 35.3%と最も多くなっています。



図：平成 29 年度 歳入の内訳

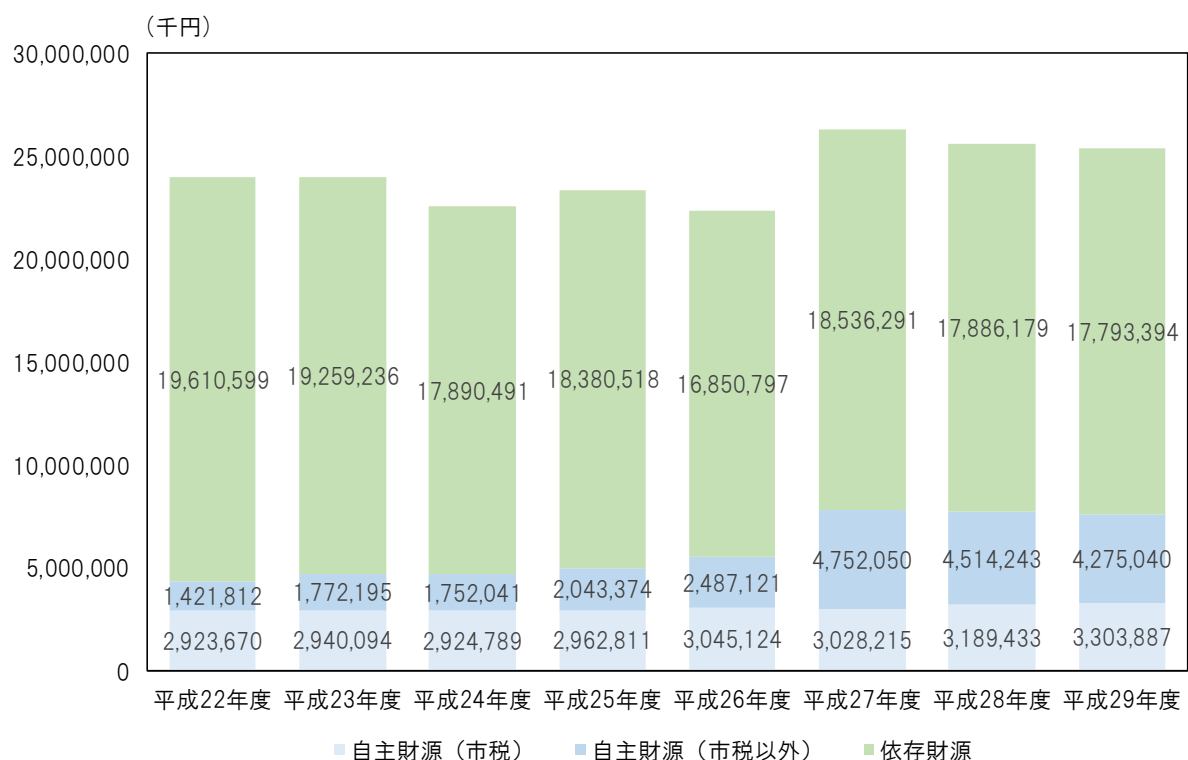
表：歳入の内訳

単位：千円

区分	款	平成29年度		平成28年度		増減額
		決算額	構成比	決算額	構成比	
自主財源	市税	3,303,887	29.9%	3,189,433	30.1%	114,454
	分担金及び負担金	207,879		203,072		4,807
	使用料及び手数料	315,874		309,366		6,508
	財産収入	203,672		199,083		4,589
	寄付金	1,062,665		1,025,428		37,237
	繰入金	1,299,938		2,361,923		▲ 1,061,985
	繰越金	979,394		298,840		680,554
	諸収入	205,618		116,531		89,087
	国庫支出金	2,734,168		2,940,720		▲ 206,552
依存財源	国有提供交付金	2,583	70.1%	2,475	69.9%	108
	県支出金	3,035,604		2,348,868		686,736
	市債	2,101,500		2,287,300		▲ 185,800
	地方交付税	8,954,329		9,380,465		▲ 426,136
	地方譲与税	255,631		256,230		▲ 599
	利子割交付金	4,821		1,906		2,915
	配当割交付金	5,854		4,741		1,113
	株式等譲渡取得割交付金	5,798		2,709		3,089
	地方消費税交付金	632,071		612,504		19,567
	ゴルフ場利用税交付金	0		0		0
	自動車取得税交付金	44,182		31,411		12,771
	地方特例交付金	11,166		10,992		174
	交通安全対策特別交付金	5,687		5,858		▲ 171
	合 計	25,372,321	100.0%	25,589,855	100.0%	▲ 217,534

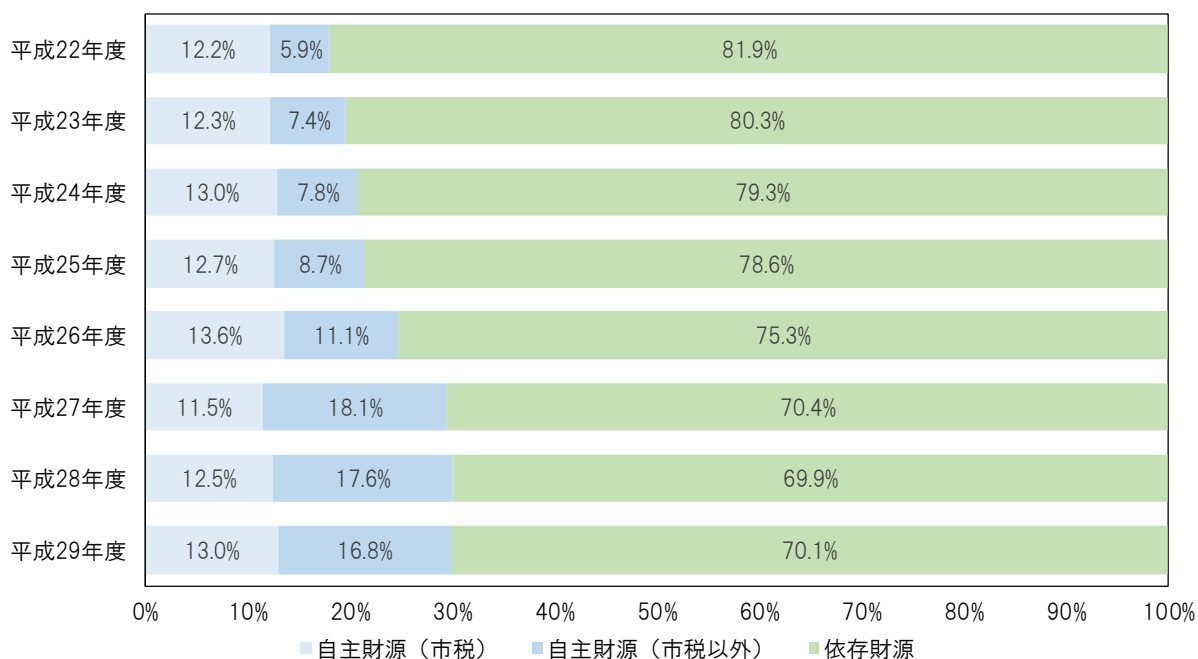
資料：総務省決算カード

平成 22 年度以降の歳入の推移をみると、「市税」は 30 億円前後を保っています。
 今後は人口減少が続き、特に生産年齢人口の割合が減少すると見込まれるため、「市
 税」の減少が予想されます。



図：歳入（一般会計）の割合

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない



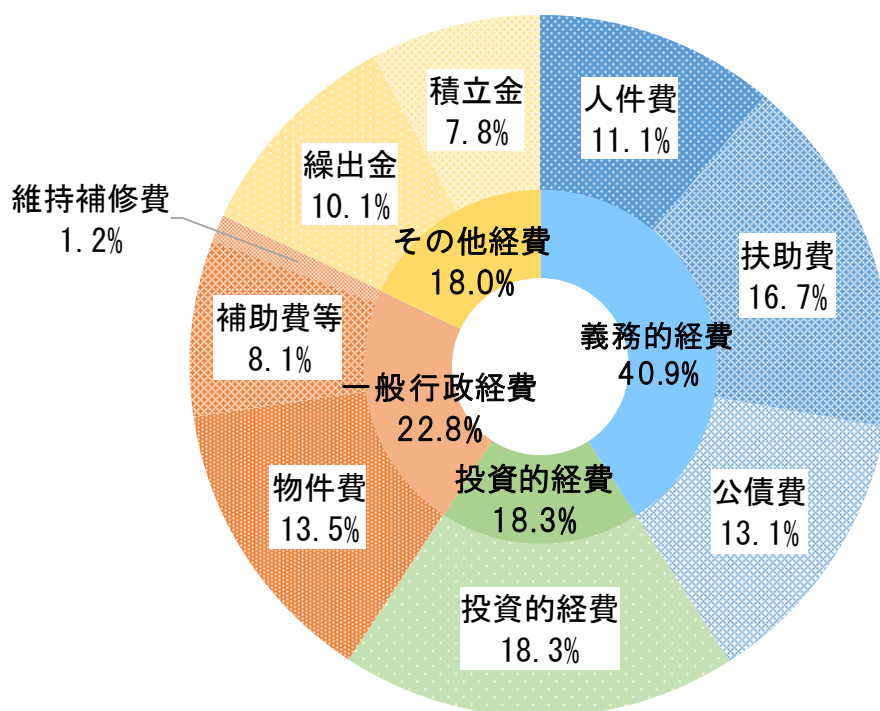
図：歳入（一般会計）の推移

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない

② 歳出（一般会計）の内訳

平成 29 年度決算の歳出額は、245 億 6,950 万円であり、前年度と比較すると 4,096 万円減少しています。

義務的経費では「扶助費」が 16.7%、一般行政経費では「物件費」が 13.5%、その他経費では「繰出金」が 10.1%と最も多くなっています。



図：平成 29 年度 歳出の内訳

表：歳出の内訳

単位：千円

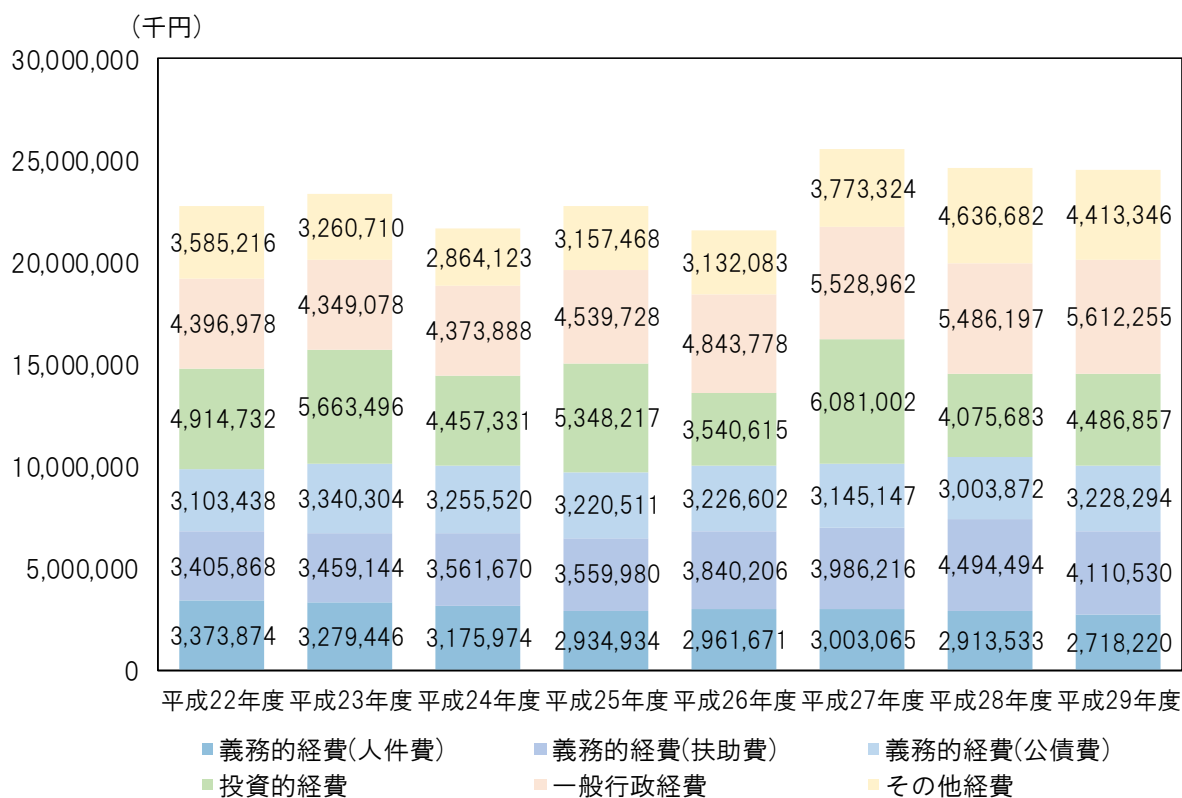
区分	款	平成29年度		平成28年度		増減額
		決算額	構成比	決算額	構成比	
義務的経費	人件費	2,718,220	40.9%	2,913,533	42.3%	▲ 195,313
	扶助費	4,110,530		4,494,494		▲ 383,964
	公債費	3,228,294		3,003,872		224,422
投資的経費	投資的経費	4,486,857	18.3%	4,075,683	16.6%	411,174
一般行政経費	物件費	3,310,827	22.8%	3,254,470	22.3%	56,357
	補助費等	1,994,593		1,899,321		95,272
	維持補修費	306,835		332,406		▲ 25,571
その他経費	繰出金	2,486,281	18.0%	2,577,311	18.8%	▲ 91,030
	積立金	1,927,065		2,059,371		▲ 132,306
	投資・出資・貸付金	0		0		0
合計		24,569,502	100.0%	24,610,461	100.0%	▲ 40,959

資料：総務省決算カード

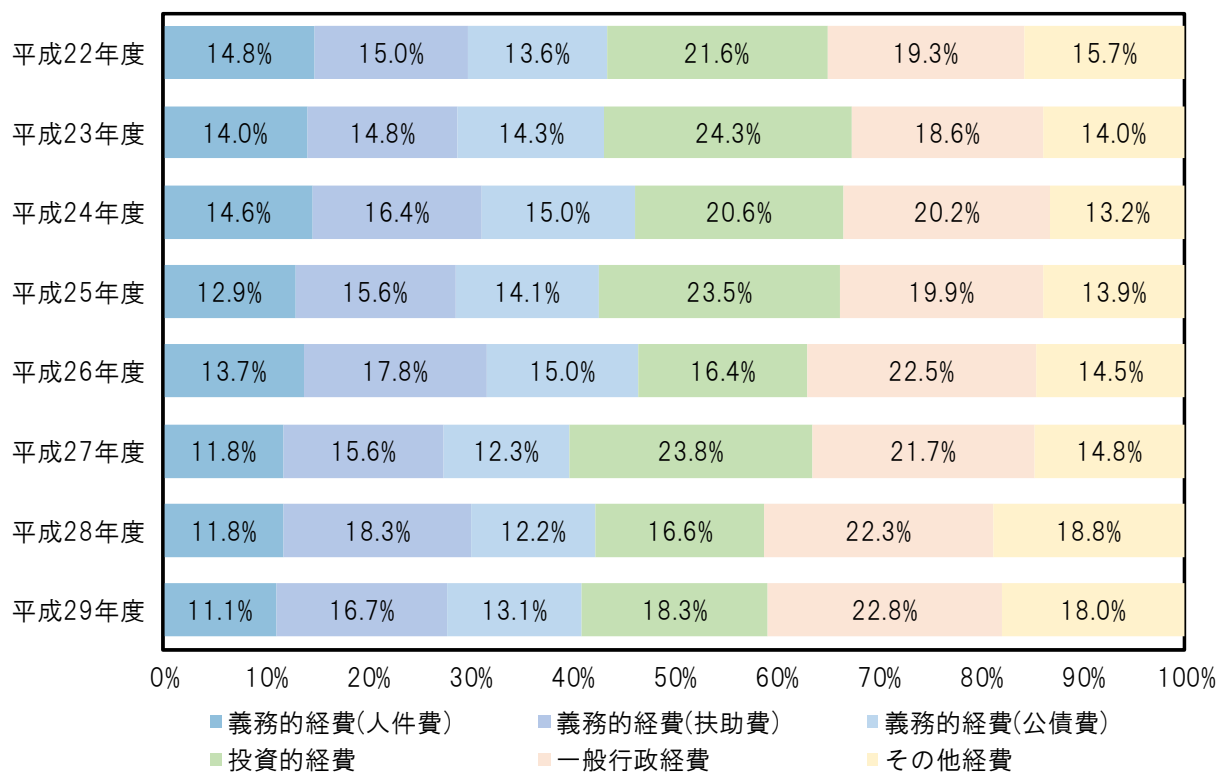
※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない

平成 22 年度以降の歳出の推移をみると、高齢化に伴い、「扶助費」が年々増加していることがわかります。

今後も人口減少や更なる高齢化の進展に伴い、扶助費等の増加に加え、後期高齢者医療費や介護保険等の負担が増大していくことが考えられます。



図：歳出（一般会計）の推移



図：歳出（一般会計）の割合

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない

2. 運営状況・活用状況の把握

(1) 公共施設全体の保有状況

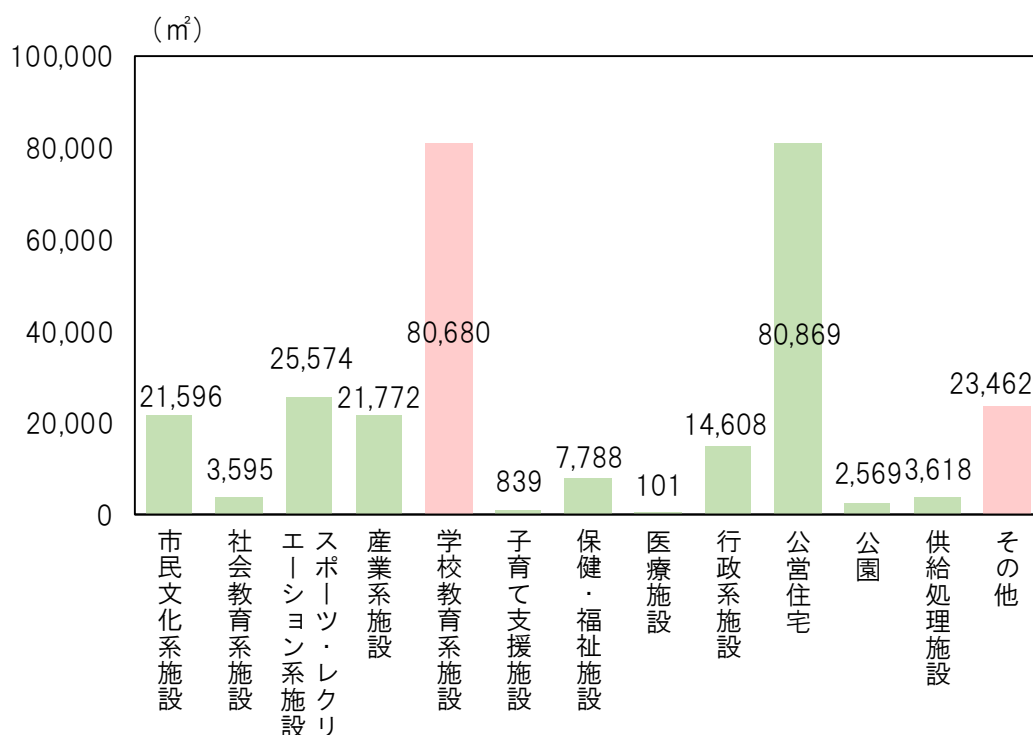
「曾於市公共施設等総合管理計画」では、本市の建築系公共施設の建物棟数は全体で1,359棟、延床面積287,070㎡となります。

用途別合計の延床面積が多い順に公営住宅、学校教育系施設、スポーツ・レクリエーション系施設となっています。小学校、中学校、学校給食センターを合わせた学校教育系施設の延床面積は80,680㎡となり、全体の28.1%を占めています。

表：公共施設の用途別延床面積

施設分類	建物棟数(棟)	延床面積	
		面積(㎡)	構成比
市民文化系施設	70	21,596	7.5%
社会教育系施設	10	3,595	1.3%
スポーツ・レクリエーション系施設	157	25,574	8.9%
産業系施設	45	21,772	7.6%
学校教育系施設	222	80,680	28.1%
子育て支援施設	8	839	0.3%
保健・福祉施設	14	7,788	2.7%
医療施設	1	101	0.0%
行政系施設	82	14,608	5.1%
公営住宅	505	80,869	28.2%
公園	50	2,569	0.9%
供給処理施設	15	3,618	1.3%
その他	180	23,462	8.2%
合計	1,359	287,070	100.0%

資料：曾於市公共施設等総合管理計画(平成29年3月)



図：公共施設の用途別延床面積

(2) 学校施設等の保有状況

本市の小学校 20 校、中学校 3 校、給食センター 2 施設の全 25 施設の建物のうち、部室、倉庫、トイレ等の小規模な建物を除いた一覧を下表に示します。

小学校・中学校の耐震診断を行った建物で耐震性能が基準値以下の建物は全て耐震補強が完了しています。

表：対象施設一覧（小学校）

学 校 名	開校年度	建 物 名 称	棟番号	構 造	階数	建 築 年 度	経 過 年 数	耐 震 基 準	校 舎 等 面 積	校 面 積	地 積	教 室		
												教室数	普 通	特 別
末吉小	1872年 (明治5年)	管理教室棟	1	R C 造	2	1,976	43	旧	1,329	31,360	32	23	9	
		普通教室棟	2	R C 造	3	1,975	44	旧	2,517					
		教職員住宅（教頭）	3	W 造	1	2,002	17	新	96					
		屋内運動場	4-1	R C 造	1	1,979	40	旧	798					
		屋内運動場	4-2	R C 造	1	1,988	31	新	251					
		教室棟	16	R C 造	2	1,985	34	新	380					
		図書室	17	R C 造	1	1,985	34	新	208					
		給食室	18	S 造	1	1,986	33	新	186					
		教職員住宅（校長）	19	W 造	1	1,988	31	新	96					
		小計				-			5,861					
檉小	1872年 (明治5年)	管理教室棟	1-1	R C 造	2	1,960	59	旧	408	23,809	11	5	6	
		管理教室棟	1-2	R C 造	2	1,961	58	旧	1,042					
		管理教室棟	1-3	R C 造	2	1,969	50	旧	185					
		管理教室棟	1-4	S 造	1	1,989	30	新	18					
		図工室	4	W 造	1	1,969	50	旧	91					
		教職員住宅（校長）	10	W 造	1	1,987	32	新	96					
		教職員住宅（教頭）	13	W 造	1	2,003	16	新	96					
		屋内運動場	14-1	R C 造	1	2,015	4	新	649					
		小計				-			2,585					
高岡小	1876年 (明治9年)	特別教室棟	1	R C 造	2	1,966	53	旧	491	12,431	9	4	5	
		教職員住宅（教頭）	2	W 造	1	2,000	19	新	96					
		屋内運動場	7	R C 造	1	1,977	42	旧	533					
		普通教室棟	11	R C 造	2	1,987	32	新	617					
		教職員住宅（校長）	12	W 造	1	1,990	29	新	96					
		小計				-			1,833					
岩北小	1876年 (明治9年)	管理教室棟	1-1	R C 造	2	1,959	60	旧	472	17,539	10	3	7	
		管理教室棟	1-2	R C 造	2	1,960	59	旧	549					
		管理教室棟	1-3	R C 造	2	1,979	40	旧	393					
		配膳室	1-4	S 造	1	1,989	30	新	15					
		屋内運動場	8	R C 造	1	1,977	42	旧	533					
		特別教室棟	11	R C 造	1	1,989	30	新	299					
		教職員住宅（教頭）	13	W 造	1	1,989	30	新	96					
		教職員住宅（校長）	15	W 造	1	2,001	18	新	96					
		小計				-			2,453					
岩南小	1876年 (明治9年)	特別教室棟	1-3	R C 造	2	1,967	52	旧	604	9,200	9	3	6	
		普通教室棟	2	R C 造	2	1,987	32	新	674					
		教職員住宅（教頭）	3	W 造	1	1,997	22	新	96					
		屋内運動場	6	S 造	1	1,976	43	旧	533					
		教職員住宅（校長）	10	W 造	1	1,986	33	新	96					
		小計				-			2,003					

※経過年数は令和1年(2019年)時点

資料：令和1年度 曾於市公立学校施設台帳

表：対象施設一覧（小学校）

単位：年，㎡，室

学 校 名	開 校 年 度	建 物 名 称	棟 番 号	構 造	階 数	建 築 年 度	経 過 年 数	耐 震 基 準	校 舎 等 面 積	校 地 面 積	教 室		
											教室数	普通	特別
諏訪小	1879年 (明治12年)	教室棟	1-1	R C 造	2	1,960	59	旧	472	24,408	13	7	6
		管理特別教室棟	1-2	R C 造	2	1,961	58	旧	720				
		コンテナ室	1-3	S 造	1	1,991	28	新	18				
		特別教室棟	2	R C 造	2	1,980	39	旧	485				
		教職員住宅（教頭）	7	W 造	1	2,011	8	新	90				
		屋内運動場	12	R C 造	1	1,984	35	新	560				
		教職員住宅（校長）	13	W 造	1	1,990	29	新	96				
		小計				-			2,441				
光神小	1892年 (明治25年)	普通教室棟	1-1	R C 造	2	1,963	56	旧	884	16,341	8	3	5
		特別教室棟	1-2	R C 造	2	1,979	40	旧	315				
		特別教室棟	1-3	R C 造	2	1,988	31	新	365				
		屋内運動場	7-1	S 造	1	1,975	44	旧	533				
		屋内運動場	7-2	S 造	1	1,989	30	新	108				
		教職員住宅（校長）	11	W 造	1	1,986	33	新	96				
		教職員住宅（教頭）	13	W 造	1	2,004	15	新	96				
		小計				-			2,397				
深川小	1872年 (明治5年)	特別教室棟	1	R C 造	2	1,964	55	旧	641	20,146	13	4	9
		屋内運動場	9	R C 造	1	1,980	39	旧	560				
		教職員住宅（校長）	17	W 造	1	1,985	34	新	96				
		普通教室棟	18	R C 造	2	1,988	31	新	835				
		教職員住宅（教頭）	19	W 造	1	1,996	23	新	96				
		小計				-			2,228				
柳迫小	1899年 (明治32年)	管理普通教室棟	9-1	R C 造	2	1,978	41	旧	778	13,152	12	4	4
		特別教室棟	9-2	R C 造	2	1,989	30	新	884				
		教職員住宅（校長）	13	W 造	1	1,991	28	新	96				
		教職員住宅（教頭）	14	W 造	1	1,991	28	新	96				
		屋内運動場	17	R C 造	2	2,015	4	新	659				
		小計				-			2,513				
岩川小	1871年 (明治4年)	普通教室棟	7	R C 造	2	1,957	62	旧	755	26,072	22	13	9
		普通教室棟	9	R C 造	2	1,966	53	旧	1,216				
		下足室	10	R C 造	1	1,966	53	旧	45				
		管理特別教室棟	11-1	R C 造	2	1,967	52	旧	1,045				
		管理特別教室棟	11-2	R C 造	1	1,988	31	新	43				
		管理特別教室棟	11-3	R C 造	1	1,989	30	新	8				
		屋内運動場	16	R C 造	1	1,972	47	旧	680				
		教職員住宅（校長）	22	W 造	1	1,985	34	新	88				
		特別教室棟	23	R C 造	2	1,986	33	新	736				
		事務補佐員室	24	R C 造	1	1,986	33	新	33				
		教職員住宅（教頭）	27	W 造	1	2,000	19	新	89				
		小計				-			4,738				
菅牟田小	1892年 (明治25年)	特別教室棟	1	W 造	1	2,018	1	新	119	12,632	8	3	5
		屋内運動場	4	S 造	2	1,974	45	旧	550				
		管理教室棟	9	R C 造	2	1,968	51	旧	730				
		教職員住宅（校長）	21	W 造	1	1,989	30	新	88				
		教職員住宅（教頭）	22	W 造	1	1,989	30	新	88				
		小計				-			1,575				
笠木小	1892年 (明治25年)	屋内運動場	1	R C 造	1	2,006	13	新	609	17,891	12	5	7
		特別教室棟	15-1	R C 造	1	1,981	38	新	410				
		配膳室	15-2	S 造	1	1,993	26	新	28				
		教職員住宅（校長）	19	W 造	1	1,987	32	新	88				
		教職員住宅（教頭）	20	W 造	1	1,990	29	新	88				
		管理教室棟	21-1	R C 造	2	2,005	14	新	704				
		管理教室棟	21-2	W 造	2	2,005	14	新	604				
		管理教室棟	21-3	W 造	1	2,005	14	新	256				
		小計				-			2,787				

※経過年数は令和1年(2019年)時点

資料：令和1年度 曾於市公立学校施設台帳

表：対象施設一覧（小学校）

単位：年，m²，室

学 校 名	開 校 年 度	建 物 名 称	棟 番 号	構 造	階 数	建 築 年 度	経 過 年 数	耐 震 基 準	校 舎 等 面 積	校 地 面 積	教 室		
											教室数	普通	特別
大隅北小	1964年 (昭和39年)	管理普通教室棟	1-1	R C造	2	1,964	55	旧	1,233	17,648	10	3	7
		配膳室	1-3	W造	1	1,993	26	新	30				
		屋内運動場	16	R C造	1	1,989	30	新	630				
		教職員住宅（教頭）	17	W造	1	1,993	26	新	90				
		教職員住宅（校長）	19	W造	1	1,993	26	新	90				
		音楽室棟	20	S造	1	2,015	4	新	64				
		玄関棟	21	S造	1	2,015	4	新	23				
		小計				-			2,160				
恒吉小	1969年 (昭和44年)	管理教室棟	1	R C造	2	1,969	50	旧	1,293	20,560	8	4	4
		屋内運動場	4	R C造	1	1,970	49	旧	612				
		教職員住宅（校長）	14	W造	1	1,986	33	新	88				
		教職員住宅（教頭）	16	W造	1	1,988	31	新	88				
		小計				-			2,081				
大隅南小	1962年 (昭和37年)	管理教室棟	5	R C造	2	1,963	56	旧	1,344	16,090	9	3	6
		受入室	5-1	W造	1	1,993	26	新	18				
		教職員住宅（校長）	17	W造	1	1,987	32	新	88				
		屋内運動場	18	R C造	1	1,987	32	新	550				
		教職員住宅（教頭）	21	W造	1	1,991	28	新	84				
		小計				-			2,084				
月野小	1874年 (明治7年)	教室棟	1-1	W造	1	1,998	21	新	446	21,340	14	6	8
		教室棟	1-2	R C造	1	1,998	21	新	53				
		教室棟	1-3	W造	1	1,998	21	新	739				
		教室棟	1-4	R C造	2	1,998	21	新	455				
		教室棟	1-5	W造	2	1,998	21	新	186				
		教室棟	1-6	W造	2	1,998	21	新	88				
		屋内運動場	3	W造	1	1,999	20	新	633				
		教職員住宅（校長）	20	W造	1	1,984	35	新	88				
		教職員住宅（教頭）	24	W造	1	1,993	26	新	90				
		小計				-			2,778				
財部小	1870年 (明治3年)	屋内運動場	16	R C造	1	1,984	35	新	725	22,851	23	13	10
		教職員住宅（教頭）	17	W造	1	1,986	33	新	76				
		特別教室棟	18	R C造	3	1,987	32	新	1,739				
		教職員住宅（校長）	21	W造	1	1,987	32	新	80				
		管理教室棟	27	R C造	2	2,010	9	新	2,595				
		小計				-			5,215				
財部北小	1909年 (明治42年)	管理及び普通教室棟	1	R C造	2	1,978	41	旧	1,567	15,832	13	3	10
		教職員住宅（教頭）	7	W造	1	1,982	37	新	76				
		屋内運動場	8	R C造	1	1,986	33	新	680				
		郷土館	11	W造	1	1,989	30	新	66				
		教職員住宅（校長）	12	W造	1	1,990	29	新	80				
		小計				-			2,469				
財部南小	1909年 (明治42年)	普通教室棟	1-1	R C造	2	1,957	62	旧	744	14,773	12	5	7
		特別教室棟	1-2	R C造	2	1,972	47	旧	573				
		教職員住宅（教頭）	11	W造	1	1,982	37	新	76				
		屋内運動場	12	R C造	1	1,985	34	新	684				
		教職員住宅（校長）	15	W造	1	1,995	24	新	80				
		図工・配膳室	17	W造	2	1,996	23	新	151				
		小計				-			2,308				
中谷小	1883年 (昭和16年)	教職員住宅（教頭）	9	W造	1	1,983	36	新	76	9,728	9	3	6
		管理棟	11-1	W造	1	1,991	28	新	802				
		普通教室棟	11-2	R C造	1	1,991	28	新	105				
		特別教室棟	11-3	S造	2	1,991	28	新	430				
		教職員住宅（校長）	12	W造	1	1,991	28	新	80				
		屋内運動場	13	R C造	1	1,992	27	新	696				
		小計				-			2,189				

※経過年数は令和1年(2019年)時点

資料：令和1年度 曾於市公立学校施設台帳

表：対象施設一覧（中学校）

単位：年，㎡，室

学 校 名	開校年度	建 物 名 称	棟番号	構 造	階数	建 築 年 度	経 過 年 数	耐 震 基 準	校 舎 等 面 積	校 地 積	教 室		
											教室数	普通	特別
末吉中	1971年 (昭和46年)	給食室	5-1	R C造	1	1,971	48	旧	21	44,293	33	14	19
		給食室	5-2	S造	1	1,971	48	旧	100				
		給食室	5-3	S造	1	1,998	21	新	92				
		屋内運動場	8	R C造	2	2,003	16	新	1,756				
		特別教室棟	13	R C造	3	2,004	15	新	3,073				
		教職員住宅（校長）	15	W造	1	1,986	33	新	96				
		教職員住宅（教頭）	16	W造	1	1,987	32	新	96				
		普通教室棟	23	R C造	3	2,008	11	新	3,585				
		小計	-						8,819				
大隅中	2005年 (平成17年)	屋内運動場	11	R C造	2	1,978	41	旧	1,138	42,556	19	8	11
		管理教室棟	30-1	R C造	3	1,973	46	旧	2,038				
		管理教室棟	30-2	R C造	1	1,993	26	新	20				
		管理教室棟	30-3	S造	3	2,004	15	新	36				
		特別教室棟	31	R C造	2	1,975	44	旧	599				
		柔剣道場	37	R C造	1	1,982	37	新	375				
		教職員住宅（校長）	38	W造	1	1,984	35	新	88				
		教職員住宅（教頭）	39	W造	1	1,990	29	新	88				
		普通教室棟	41	R C造	2	2,002	17	新	1,386				
		特別教室棟	43	R C造	2	2,003	16	新	507				
		小計	-						6,275				
財部中	1970年 (昭和45年)	教職員住宅（教頭）	10	W造	1	1,986	33	新	76	37,221	19	8	11
		教職員住宅（校長）	12	W造	1	1,996	23	新	80				
		管理教室棟	15	R C造	3	2,012	7	新	3,785				
		屋内運動場	17-1	R C造	1	2,013	6	新	872				
		屋内運動場	17-2	R C造	1	2,013	6	新	88				
		剣道・柔道場	17-3	R C造	1	2,013	6	新	301				
		小計	-						5,202				

※経過年数は令和1年(2019年)時点

資料：令和1年度 曾於市公立学校施設台帳

表：対象施設一覧（教職員住宅）

単位：年，㎡，室

施 設 名	建 物 名 称	棟番号	構 造	階 数	建 築 年 度	経 過 年 数	耐 震 基 準	校 舎 等 面 積	保 有 面 積
向江教職員住宅	教職員住宅	-	W造	1	1,986	33	新	80	-
教育長住宅	教職員住宅	-	W造	1	1,998	21	新	103	-
西中園教職員住宅	教職員住宅	-	B造	1	1,972	47	旧	62	-
	小計	-						245	-

※経過年数は令和1年(2019年)時点

資料：令和1年度 曾於市公立学校施設台帳

表：対象施設一覧（給食センター）

単位：年，㎡，室

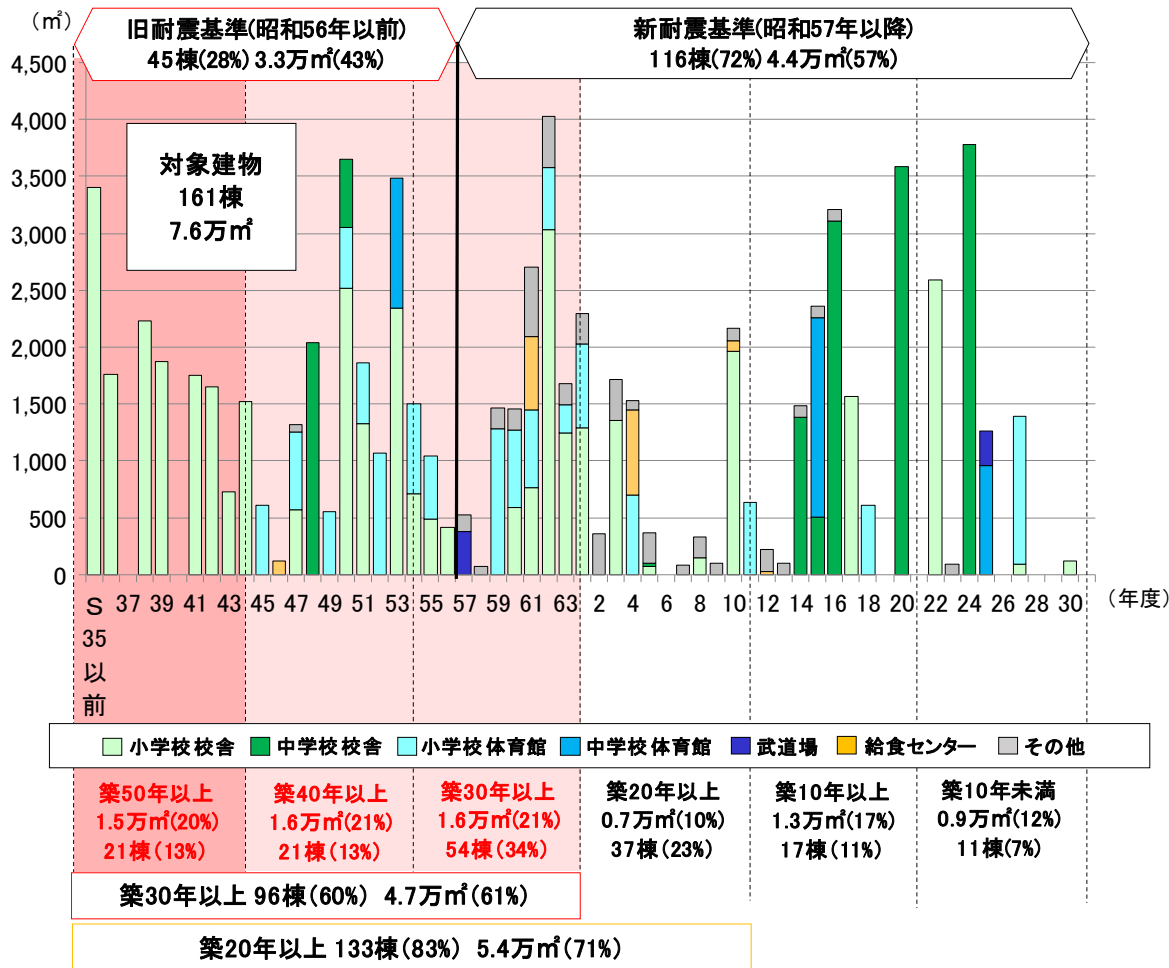
施 設 名	建 物 名 称	棟番号	構 造	階 数	建 築 年 度	経 過 年 数	耐 震 基 準	校 舎 等 面 積	保 有 面 積
大隅学校給食センター	給食センター棟	1-1	S造	2	1,992	27	新	735	3,319
	給食センター棟	1-2	S造	1	1,992	27	新	15	
	小計	-						750	
財部学校給食センター	給食センター棟	1-1	R C造	1	1,986	33	新	460	1,813
	給食センター棟	1-2	R C造	1	2,000	19	新	31	
	小計	-						491	

※経過年数は令和1年(2019年)時点

資料：令和1年度 曾於市公立学校施設台帳

学校施設等の築年別整備状況をみると、旧耐震基準（昭和 56 年以前）によるものが 45 棟、床面積で 3.3 万㎡、新耐震基準（昭和 57 年以降）によるものが 116 棟、床面積で 4.4 万㎡となっており、旧耐震基準の建物は 43%を占めています。

経過年数では、築50年以上が1.5万㎡(20%)、築40年から49年までが1.6万㎡(21%)、築30年から39年までが1.6万㎡(21%)となっており、築30年以上を合わせると96棟(60%)、床面積4.7万㎡(61%)となっています。



※作図のプログラムにより、面積は万㎡、比率が整数になっています。

図：学校施設等の築年別建物状況

(3) 児童・生徒数及び学級数の変化

① 児童・生徒数及び学級数の推移

市内の小学校 20 校の全児童数は、平成 22 年度～平成 23 年度で減少したものの、平成 24 年度以降ほぼ横ばいとなり、令和 1 年度は 1598 人となっています。平成 22 年度と比較すると 22.1%減少しています。児童数の変化の傾向は学校ごとに異なり、この 10 年間で柳迫小学校では約 9 割増加しており、財部小学校では 2 割弱減少しています。

平成 23 年度以降、学級数はほぼ横ばいとなっています。

表：児童数・学級数の推移（児童数：特別支援を含む、学級数：特別支援を除く）

単位：人、クラス												
学校名		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	H22/R1
末吉小	児童数	598	579	594	615	627	620	636	621	600	546	91.3%
	学級数	20	19	19	20	20	19	19	19	19	17	-3
檉小	児童数	41	40	37	44	47	42	40	36	36	32	78.0%
	学級数	4	4	4	5	5	5	5	4	4	4	0
高岡小	児童数	10	12	8	13	9	14	12	11	10	9	90.0%
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0
岩北小	児童数	23	22	16	17	17	17	20	19	15	12	52.2%
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	-1
岩南小	児童数	28	19	16	12	10	9	11	17	15	24	85.7%
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	0
諏訪小	児童数	91	90	89	84	80	72	66	60	69	74	81.3%
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	0
光神小	児童数	12	12	17	19	18	18	13	16	14	14	116.7%
	学級数	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	0
深川小	児童数	65	54	47	46	46	46	37	36	33	34	52.3%
	学級数	6	5	6	4	4	4	4	3	3	4	-2
柳迫小	児童数	41	40	37	41	42	57	68	78	79	78	190.2%
	学級数	5	4	4	4	4	4	5	6	6	6	1
岩川小	児童数	287	295	274	285	263	257	281	286	302	279	97.2%
	学級数	10	11	10	11	11	10	9	11	11	10	0
菅牟田小	児童数	8	9	8	8	7	7	6	13	14	13	162.5%
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0
笠木小	児童数	47	38	31	31	34	24	23	28	30	33	70.2%
	学級数	5	3	3	3	4	4	4	4	4	4	-1
大隅北小	児童数	51	48	41	37	34	34	30	35	26	30	58.8%
	学級数	6	5	5	3	4	4	4	4	3	3	-3
恒吉小	児童数	16	14	16	19	19	15	17	18	19	16	100.0%
	学級数	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	0
大隅南小	児童数	20	12	12	12	10	11	11	11	10	9	45.0%
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0
月野小	児童数	65	66	62	47	46	44	47	49	50	57	87.7%
	学級数	6	6	6	5	5	5	5	4	5	5	-1
財部小	児童数	356	326	313	303	305	309	325	299	298	290	81.5%
	学級数	12	12	12	12	12	12	13	11	11	11	-1

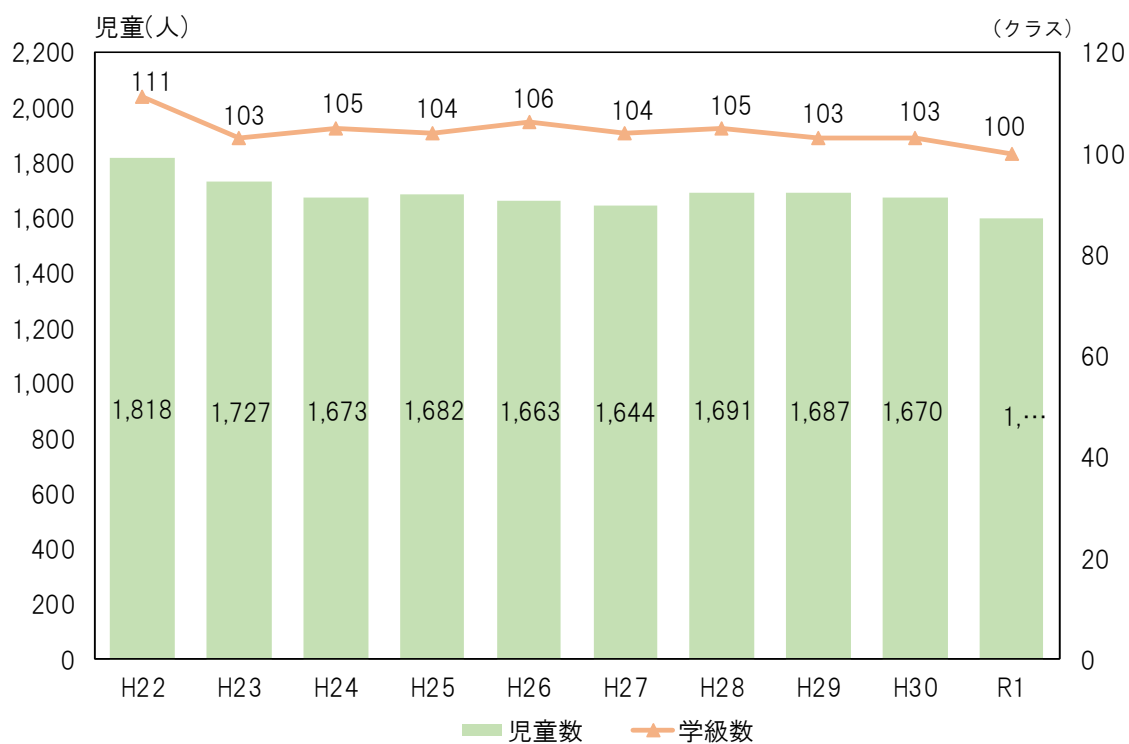
表：児童数・学級数の推移（児童数：特別支援を含む、学級数：特別支援を除く）

単位：人、クラス

学校名		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	H22/R1
財部北小	児童数	17	16	14	15	15	15	17	16	12	13	76.5%
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0
財部南小	児童数	30	26	28	22	23	24	22	27	30	27	90.0%
	学級数	4	3	3	3	4	4	4	3	4	4	0
中谷小	児童数	12	9	13	12	11	9	9	11	8	8	66.7%
	学級数	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	0
合計	児童数	1,818	1,727	1,673	1,682	1,663	1,644	1,691	1,687	1,670	1,598	87.9%
	学級数	111	103	105	104	106	104	105	103	103	100	-11

各年 5 月 1 日時点

資料：曾於市資料



図：児童数・学級数の推移

平成 24 年度以降、市内の中学校 3 校の全生徒数は、減少傾向にあり、平成 25 年度に市内中学校の統合が図られ、令和 1 年度は 811 人となっています。平成 23 年度と比較すると 14%減少しています。

学級数をみると、統合が行われた平成 25 年度の翌年、平成 26 年度以降は、ほぼ横ばいとなっています。

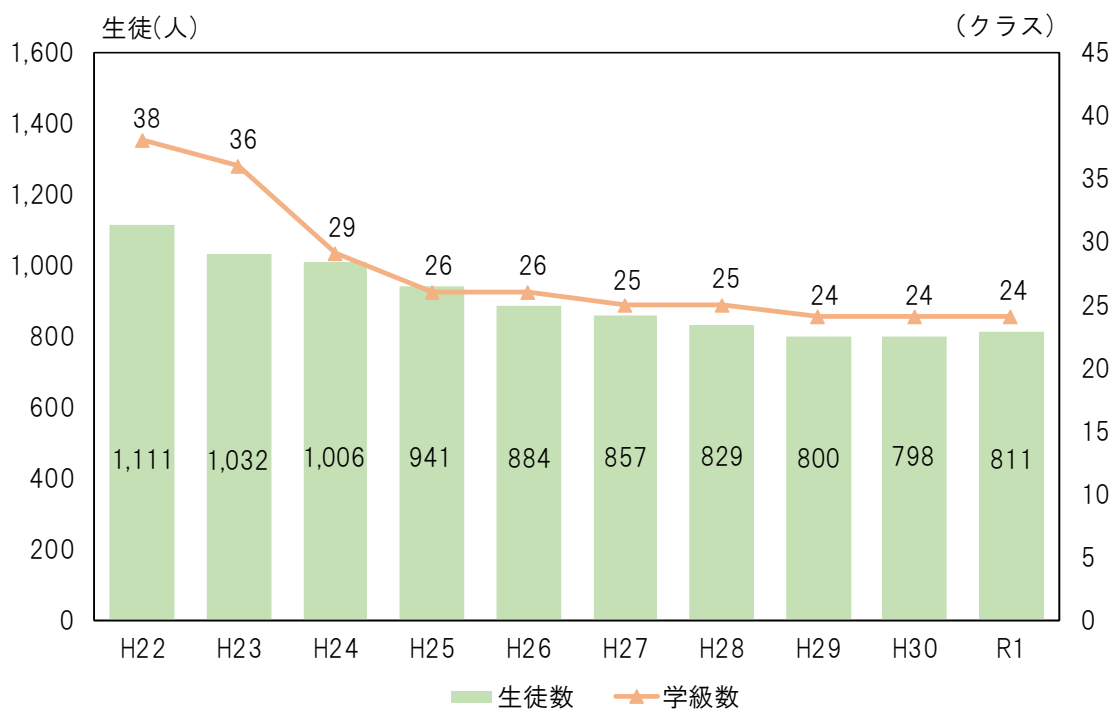
表：生徒数・学級数の推移（児童数：特別支援を含む、学級数：特別支援を除く）

単位：人、クラス

学校名		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	H22/R1
末吉中	生徒数	500	492	502	477	431	435	434	442	448	444	89%
	学級数	14	14	14	13	12	12	12	12	12	12	-2
南之郷中	生徒数	30	24	平成25年より末吉中へ再編								
	学級数	3	3									
大隅中	生徒数	333	266	272	240	258	232	220	193	177	180	54%
	学級数	10	8	8	7	8	7	7	6	6	6	-4
財部中	生徒数	215	222	232	224	195	190	175	165	173	187	87%
	学級数	6	6	7	6	6	6	6	6	6	6	0
財部北中	生徒数	12	7	平成25年より財部中へ再編								
	学級数	2	2									
財部南中	生徒数	21	21	平成25年より財部中へ再編								
	学級数	3	3									
合計	生徒数	1,111	1,032	1,006	941	884	857	829	800	798	811	73%
	学級数	38	36	29	26	26	25	25	24	24	24	-14

各年 5 月 1 日時点

資料：曾於市資料



図：生徒数・学級数の推移

② 児童・生徒数及び学級数の推計

令和7年度(2025年度)までの推計では、小学校の児童数は増減がありながらも徐々に減少していくと予測されます。また、学級数においても減少が予測されます。

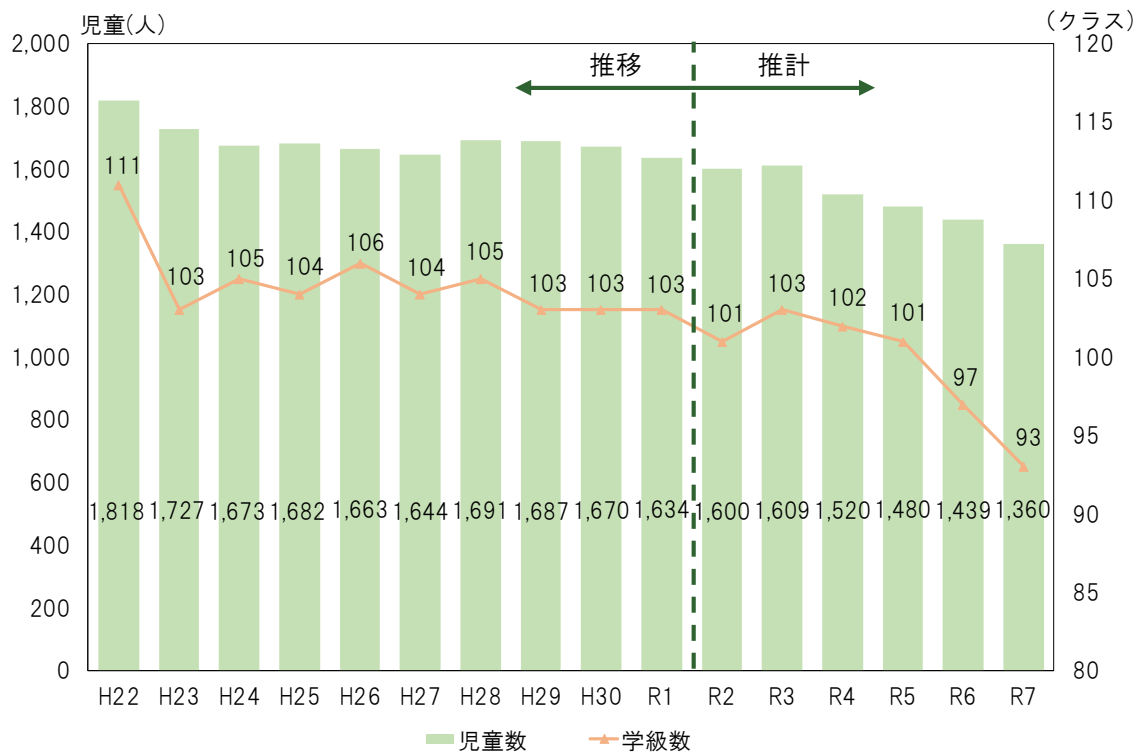
表：児童数・学級数の推計

令和1年5月1日現在

単位：人、クラス

学校名		令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024	令和7年度 2025
末吉小	児童数	541	548	533	524	509	496
	学級数	17	18	18	18	17	17
檜小	児童数	38	39	37	32	31	29
	学級数	4	4	4	3	3	3
高岡小	児童数	8	5	6	5	7	8
	学級数	3	3	3	2	2	2
岩北小	児童数	9	9	9	8	12	16
	学級数	2	2	2	2	2	3
岩南小	児童数	22	23	22	18	17	13
	学級数	3	3	3	3	3	3
諏訪小	児童数	77	77	72	68	55	49
	学級数	6	6	6	6	5	5
光神小	児童数	14	15	17	15	16	15
	学級数	3	3	3	3	3	3
深川小	児童数	35	35	35	38	40	43
	学級数	4	4	4	4	4	4
柳迫小	児童数	86	82	81	72	68	65
	学級数	6	6	6	6	6	6
岩川小	児童数	280	292	260	262	243	224
	学級数	10	11	11	12	11	9
菅牟田小	児童数	14	14	15	13	14	12
	学級数	3	3	3	3	3	2
笠木小	児童数	34	37	39	35	34	29
	学級数	4	4	4	4	3	3
大隅北小	児童数	30	32	29	28	30	32
	学級数	4	4	3	4	4	4
恒吉小	児童数	14	17	17	17	16	15
	学級数	3	3	3	3	3	3
大隅南小	児童数	9	10	11	12	12	10
	学級数	3	3	3	3	3	3
月野小	児童数	62	61	56	50	47	41
	学級数	6	6	6	6	6	6
財部小	児童数	277	271	241	249	249	227
	学級数	11	11	11	11	10	8
財部北小	児童数	14	12	10	8	11	8
	学級数	3	3	3	2	3	2
財部南小	児童数	26	22	21	17	19	19
	学級数	3	3	3	3	3	4
中谷小	児童数	10	8	9	9	9	9
	学級数	3	3	3	3	3	3
合計	児童数	1,600	1,609	1,520	1,480	1,439	1,360
	学級数	101	103	102	101	97	93

資料：曾於市資料



図：児童数・学級数の推計

令和7年度（2025年度）までの推計では、中学校の生徒数は増減がありながらも横ばいで推移すると予測されます。また、学級数は横ばいもしくは減少すると予測されます。

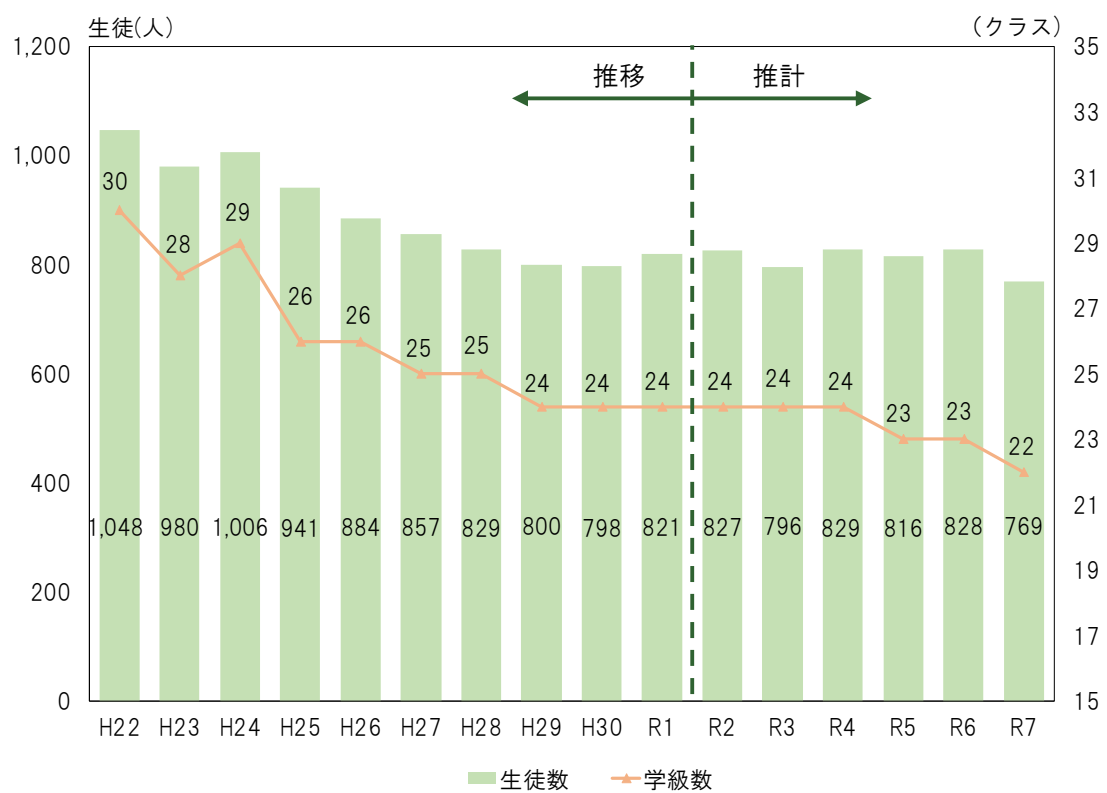
表：生徒数・学級数の推計

令和1年5月1日現在

単位：人、クラス

学校名		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		2020	2021	2022	2023	2024	2025
末吉中	生徒数	442	430	432	430	421	391
	学級数	12	12	12	12	12	11
大隅中	生徒数	190	184	212	221	241	225
	学級数	6	6	6	6	6	6
財部中	生徒数	195	182	185	165	166	153
	学級数	6	6	6	5	5	5
合計	生徒数	827	796	829	816	828	769
	学級数	24	24	24	23	23	22

資料：曾於市資料



図：生徒数・学級数の推計

(4) 学校施設の配置状況

本市は末吉町に全人口の約 5 割が集中しており、小学校 9 校、中学校 1 校があります。また、大隅町には小学校が 7 校と中学校が 1 校、財部町には小学校が 4 校、中学校が 1 校あります。大隅町及び財部町ともに人口は 1 万人前後、全人口に対する人口比率にも大差はありませんが、小学校数が多い大隅町は、財部町に比べて学校区がより細分化されている状況となっています。

表：地域別の学校施設配置状況

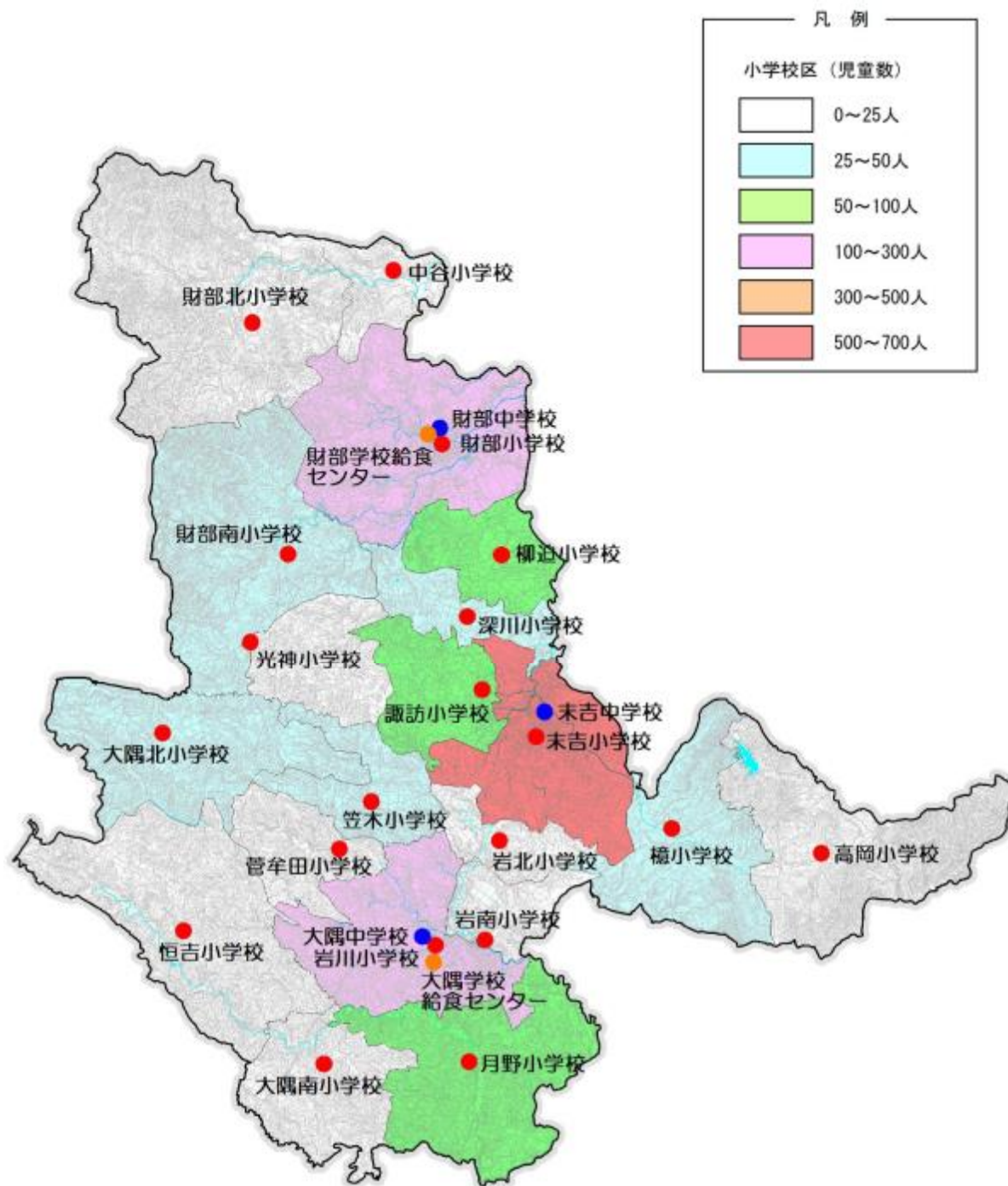
単位：人

地域	項目	人口	15歳未満	小学校	児童数	中学校	生徒数
末吉町	実数	16,614	1905	末吉小	546	末吉中	444
					34.2%		
				檉小	32		
					2.0%		
				高岡小	9		
	比率	45.4%	46.9%		0.6%		54.7%
				岩北小	12		
					0.8%		
				岩南小	24		
					1.5%		
				諏訪小	74		
					4.6%		
				光神小	14		
					0.9%		
				深川小	34		
					2.1%		
大隅町	実数	10,299	1084	岩川小	279	大隅中	180
					17.5%		
				菅牟田小	13		
					0.8%		
				笠木小	33		
	比率	28.2%	26.7%		2.1%		22.2%
				大隅北小	30		
					1.9%		
				恒吉小	16		
					1.0%		
財部町	実数	9,644	1074	財部小	290	財部中	187
					18.1%		
				財部北小	13		
	比率	26.4%	26.4%		0.8%		23.1%
				財部南小	27		
					1.7%		
合計	実数	36,557	4,063	合計	1598	合計	811
	比率	100%	100%	合計	100%	合計	100%

資料：人口は平成 27 年国勢調査、

資料：曾於市資料

児童・生徒数は曾於市資料（令和 1 年 5 月 1 日）



図：学校施設の配置状況

(5) 学校の維持管理コスト

① 管理費の推移

小中学校の管理費（光熱水費、維持修繕費、委託費、施設整備費）に関する、平成26年度から平成30年度までの5年間の年平均は、小学校で378,210千円、中学校で102,623千円、給食センターで86,049千円となります。

表：管理費の推移（小学校）

単位：千円

施設名	内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	年平均
末吉小学校 末吉小給食室	光熱水費	8,035	7,448	7,052	7,710	7,631	
	維持修繕費	3,699	4,880	4,929	1,526	3,537	
	委託費	27,550	26,144	24,584	25,560	26,091	
	施設整備費	428	47,461	17,296	6,571	457	
	小計	39,711	85,934	53,860	41,367	37,715	51,718
憶小学校	光熱水費	1,839	2,090	1,441	1,577	1,375	
	維持修繕費	147	196	102	104	230	
	委託費	15,683	7,815	551	579	576	
	施設整備費	726	255,850	97	0	2,128	
	小計	18,396	265,951	2,191	2,260	4,309	58,621
高岡小学校	光熱水費	932	1,049	944	1,059	1,047	
	維持修繕費	40	1,114	290	430	429	
	委託費	3,138	648	808	1,163	865	
	施設整備費	299	12,910	3,155	4,235	0	
	小計	4,409	15,720	5,197	6,887	2,341	6,911
岩北小学校	光熱水費	1,228	1,319	1,510	1,445	1,013	
	維持修繕費	114	295	272	651	313	
	委託費	2,835	679	948	1,058	663	
	施設整備費	299	6,269	12,484	0	1,061	
	小計	4,476	8,562	15,214	3,154	3,051	6,891
岩南小学校	光熱水費	1,525	1,271	1,174	1,326	1,258	
	維持修繕費	573	147	242	106	566	
	委託費	1,605	628	501	975	728	
	施設整備費	1,534	16,921	97	3,106	2,877	
	小計	5,237	18,968	2,013	5,514	5,429	7,432
諏訪小学校	光熱水費	1,880	1,787	1,766	1,787	1,850	
	維持修繕費	443	1,193	383	119	791	
	委託費	2,840	1,100	510	1,376	905	
	施設整備費	0	24,161	0	1,323	564	
	小計	5,163	28,241	2,659	4,605	4,110	8,956
光神小学校	光熱水費	927	944	858	859	935	
	維持修繕費	287	3,000	826	779	230	
	委託費	2,437	493	499	1,159	596	
	施設整備費	1,779	18,954	603	3,304	4,244	
	小計	5,429	23,391	2,787	6,100	6,005	8,743

資料：曾於市資料

表：管理費の推移（小学校）

単位：千円

施設名	内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	年平均
深川小学校	光熱水費	1,637	1,526	1,302	1,336	1,351	
	維持修繕費	481	523	1,009	473	313	
	委託費	2,555	580	834	1,498	669	
	施設整備費	346	23,436	5,240	1,323	983	
	小計	5,018	26,065	8,384	4,629	3,316	9,483
柳迫小学校	光熱水費	1,450	1,510	1,356	1,502	1,660	
	維持修繕費	82	347	180	138	473	
	委託費	1,876	7,540	1,370	504	704	
	施設整備費	29,053	231,452	1,274	0	4,815	
	小計	32,460	240,849	4,181	2,144	7,652	57,457
岩川小学校	光熱水費	3,813	3,372	3,576	3,800	4,030	
	維持修繕費	1,688	666	1,198	647	1,971	
	委託費	1,977	946	1,285	814	17,586	
	施設整備費	299	475	103	0	490	
	小計	7,776	5,458	6,161	5,261	24,077	9,747
菅牟田小学校	光熱水費	850	1,023	1,019	1,043	1,081	
	維持修繕費	270	713	158	164	641	
	委託費	1,574	865	983	4,765	1,256	
	施設整備費	428	22,100	3,113	1,550	41,419	
	小計	3,122	24,700	5,272	7,522	44,397	17,003
笠木小学校	光熱水費	1,707	1,812	1,727	1,753	1,699	
	維持修繕費	315	254	850	376	619	
	委託費	1,681	540	712	682	1,035	
	施設整備費	428	641	103	259	490	
	小計	4,130	3,247	3,392	3,071	3,844	3,537
大隅北小学校	光熱水費	1,458	1,708	1,561	1,591	1,509	
	維持修繕費	90	138	1,844	660	723	
	委託費	13,346	4,991	613	1,165	635	
	施設整備費	784	293,718	12,175	55	446	
	小計	15,678	300,554	16,192	3,472	3,313	67,842
恒吉小学校	光熱水費	1,030	803	790	819	816	
	維持修繕費	254	839	141	452	551	
	委託費	1,628	546	646	1,105	760	
	施設整備費	438	17,871	103	0	2,632	
	小計	3,351	20,059	1,680	2,376	4,758	6,445
大隅南小学校	光熱水費	1,123	1,202	1,313	1,083	1,055	
	維持修繕費	552	1,495	414	465	375	
	委託費	1,574	708	806	1,023	828	
	施設整備費	737	16,766	591	1,361	2,788	
	小計	3,986	20,171	3,124	3,932	5,046	7,252

資料：曾於市資料

表：管理費の推移（小学校）

単位：千円

施設名	内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	年平均
月野小学校	光熱水費	1,890	1,874	1,929	2,082	1,912	
	維持修繕費	804	327	281	611	1,045	
	委託費	607	986	890	924	1,039	
	施設整備費	1,610	641	632	55	392	
	小計	4,910	3,827	3,731	3,672	4,388	4,106
財部小学校	光熱水費	3,084	2,683	2,941	3,086	3,205	
	維持修繕費	466	352	840	180	2,269	
	委託費	13,021	11,906	11,676	13,010	11,756	
	施設整備費	0	28,904	603	3,457	798	
	小計	16,571	43,845	16,061	19,733	18,028	22,848
財部北小学校	光熱水費	1,104	1,133	1,057	1,146	1,266	
	維持修繕費	1,296	283	822	193	847	
	委託費	4,297	2,390	2,302	3,364	2,462	
	施設整備費	784	23,990	96	55	4,473	
	小計	7,480	27,796	4,277	4,757	9,050	10,672
財部南小学校	光熱水費	1,236	1,279	1,268	1,272	1,457	
	維持修繕費	144	305	513	543	536	
	委託費	3,877	2,497	2,261	2,795	2,221	
	施設整備費	784	19,948	96	55	4,421	
	小計	6,042	24,029	4,138	4,665	8,634	9,502
中谷小学校	光熱水費	1,017	1,008	1,002	1,117	1,158	
	維持修繕費	30	197	112	213	203	
	委託費	502	467	704	743	772	
	施設整備費	0	166	1,797	3,457	571	
	小計	1,548	1,838	3,614	5,531	2,703	3,047
小学校計	光熱水費	37,765	36,840	35,586	37,394	37,306	
	維持修繕費	11,774	17,263	15,406	8,831	16,663	
	委託費	104,600	72,468	53,483	64,262	72,148	
	施設整備費	40,755	1,062,634	59,655	30,164	76,050	
	計	194,893	1,189,206	164,130	140,652	202,167	378,210

資料：曾於市資料

表：管理費の推移（中学校）

単位：千円

施設名	内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	年平均
末吉中学校 末吉中給食室	光熱水費	6,893	6,519	6,563	6,710	7,423	
	維持修繕費	6,540	3,020	6,717	5,043	3,992	
	委託費	32,626	34,505	31,676	31,994	39,024	
	施設整備費	0	5,281	5,748	7,883	5,094	
	小計	46,059	49,325	50,704	51,629	55,534	50,650
大隅中学校	光熱水費	4,462	3,978	4,164	4,658	4,570	
	維持修繕費	983	1,577	1,577	1,862	421	
	委託費	11,469	18,959	17,498	18,738	20,780	
	施設整備費	5,132	5,130	324	8,690	2,145	
	小計	22,046	29,645	23,563	33,948	27,917	27,424
財部中学校	光熱水費	2,543	2,468	2,466	2,907	2,794	
	維持修繕費	236	417	95	614	391	
	委託費	21,530	24,308	18,440	19,818	21,757	
	施設整備費	0	0	1,296	665	0	
	小計	24,309	27,194	22,297	24,005	24,943	24,549
中学校計	光熱水費	13,898	12,966	13,193	14,275	14,788	
	維持修繕費	7,758	5,014	8,389	7,519	4,805	
	委託費	65,625	77,772	67,613	70,550	81,561	
	施設整備費	5,132	10,411	7,368	17,238	7,240	
	計	92,413	106,164	96,563	109,582	108,394	102,623

資料：曾於市資料

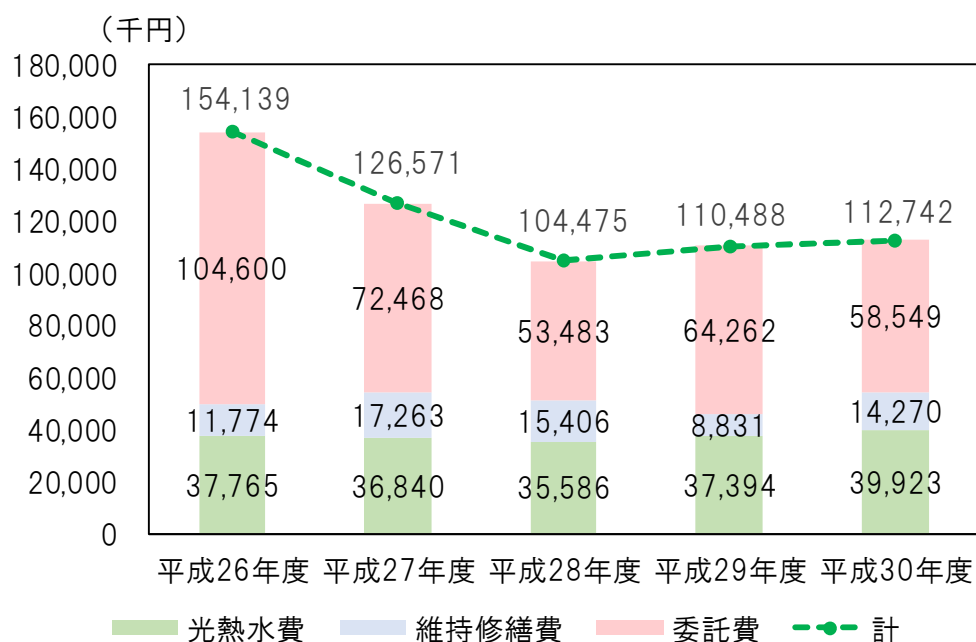
表：管理費の推移（給食センター）

単位：千円

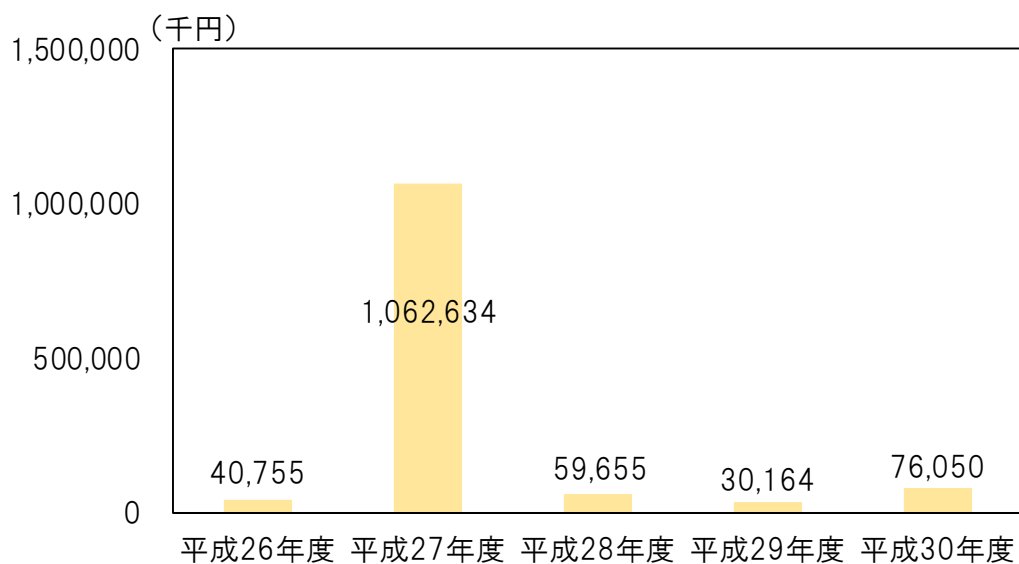
施設名	内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	年平均
大隅学校 給食センター	光熱水費	9,100	7,761	7,770	9,077	9,332	
	維持修繕費	16,861	23,204	12,378	3,194	2,978	
	委託費	24,830	25,323	24,226	24,762	25,509	
	施設整備費	0	100	0	1,771	0	
	計	50,791	56,388	44,373	38,804	37,819	45,635
財部学校 給食センター	光熱水費	6,764	6,240	6,327	7,549	7,531	
	維持修繕費	12,685	8,363	7,762	3,313	4,098	
	委託費	25,141	24,676	24,227	24,636	25,394	
	施設整備費	0	100	1,111	6,156	0	
	計	44,590	39,378	39,427	41,654	37,023	40,414
給食センター 計	光熱水費	15,865	14,000	14,097	16,625	16,863	
	維持修繕費	29,546	31,566	20,139	6,507	7,076	
	委託費	49,970	49,999	48,453	49,398	50,903	
	施設整備費	0	200	1,111	7,927	0	
	計	95,381	95,766	83,800	80,457	74,842	86,049

資料：曾於市資料

管理費の内訳をみると、平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間の年平均は、小学校では光熱水費が 36,978 千円、維持修繕費が 13,987 千円、委託費が 73,392 千円、中学校では光熱水費が 13,824 千円、維持修繕費が 6,697 千円、委託費が 72,624 千円、給食センターでは光熱水費が 15,490 千円、維持修繕費が 18,967 千円、委託費が 49,745 千円となっています。

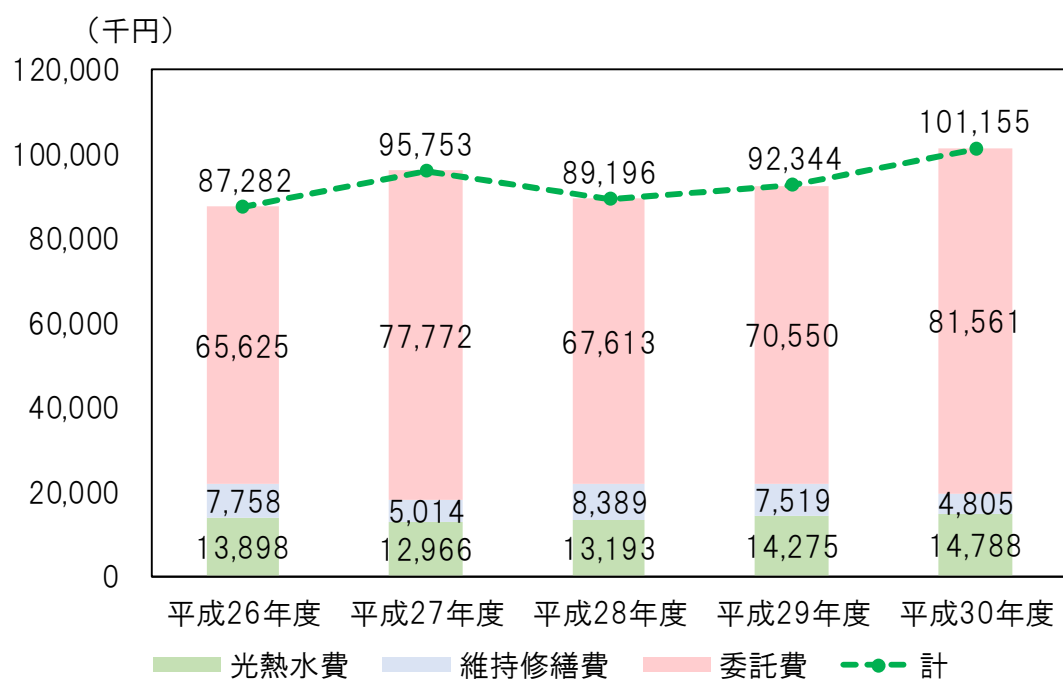


図：管理費の推移（小学校、施設整備費を除く）

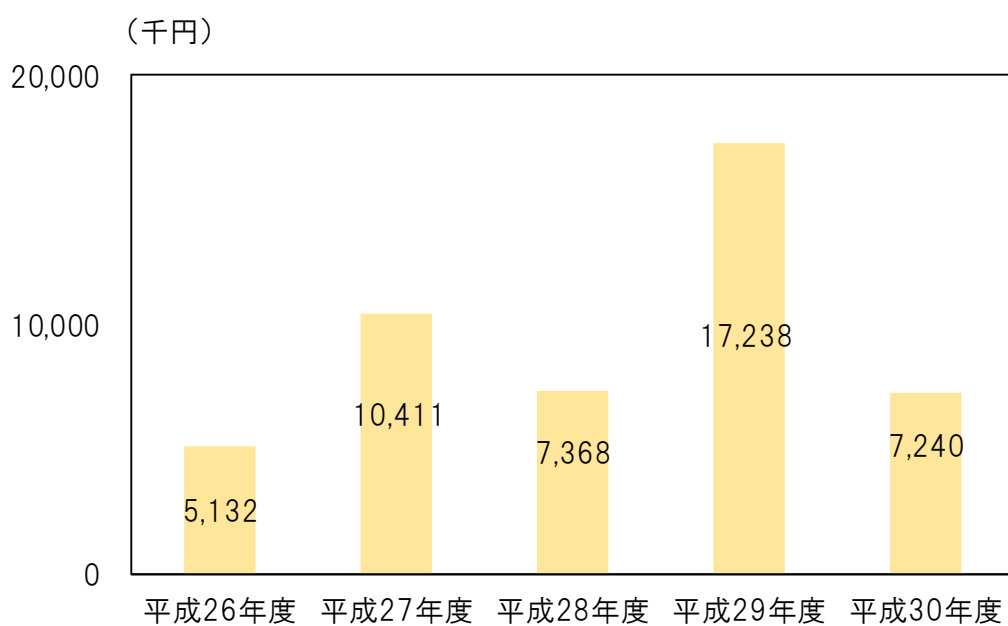


図：施設整備費の推移（小学校）

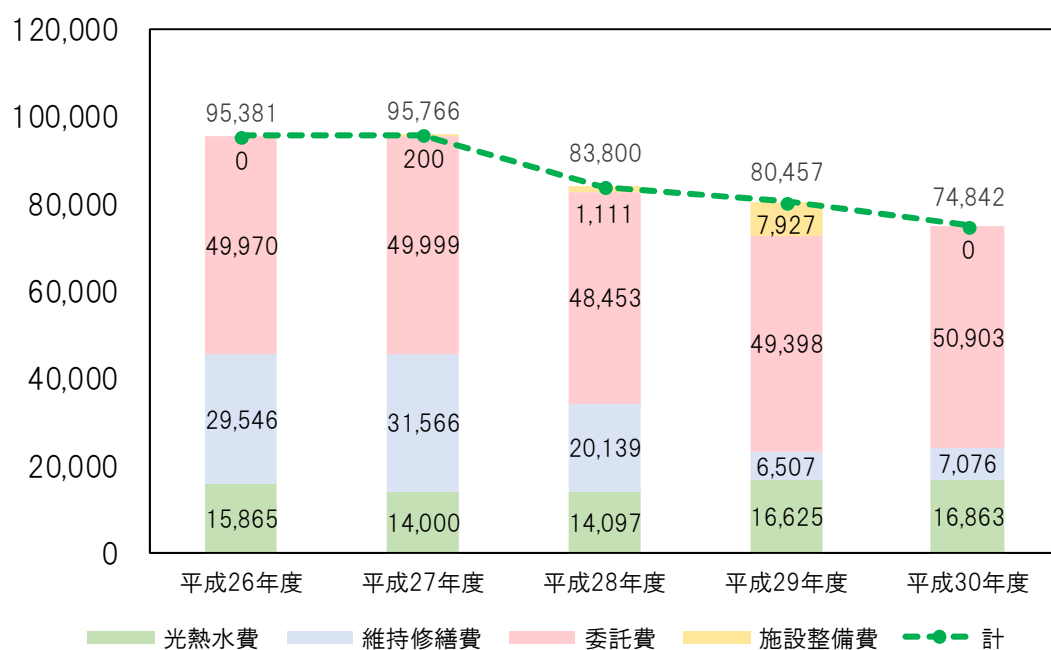
なお、平成 27 年度の施設整備費が他の年度に比べて高いのは、大隅北小の大規模改造、檉小・柳迫小の屋内運動場改築工事を実施したことによるものです。



図：管理費の推移（中学校、施設整備費を除く）

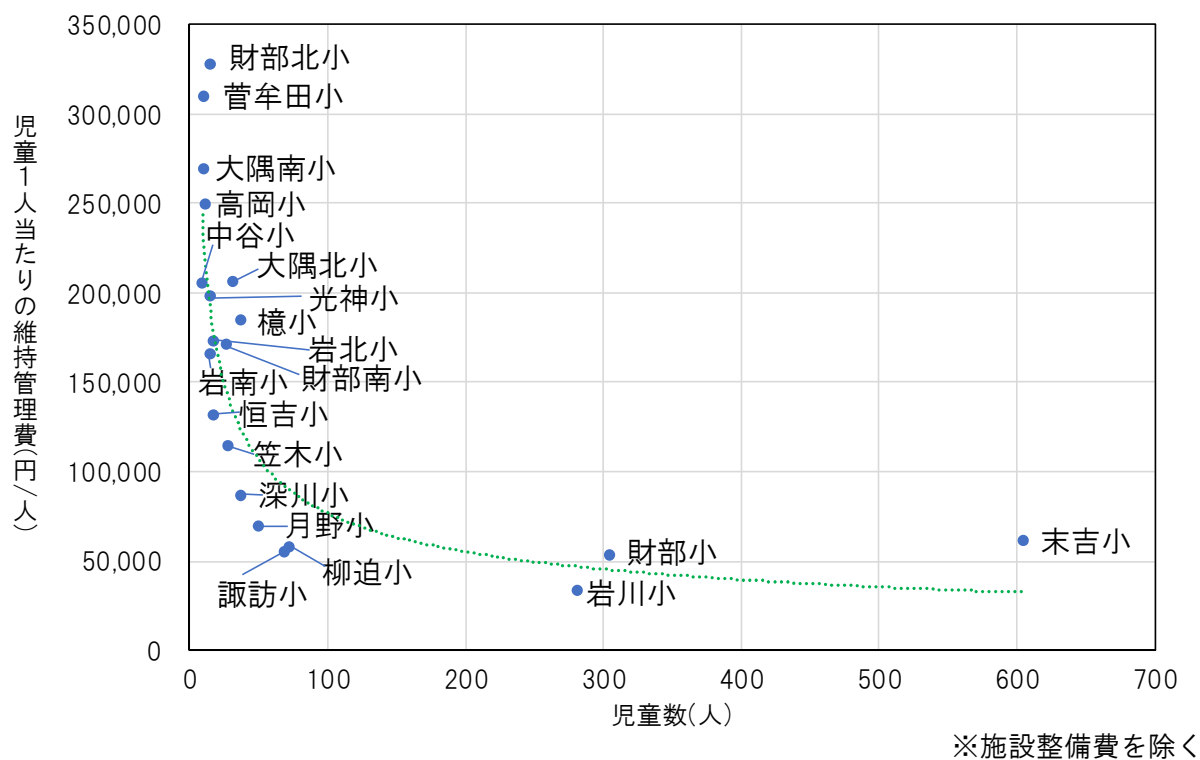


図：施設整備費の推移（中学校）



図：施設整備費の推移（給食センター）

また、小学校において維持管理費を児童数で割った1人当たりの費用と児童生徒数の関係を見ると、児童数が30人を下回ると急激にコストがかさむことがわかります。



図：児童1人当たりの維持管理費（過去5年の平均）

(6) 学校施設等の実態を踏まえた課題

本市には、小学校が 20 校、中学校が 3 校ありますが、人口減少や少子高齢化の影響により、15 歳未満の人口が年々減少してきており、児童数・生徒数も減少しています。

これまでに述べたように、本市の学校施設等は、築 30 年以上の建物が全体の半分以上を占めています。旧耐震基準の建物は、耐震診断結果に基づいて耐震補強・大規模改修工事等を実施してきました。しかしながら、建築から長い年数が経過して建物の老朽化が進んでいるとともに設備の不具合もあり、近い将来に建替を含めた対策が必要となっています。

また、少子化の進展により児童・生徒数の減少や学校の小規模校化が進んできており、今後の更なる人口減少や少子化を踏まえた、施設整備の検討が必要になってきます。

さらに、教育内容や教育方法等の多様化、防災機能整備、バリアフリー化、環境への配慮など学校施設等に求められる時代のニーズに対応するための対策が課題となっています。

① 厳しい財政状況を勘案した学校施設等の長期保全への取り組み

平成 29 年度の一般会計の決算における自主財源の割合は、歳入総額の 29.9%となっており、将来的な人口減少に伴い、地方税も減少することが予測されます。一方、歳出においては、扶助費が増加する傾向を踏まえると、財政状況がますます厳しくなっていくことになります。

本市の建築系公共施設は、1,359 棟、総延床面積 287,070 m²を保有している中で、小中学校、給食センターを合わせた学校施設等の延床面積は全体の約 3 割を占めています。（資料：公共施設等総合管理計画）これらの学校施設等は、近い将来に改築や大規模改修を行う必要があり、市の財政の大きな負担となることが考えられます。

このため、学校施設等の中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、長期的な予算配分を確立していくことが必要です。

② 学校施設等の維持・改修など総合的な対応

学校施設等の延床面積率 61%が築 30 年以上と老朽化が進んでいる中で、建設当時に比べ大きく変化している多様な学習内容に応じた高機能かつ多機能な施設環境の必要性が高まっています。また、防災対策、バリアフリー対策、トイレの洋式化等の学習・生活空間としての安全性や快適性の向上を図るほか、環境負荷の低減対策等の様々な配慮が必要となっています。

施設の改修にあたっては、建築時の状態に戻すのではなく、その機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる必要があります。その際には、安全・安心な施設環境の確保、教育環境の質的向上、地域コミュニティの拠点形成を目指して再生を行うことが重要です。

③ 小中学校の規模・配置状況を踏まえた施設整備

児童・生徒数が減少し、国が定める過小規模の学校は本市に15校あります。このため、将来を見据えた小中学校の規模や配置状況を踏まえた施設整備が課題となっていますが、その検討にあたっては児童・生徒にとって望ましい教育環境はどうあるべきかという観点に立ち、保護者や地域住民等の理解や協力を得ながら進めていく必要があります。

表：学校別の児童・生徒数と学級数

		単位：人，クラス	
地域	小学校	中学校	
末吉町	末吉小	児童数	546
		学級数	17
	檉小	児童数	32
		学級数	4
	高岡小	児童数	9
		学級数	3
	岩北小	児童数	12
		学級数	2
	岩南小	児童数	24
		学級数	3
	諏訪小	児童数	74
		学級数	6
大隅町	光神小	児童数	14
		学級数	3
	深川小	児童数	34
		学級数	4
	柳迫小	児童数	78
		学級数	6
	岩川小	児童数	279
		学級数	10
	菅牟田小	児童数	13
		学級数	3
	笠木小	児童数	33
		学級数	4
財部町	大隅北小	児童数	30
		学級数	3
	恒吉小	児童数	16
		学級数	3
	大隅南小	児童数	9
		学級数	3
	月野小	児童数	57
		学級数	5
	財部小	児童数	290
		学級数	11
	財部北小	児童数	13
		学級数	3
財部町	財部南小	児童数	27
		学級数	4
	中谷小	児童数	8
		学級数	3

資料：曾於市資料

表：学校規模の分類

	過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
小学校	5学級以下	6～11学級	12～18学級	19～30学級	31学級以上
中学校	2学級以下	3～11学級			

資料：学校教育法施行規則



図：学校規模の分類

3. 学校施設等の老朽化状況

(1) 学校施設等の老朽化状況の把握

① 老朽化状況の評価

施設の健全性・劣化状況を把握し評価するために、学校施設台帳、耐震診断結果を踏まえ、さらに屋上・外壁等の実態を把握するため、学校施設等 25 施設の主要建物 161 棟を対象にした目視による現地調査を行いました。

以下に示す劣化状況調査票を基に、各項目について劣化状況の確認と劣化具合の写真を撮影し、「屋根・屋上」、「外壁」に区分して評価を行いました。また、「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」についても経過年数により評価を行い、総合的に施設の健全度として点数化を行いました。

【劣化状況調査票】

通し番号			学校名	学校番号	調査日		
建物名			記入者				
棟番号			建築年度	年度(年度)			
構造種別	延床面積	m ²	階数	地上	地下		

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に剥れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 並木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフィングを日視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	☐ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が割れている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐食 ☐ 既存点検等で指摘がある			
3 内部	内部劣化箇所②			内部劣化箇所③			
	修繕・点検項目	改修・点検年度		特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)			評価
4 内部仕上 (床・壁・天井 (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修 ☐ エコ改修 ☐ トイレ改修 ☐ 法令適合 ☐ 校内LAN ☐ 空調設置 ☐ 障害児等対策 ☐ 防犯対策 ☐ 構造体の耐震対策 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☐ その他、内部改修工事						
5 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 配線等の敷設工事 ☐ 昇降設備保守点検 ☐ その他、電気設備改修工事						
6 機械設備	☐ 給水配管改修 ☐ 排水配管改修 ☐ 消防設備の点検 ☐ その他、機械設備改修工事						
7 設備情報	トイレのドライ化 太陽光発電 エレベーター 点字ブロック スロープ 木質化 屋上緑化 多目的トイレ 手すり						

特記事項(改修工事内容や12ヵ所点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
 0 / 100点

【評価指標】

目視による評価 (屋根・屋上、外壁)			経過年数による評価 (内部仕上、電気設備、機械設備)		
評価	基準		評価	基準	
良好	A	おおむね良好	良好	A	20年未満
	B	部分的に劣化 (安全上・機能上：問題なし)		B	20～40年
	C	広範囲に劣化 (安全上・機能上：不具合発生の兆し)		C	40年以上
劣化	D	早急に対応する必要がある	劣化	D	経過年数に関わらず 著しい劣化事象がある

図：評価指標

【健全度の算定】

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。部位のコスト配分を下表のように定め、健全度を100点満点で算定します。

表：部位の評価点

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

表：部位のコスト配分

部位	コスト配分
屋根・屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
合計	60.0

✧ 計算例：総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷ 60（コスト配分合計）

表：計算例

部位	評価		評価点例		コスト配分		配分評価点
屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	=	204
外壁	D	→	10	×	17.2	=	172
内部仕上	B	→	75	×	22.4	=	1,680
電気設備	A	→	100	×	8.0	=	800
機械設備	C	→	40	×	7.3	=	292
計							3,148
							÷60
健全度							52

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。 良好 劣化

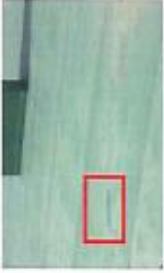
《解説》

《点検項目》

- ✓ 最上階の天井において、降雨時やその翌日の雨漏りがないか。または、雨漏りが原因と思われるシミやカビがないか。
- ✓ 防水面において、膨れ・剥がれ・破れ・穴開きなどがないか。
- ✓ 金属屋根においては、錆・損傷・腐食などがないか。
- ✓ 上記のような劣化事象の箇所数を記入。

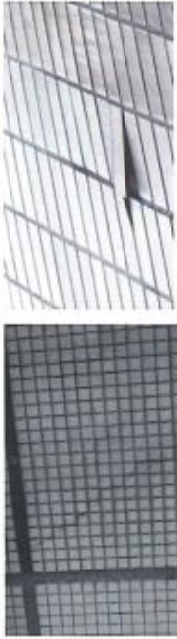
《点検の留意点》

- ✓ ルーフドレイン（屋上排水口）や排水溝は、緩い勾配がつけられている屋上で、最も低い部分で、土砂などが溜まりやすくなっており、ここが詰まると屋上に水溜りができてしまい、劣化が進み、漏水が発生する恐れがある。
- ✓ 目視だけでなく歩行により、浮きや水ぶくれ等がないか確認する。
- ✓ パラペット立上り部分の防水端部で、剥がれ等が無いか確認する。
- ✓ 屋内運動場の屋根は、容易に登れない場合は隣接する校舎の屋上等から観察する。
- ✓ 1箇所の劣化事象だけでなく、全体の経年状況等を踏まえる。
- ✓ 現状のまま放置すると、他の場所でも同じように劣化が進行する可能性がある場合は評価を1段階引き下げる。
- ✓ 現状として、降雨時に複数箇所で雨漏りしている場合をD評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。ただし、屋上防水は改修済みでも、天井ボードは既存のままとなっている学校が多く、見極める必要がある。

評価 仕様	A	B	C	D
アスファルト 保護防水	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷がある。	 広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、土砂の堆積、雑草、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、損壊、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
アスファルト 露出防水	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ふくれ、しわ、変質（摩耗）、排水不良がある。	 広範囲に、ひび割れ、変質（摩耗）、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、破断、損壊、下地露出、幅広のひび割れがあり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
シート 防水	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ふくれ、しわ、変質（摩耗）、排水不良がある。	 広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質（摩耗）、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
塗膜防水	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的にふくれ、しわ、変質（スポンジ状）、排水不良がある。	 広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質（摩耗）、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
金属板 (長尺、折板、平葺き)	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、金物のさびがある。	 広範囲に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、取付金物のさび、部分的な腐食・損壊があり、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、さび、はがれ、腐食、取付金物の損壊があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。

《解説》

- 《点検項目》
- ✓ 外壁において、コンクリートが剥落し、鉄筋が露出している箇所はないか。
 - ✓ 外壁の室内側において、雨漏りと思われるシミ垂れや塗装の剥がれがないか。また、降雨時や翌日に床面に水溜りができてないか。
 - ✓ 外装材（モルタル・タイル・吹き付け材などの仕上げ材）の亀裂、浮き、剥離、ひび割れ及び破損などがないか。
 - ✓ 建具枠、蝶番などの腐食、変形、ぐらつきなどがないか。
 - ✓ 窓枠と外壁との隙間に施されているシーリング材に硬化、切れ、剥れなどがないか。
 - ✓ 上記のような劣化事象の箇所数を記入。
- 《点検の留意点》
- ✓ 目視によって外壁の状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食などがないかを確認する。
 - ✓ 外壁のタイル、モルタルなどに剥落やふくれ、浮きを発見した場合は、直ちに、周囲に立ち入りできないよう措置を行う。また、部分的に打診による浮きの確認をすることが望ましい。
 - ✓ スチールサッシは、錆の影響による閉不良・鍵の破損等について確認する必要がある。
 - ✓ 現状として降雨時に複数箇所雨漏りしている場合をD評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。
 - ✓ 鉄筋の露出は、概ね5箇所以上をD評価とする。

評価 仕様	A	B	C	D
塗り 仕上げ	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ・変質・浮き・さび汁がある。	 広範囲に、ひび割れ・亀甲状のひび割れ・変質・浮き・割れ・さび汁があり、小規模な漏水がある。	 広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
タイル張り 石張り	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひびがある。	 広範囲に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひびがあり、小規模な漏水がある。	 広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
金属系 パネル	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、さび・変質・シーリング材のひびがある。	 広範囲に、さび・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	 広範囲に、さび・腐食・ぐらつき・取付金物の腐食があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
セメント系 パネル	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ・変質・欠損・シーリング材のひびがある。	 広範囲に、ひび割れ・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	 欠落・ぐらつき・取付金物の腐食・シーリング材の欠落があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
窓 (サッシ)	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、変形・変質・シーリング材の硬化。	 全体的に、変形・変質・さび・シーリングの硬化・ひび割れが見られる。	 全体的に腐食・損壊・閉閉不良があり、漏水がある。

【評価基準：内部仕上、電気設備、機械設備】

部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価する。

《解説》

内部仕上と設備は修繕・改修や点検の履歴を基に、経過年数により4段階で評価することを基本とする。ただし、現地目視により、右頁にあるような事象があれば、それらも加味して総合的に評価すること。

対象となる部位、及びC／D評価に該当する事象例を右表に示す。

《点検項目》

✓ 内部においては、床・壁・天井のコンクリートの亀裂やボード類の浮きや損傷などがないか。

✓ 天井ボードの落下や床シートの剥がれなどにより安全性が損なわれているところがないか。

✓ 設備機器においては、機器や架台に錆・損傷・腐食などがないか。

✓ 設備機器に漏水・漏油などがないか。

✓ 給水設備においては、使用水に赤水や異臭がないか。

✓ 機器から異音はしていないか。

✓ 保守点検や消防の査察などで是正措置等の指摘がないか。

《点検の留意点》

✓ 目視によって状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食などがないかを確認する。

✓ 受変電設備等の高圧機器は、フェンスの外から目視により確認する。

✓ 施設管理者からのヒアリングも有効。

✓ 目視で評価する場合、複数台あるうち、1台の機器の劣化事象だけで判断するのではなく、設備全体として評価する。

該当する部位		CまたはDの事象(例)
内部仕上	● 床、壁、天井	● 内部仕上げと設備機器について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) ・特定の教室のみの改修 ・天井張替え、壁の塗り替え、照明器具交換など、部位、機器のみの改修工事 ● 広範囲(25%以上の面積)または随所(5か所以上)に劣化事象がみられる場合は、評価を1段階下げることを目安とする。 床仕上げの剥がれ 床のひび割れ 天井材の落下・剥がれ
	● 内部開口部(扉、窓、防火戸)	
	● 室内表示、手すり、固定家具など	
	● 照明器具、衛生器具、冷暖房器具	
	● 建物内の分電盤・配線・配管 (電灯・コンセント設備) (弱電設備)	
電気設備	受変電設備、自家発電設備、幹線設備は、 学校施設の共用設備のため対象外とする。	● 建物内の分電盤・配線・配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) ・受変電設備の更新 ・防災設備、放送設備など、単独設備の更新 (評価例) ・視聴覚室やコンピューター室などの改修(整備)はしているが、他の部分は40年以上経過している場合は、C評価
機械設備	● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管・ガス配管	● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) ・部分的な修繕等 (評価例) ・給水配管の更新済みで、排水配管は40年以上経過してる場合は、C評価 ・給排水配管を一度も更新せず、40年以上経過している場合は、D評価
	受水槽、高置水槽、浄化槽、各種ポンプ、 屋外配管は、共用設備のため対象外とする。	

① 老朽化状況の実態

現地の目視調査を踏まえた劣化状況による建物の健全度について、評価結果を次頁に示します。

建物基本情報													構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考		
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)			
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/mm)	試算上 の区分									
普通教室・特別教室・管理教室等																											
1	1449	末吉小学校	管理教室棟	1	小学校	校舎	RC	2	1,329	1976	S51	43	旧	済	－	H21	23.1	長寿命	C	A	C	C	C	57	・曾教27-46 外壁改修工事		
2	1449	末吉小学校	普通教室棟	2	小学校	校舎	RC	3	2,517	1975	S50	44	旧	済	－	H21	24.2	長寿命	C	A	C	C	C	57	・曾教27-47 外壁改修工事		
3	1449	末吉小学校	教室棟	16	小学校	校舎	RC	2	380	1985	S60	34	新	－	－	－	－	長寿命	B	A	B	B	B	82	・曾教27-48 外壁改修工事		
4	1449	末吉小学校	図書室	17	小学校	校舎	RC	1	208	1985	S60	34	新	－	－	－	－	長寿命	A	A	B	B	－	86	・曾教27-49 外壁改修工事 ・給排水設備なし。		
5	1450	檉小学校	管理教室棟	1-1	小学校	校舎	RC	2	408	1960	S35	59	旧	済	済	H21	11.3	要調査	A	A	C	C	C	62	・H23 耐震補強工事を実施 ・曾教27-50 外壁改修工事 ・曾教27-78 屋根改修工事		
6	1450	檉小学校	管理教室棟	1-2	小学校	校舎	RC	2	1,042	1961	S36	58	旧	済	済	H21	12.9	要調査	C	A	B	B	B	79	・平成元年度 大規模改造工事 ・H23 耐震補強工事を実施 ・曾教27-78 屋根改修工事		
7	1450	檉小学校	管理教室棟	1-3	小学校	校舎	RC	2	185	1969	S44	50	旧	済	済	H21	23.6	長寿命	A	B	C	C	C	55	・曾教27-50 外壁改修工事 ・曾教27-78 屋根改修工事		
8	1450	檉小学校	管理教室棟	1-4	小学校	校舎	S	1	18	1989	H元	30	新	－	－	－	－	長寿命	A	A	B	B	B	84			
9	1450	檉小学校	図工室	4	小学校	校舎	W	1	42	1969	S44	50	旧	－	－	－	－	長寿命	C	C	C	C	C	40			
10	1455	高岡小学校	特別教室棟	1	小学校	校舎	RC	2	491	1966	S41	53	旧	済	－	H21	16.7	長寿命	C	B	C	C	C	50	・曾教27-56 外壁改修工事		
11	1455	高岡小学校	普通教室棟	11	小学校	校舎	RC	2	617	1987	S62	32	新	－	－	－	－	長寿命	A	A	B	B	B	84	・曾教27-56 外壁改修工事		
12	1453	岩北小学校	管理教室棟	1-1	小学校	校舎	RC	2	472	1959	S34	60	旧	済	済	H21	13.3	要調査	C	B	C	C	C	50	・H23 耐震補強工事を実施 ・曾教27-54 外壁改修工事		
13	1453	岩北小学校	管理教室棟	1-2	小学校	校舎	RC	2	549	1960	S35	59	旧	済	済	H21	19.4	長寿命	C	B	C	C	C	50			
14	1453	岩北小学校	管理教室棟	1-3	小学校	校舎	RC	2	393	1979	S54	40	旧	済	－	H21	23.6	長寿命	C	B	C	C	C	50			
15	1453	岩北小学校	配膳室	1-4	小学校	校舎	S	1	15	1989	H元	30	新	－	－	－	－	長寿命	B	A	B	B	B	82			
16	1453	岩北小学校	特別教室棟	11	小学校	校舎	RC	1	299	1989	H元	30	新	－	－	－	－	長寿命	A	A	B	B	B	84	・曾教27-54 外壁改修工事		
17	1454	岩南小学校	特別教室棟	1-3	小学校	校舎	RC	2	604	1967	S42	52	旧	済	－	H21	16.9	長寿命	D	A	C	C	C	55	・曾教27-45 外壁改修工事		
18	1454	岩南小学校	普通教室棟	2	小学校	校舎	RC	2	674	1987	S62	32	新	－	－	－	－	長寿命	A	A	B	B	B	84	・曾教27-44 外壁改修工事		
19	1452	諏訪小学校	教室棟	1-1	小学校	校舎	RC	2	472	1960	S35	59	旧	済	済	H21	17.3	長寿命	A	C	C	C	C	45	・平成4年 大規模改造 ・曾教27-52 外壁改修工事		
20	1452	諏訪小学校	管理特別教室棟	1-2	小学校	校舎	RC	2	720	1961	S36	58	旧	済	済	H21	11.5	要調査	C	A	C	C	C	57	・平成3年 大規模改造 ・H23 耐震補強工事を実施 ・曾 教27-52 外壁改修工事		
21	1452	諏訪小学校	コンテナ室	1-3	小学校	校舎	S	1	18	1991	H3	28	新	－	－	－	－	長寿命	A	A	B	B	－	86	・給排水設備なし。		
22	1452	諏訪小学校	特別教室棟	2	小学校	校舎	RC	2	485	1980	S55	39	旧	済	－	H21	30	長寿命	A	C	B	B	B	67	・曾教27-51 外壁改修工事		
23	1456	光神小学校	普通教室棟	1-1	小学校	校舎	RC	2	884	1963	S38	56	旧	済	－	H21	12.8	要調査	C	A	C	C	C	57	・曾教27-65 外壁改修工事		
24	1456	光神小学校	特別教室棟	1-2	小学校	校舎	RC	2	315	1979	S54	40	旧	済	－	H21	25	長寿命	C	A	C	C	C	57	・曾教26-41 屋上防水工事 ・曾教27-65 外壁改修工事		
25	1456	光神小学校	特別教室棟	1-3	小学校	校舎	RC	2	365	1988	S63	31	新	－	－	－	－	長寿命	A	A	B	B	B	84			
26	1451	深川小学校	特別教室棟	1	小学校	校舎	RC	2	641	1964	S39	55	旧	済	－	H21	11.6	要調査	C	B	C	C	C	50	・平成元年 大規模改造 ・曾教27-63 外壁改修工事		
27	1451	深川小学校	普通教室棟	18	小学校	校舎	RC	2	835	1988	S63	31	新	－	－	－	－	長寿命	B	A	B	B	B	82	・曾教27-64 外壁改修工事		
28	1457	柳迫小学校	管理普通教室棟	9-1	小学校	校舎	RC	2	778	1978	S53	41	旧	済	－	H21	24.8	長寿命	D	A	C	C	C	55	・曾教27-66 外壁改修工事		

建物基本情報													構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)	試算上 の区分							
29	1457	柳迫小学校	特別教室棟	9-2	小学校	校舎	RC	2	884	1989	H元	30	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	・曾教27-66 外壁改修工事
30	1430	岩川小学校	普通教室棟	7	小学校	校舎	RC	2	755	1957	S32	62	旧	済	-	H21	12.1	要調査	B	C	C	C	C	43	
31	1430	岩川小学校	普通教室棟	9	小学校	校舎	RC	2	1,216	1966	S41	53	旧	済	-	H22	18	長寿命	C	B	C	C	C	50	
32	1430	岩川小学校	下足室	10	小学校	校舎	RC	1	45	1966	S41	53	旧	-	-	-	-	長寿命	A	C	C	C	-	46	・給排水設備なし。
33	1430	岩川小学校	管理特別教室棟	11-1	小学校	校舎	RC	2	1,045	1967	S42	52	旧	済	-	H22	20.1	長寿命	C	C	C	C	C	40	
34	1430	岩川小学校	管理特別教室棟	11-2	小学校	校舎	RC	1	43	1988	S63	31	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	-	75	・給排水設備なし。
35	1430	岩川小学校	管理特別教室棟	11-3	小学校	校舎	RC	1	8	1989	H元	30	新	-	-	-	-	長寿命	D	B	B	B	B	70	
36	1430	岩川小学校	特別教室棟	23	小学校	校舎	RC	2	736	1986	S61	33	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	
37	1430	岩川小学校	事務補佐員室	24	小学校	校舎	RC	1	33	1986	S61	33	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
38	1433	菅牟田小学校	特別教室棟	1	小学校	校舎	W	1	119	2018	H30	1	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	解体・改築(H31.1竣工)
39	1433	菅牟田小学校	管理教室棟	9	小学校	校舎	RC	2	730	1968	S43	51	旧	済	済	H21	14	長寿命	A	A	C	C	C	62	・曾教27-43 外壁改修工事
40	1431	笠木小学校	特別教室棟	15-1	小学校	校舎	RC	1	410	1981	S56	38	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67	
41	1431	笠木小学校	配膳室	15-2	小学校	校舎	S	1	28	1993	H5	26	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	
42	1431	笠木小学校	管理教室棟	21-1	小学校	校舎	RC	2	704	2005	H17	14	新	-	-	-	-	長寿命	-	B	A	A	A	92	・棟番号21-2の1階部分のため屋根・屋上なし。
43	1431	笠木小学校	管理教室棟	21-2	小学校	校舎	W	2	604	2005	H17	14	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
44	1431	笠木小学校	管理教室棟	21-3	小学校	校舎	W	1	256	2005	H17	14	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
45	1432	大隅北小学校	管理普通教室棟	1-1	小学校	校舎	RC	2	1,233	1964	S39	55	旧	済	-	H21	15.5	長寿命	C	A	A	A	A	95	・平成27 大規模改造(・曾教27-29 改築本体工事 ・曾教27-30 電気設備工事一式 ・曾教27-31 機械設備工事一式)
46	1432	大隅北小学校	配膳室	1-3	小学校	校舎	W	1	30	1993	H5	26	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93	・平成27 大規模改造
47	1432	大隅北小学校	音楽室棟	20	小学校	校舎	S	1	64	2015	H27	4	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	-	100	・曾教27-34 増築工事、電気・機械設備工事一式 ・給排水設備なし。
48	1432	大隅北小学校	玄関棟	21	小学校	校舎	S	1	23	2015	H27	4	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	・曾教27-34 増築工事、電気・機械設備工事一式
49	1434	恒吉小学校	管理教室棟	1	小学校	校舎	RC	2	1,293	1969	S44	50	旧	済	-	H21	18.8	長寿命	C	C	C	C	C	40	・曾教27-40 外壁改修工事
50	1439	大隅南小学校	管理教室棟	5	小学校	校舎	RC	2	1,344	1963	S38	56	旧	済	済	H21	13.4	要調査	C	B	C	C	C	50	・H23 耐震補強工事を実施 ・曾教27-41 外壁改修工事
51	1439	大隅南小学校	受入室	5-1	小学校	校舎	W	1	18	1993	H5	26	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	-	86	・給排水設備なし。
52	1438	月野小学校	教室棟	1-1	小学校	校舎	W	1	446	1998	H10	21	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
53	1438	月野小学校	教室棟	1-2	小学校	校舎	RC	1	53	1998	H10	21	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	-	86	・棟番号1-1:教室棟のうちの1室である。 ・給排水設備なし。
54	1438	月野小学校	教室棟	1-3	小学校	校舎	W	1	739	1998	H10	21	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
55	1438	月野小学校	教室棟	1-4	小学校	校舎	RC	2	455	1998	H10	21	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	
56	1438	月野小学校	教室棟	1-5	小学校	校舎	W	2	186	1998	H10	21	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	-	86	・給排水設備なし。
57	1438	月野小学校	教室棟	1-6	小学校	校舎	W	2	88	1998	H10	21	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	-	86	・給排水設備なし。

建物基本情報													構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/mm)	試算上 の区分							
58	1445	財部小学校	特別教室棟	18	小学校	校舎	RC	3	1,739	1987	S62	32	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	・曾教27-57 外壁改修工事
59	1445	財部小学校	管理教室棟	27	小学校	校舎	RC	2	2,595	2010	H22	9	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93	
60	1446	財部北小学校	管理及び普通教室棟	1	小学校	校舎	RC	2	1,567	1978	S53	41	旧	済	-	H22	19.7	長寿命	C	B	C	C	C	50	・曾教27-59 外壁改修工事
61	1446	財部北小学校	郷土館	11	小学校	校舎	W	1	66	1989	H元	30	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	-	77	・給排水設備なし。
62	1447	財部南小学校	普通教室棟	1-1	小学校	校舎	RC	2	744	1957	S32	62	旧	済	-	H22	18.6	長寿命	B	A	C	C	C	60	・平成元年 大規模改造 ・曾教27-61 外壁改修工事
63	1447	財部南小学校	特別教室棟	1-2	小学校	校舎	RC	2	573	1972	S47	47	旧	済	-	H22	16.9	長寿命	C	A	C	C	C	57	・平成元年 大規模改造 ・曾教27-61 外壁改修工事
64	1447	財部南小学校	図工・配膳室	17	小学校	校舎	W	2	151	1996	H8	23	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
65	1448	中谷小学校	管理棟	11-1	小学校	校舎	W	1	802	1991	H3	28	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
66	1448	中谷小学校	普通教室棟	11-2	小学校	校舎	RC	1	105	1991	H3	28	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
67	1448	中谷小学校	特別教室棟	11-3	小学校	校舎	S	2	430	1991	H3	28	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	
68	4219	末吉中学校	特別教室棟	13	中学校	校舎	RC	3	3,073	2004	H16	15	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91	
69	4219	末吉中学校	普通教室棟	23	中学校	校舎	RC	3	3,585	2008	H20	11	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93	
70	4919	大隅中学校	管理教室棟	30-1	中学校	校舎	RC	3	2,038	1973	S48	46	旧	済	-	H15	-	長寿命	B	B	A	A	A	91	・平成16年度 大規模改造工事
71	4919	大隅中学校	管理教室棟	30-2	中学校	校舎	RC	1	20	1993	H5	26	新	-	-	H15	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	・平成16年度 大規模改造工事
72	4919	大隅中学校	管理教室棟	30-3	中学校	校舎	S	3	36	2004	H16	15	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	-	100	・給排水設備なし。
73	4919	大隅中学校	特別教室棟	31	中学校	校舎	RC	2	599	1975	S50	44	旧	済	-	H15	20.1	長寿命	A	B	A	A	A	93	・平成15年度 大規模改造工事
74	4919	大隅中学校	普通教室棟	41	中学校	校舎	RC	2	1,386	2002	H14	17	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93	
75	4919	大隅中学校	特別教室棟	43	中学校	校舎	RC	2	507	2003	H15	16	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91	
76	4216	財部中学校	管理教室棟	15	中学校	校舎	RC	3	3,785	2012	H24	7	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93	

建物基本情報												構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考			
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備		健全度 (100点 満点)		
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/mm)	試算上 の区分									
屋内運動場																											
1	1449	末吉小学校	屋内運動場	4-1	小学校	体育館	RC	1	798	1979	S54	40	旧	-	-	-	-	長寿命	C	B	C	C	-	51	・給排水設備なし。		
2	1449	末吉小学校	屋内運動場	4-2	小学校	体育館	RC	1	251	1988	S63	31	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72			
3	1450	檉小学校	屋内運動場	14-1	小学校	体育館	RC	1	649	2015	H27	4	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	・曾教27-16 改築本体工事 ・曾教27-17 電気設備工事一式 ・曾教27-18 機械設備工事一式		
4	1455	高岡小学校	屋内運動場	7	小学校	体育館	RC	1	533	1977	S52	42	旧	済	-	H21	19.7	長寿命	A	A	A	A	A	100	・曾教31-78屋根内外壁非構造部材改修工事		
5	1453	岩北小学校	屋内運動場	8	小学校	体育館	RC	1	533	1977	S52	42	旧	済	-	H21	20.6	長寿命	A	A	A	A	A	100	・曾教31-25屋根内外壁非構造部材改修工事		
6	1454	岩南小学校	屋内運動場	6	小学校	体育館	S	1	533	1976	S51	43	旧	済	済	H21	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	・曾教31-79屋根内外壁非構造部材改修工事		
7	1452	諏訪小学校	屋内運動場	12	小学校	体育館	RC	1	560	1984	S59	35	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62	・曾教27-53 屋根耐震補強工事		
8	1456	光神小学校	屋内運動場	7-1	小学校	体育館	S	1	533	1975	S50	44	旧	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40			
9	1456	光神小学校	屋内運動場	7-2	小学校	体育館	S	1	108	1989	H元	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	-	72	・給排水設備なし。		
10	1451	深川小学校	屋内運動場	9	小学校	体育館	RC	1	560	1980	S55	39	旧	済	-	H21	25.9	長寿命	A	A	A	A	A	100	・曾教31-80屋根内外壁非構造部材改修工事		
11	1457	柳迫小学校	屋内運動場	17	小学校	体育館	RC	2	659	2015	H27	4	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	・曾教26-26 改築本体工事 ・曾教26-27 電気設備工事一式 ・曾教26-28 機械設備工事一式		
12	1430	岩川小学校	屋内運動場	16	小学校	体育館	RC	1	680	1972	S47	47	旧	済	済	H22	16.6	長寿命	C	D	C	C	-	30	・給排水設備なし。		
13	1433	菅牟田小学校	屋内運動場	4	小学校	体育館	S	2	550	1974	S49	45	旧	済	済	H21	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	・給排水設備なし。 ・曾教31-26屋根内外壁非構造部材改修工事		
14	1431	笠木小学校	屋内運動場	1	小学校	体育館	RC	1	609	2006	H18	13	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	A	A	A	83			
15	1432	大隅北小学校	屋内運動場	16	小学校	体育館	RC	1	630	1989	H元	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62	・曾教27-67 屋根耐震補強工事		
16	1434	恒吉小学校	屋内運動場	4	小学校	体育館	RC	1	612	1970	S45	49	旧	済	済	H21	13.7	長寿命	A	A	A	A	A	100	・給排水設備なし。 ・曾教31-16屋根内外壁非構造部材改修工事		
17	1439	大隅南小学校	屋内運動場	18	小学校	体育館	RC	1	550	1987	S62	32	新	-	-	-	-	長寿命	D	A	B	B	B	77	・曾教27-42 屋根耐震補強工事		
18	1438	月野小学校	屋内運動場	3	小学校	体育館	W	1	633	1999	H11	20	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77			
19	1445	財部小学校	屋内運動場	16	小学校	体育館	RC	1	725	1984	S59	35	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	-	60	・曾教27-58 屋根耐震補強工事 ・給排水設備なし。		
20	1446	財部北小学校	屋内運動場	8	小学校	体育館	RC	1	680	1986	S61	33	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	-	60	・曾教27-60 屋根耐震補強工事 ・給排水設備なし。		
21	1447	財部南小学校	屋内運動場	12	小学校	体育館	RC	1	684	1985	S60	34	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	-	60	・曾教27-62 屋根耐震補強工事 ・給排水設備なし。		
22	1448	中谷小学校	屋内運動場	13	小学校	体育館	RC	1	696	1992	H4	27	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77			
23	4219	末吉中学校	屋内運動場	8	中学校	体育館	RC	2	1,756	2003	H15	16	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	A	A	A	81			
24	4919	大隅中学校	屋内運動場	11	中学校	体育館	RC	2	1,138	1978	S53	41	旧	済	-	H16	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	・給排水設備なし。 ・曾教31-81屋根内外壁非構造部材改修工事		
25	4919	大隅中学校	柔剣道場	37	中学校	武道場	RC	1	375	1982	S57	37	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	-	72	・給排水設備なし。		
26	4216	財部中学校	屋内運動場	17-1	中学校	体育館	RC	1	872	2013	H25	6	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	-	92	・繰曾教24-1 改築工事 ・繰曾教24-2 電気設備工事一式 ・繰曾教24-3 機械設備工事一式 ・給排水設備なし。		
27	4216	財部中学校	屋内運動場	17-2	中学校	体育館	RC	1	88	2013	H25	6	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	・繰曾教24-1 改築工事 ・繰曾教24-2 電気設備工事一式 ・繰曾教24-3 機械設備工事一式		
28	4216	財部中学校	剣道・柔道場	17-3	中学校	武道場	RC	1	301	2013	H25	6	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	-	100	・繰曾教24-1 改築工事 ・繰曾教24-2 電気設備工事一式 ・繰曾教24-3 機械設備工事一式 ・給排水設備なし。		

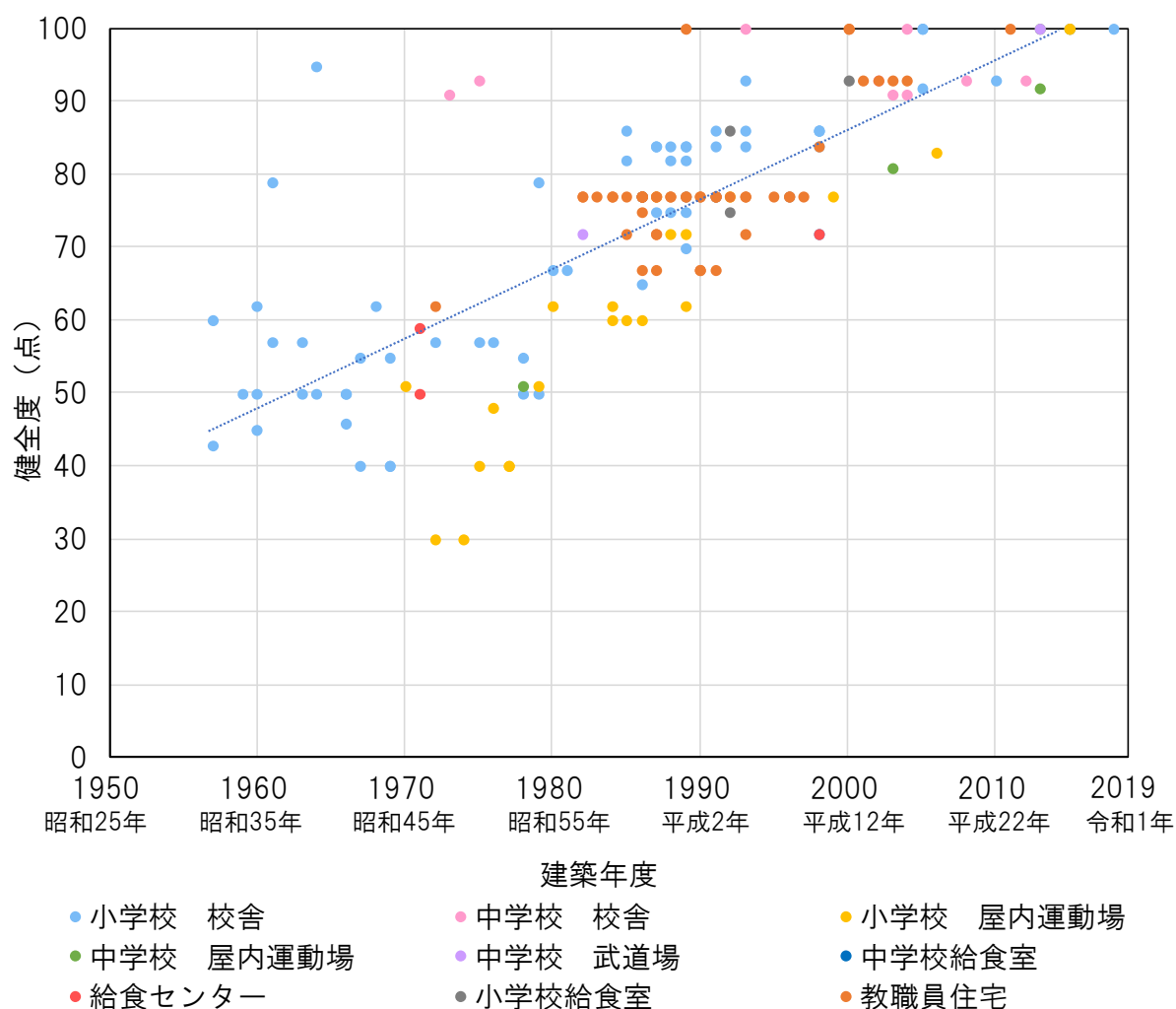
建物基本情報													構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考	
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)		
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)	試算上 の区分								
学校給食調理場																										
1	1449	末吉小学校	給食室	18	小学校	給食センター	S	1	186	1986	S61	33	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
2	4219	末吉中学校	給食室	5-1	中学校	給食センター	RC	1	21	1971	S46	48	旧	-	-	-	-	長寿命	-	A	C	C	C	59	・棟番号23:普通校舎棟の1階部のため屋根無し。	
3	4219	末吉中学校	給食室	5-2	中学校	給食センター	S	1	100	1971	S46	48	旧	-	-	-	-	長寿命	C	B	C	C	C	50		
4	4219	末吉中学校	給食室	5-3	中学校	給食センター	S	1	92	1998	H10	21	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72		
5	K084	大隅学校給食センター	給食センター棟	1-1	給食センター	給食センター	S	2	735	1992	H4	27	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75		
6	K084	大隅学校給食センター	給食センター棟	1-2	給食センター	給食センター	S	1	15	1992	H4	27	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	-	86	・給排水設備なし。	
7	K069	財部学校給食センター	給食センター棟	1-1	給食センター	給食センター	RC	1	460	1986	S61	33	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
8	K069	財部学校給食センター	給食センター棟	1-2	給食センター	給食センター	RC	1	31	2000	H12	19	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93		
教職員住宅																										
1	1449	末吉小学校	教職員住宅(校長)	19	小学校	その他	W	1	96	1988	S63	31	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
2	1449	末吉小学校	教職員住宅(教頭)	3	小学校	その他	W	1	96	2002	H14	17	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93		
3	1450	檉小学校	教職員住宅(校長)	10	小学校	その他	W	1	96	1987	S62	32	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67		
4	1450	檉小学校	教職員住宅(教頭)	13	小学校	その他	W	1	96	2003	H15	16	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93		
5	1455	高岡小学校	教職員住宅(校長)	12	小学校	その他	W	1	96	1990	H2	29	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67		
6	1455	高岡小学校	教職員住宅(教頭)	2	小学校	その他	W	1	96	2000	H12	19	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
7	1453	岩北小学校	教職員住宅(校長)	15	小学校	その他	W	1	96	2001	H13	18	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93		
8	1453	岩北小学校	教職員住宅(教頭)	13	小学校	その他	W	1	96	1989	H元	30	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	・曾教28-55 木造セメント瓦葺平屋建95.9㎡曳家工事・地盤改良工事・基礎工事・建築内外改修工事・電気機械設備改修工事	
9	1454	岩南小学校	教職員住宅(校長)	10	小学校	その他	W	1	96	1986	S61	33	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
10	1454	岩南小学校	教職員住宅(教頭)	3	小学校	その他	W	1	96	1997	H9	22	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
11	1452	諏訪小学校	教職員住宅(校長)	13	小学校	その他	W	1	96	1990	H2	29	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67		
12	1452	諏訪小学校	教職員住宅(教頭)	7	小学校	その他	W	1	90	2011	H23	8	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
13	1456	光神小学校	教職員住宅(校長)	11	小学校	その他	W	1	96	1986	S61	33	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
14	1456	光神小学校	教職員住宅(教頭)	13	小学校	その他	W	1	96	2004	H16	15	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93		
15	1451	深川小学校	教職員住宅(校長)	17	小学校	その他	W	1	96	1985	S60	34	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72		
16	1451	深川小学校	教職員住宅(教頭)	19	小学校	その他	W	1	96	1996	H8	23	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
17	1457	柳迫小学校	教職員住宅(校長)	13	小学校	その他	W	1	96	1991	H3	28	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67		
18	1457	柳迫小学校	教職員住宅(教頭)	14	小学校	その他	W	1	96	1991	H3	28	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
19	1430	岩川小学校	教職員住宅(校長)	22	小学校	その他	W	1	88	1985	S60	34	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
20	1430	岩川小学校	教職員住宅(教頭)	27	小学校	その他	W	1	89	2000	H12	19	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		

建物基本情報													構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/mm)	試算上 の区分							
21	1433	菅牟田小学校	教職員住宅(校長)	21	小学校	その他	W	1	88	1989	H元	30	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
22	1433	菅牟田小学校	教職員住宅(教頭)	22	小学校	その他	W	1	88	1989	H元	30	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
23	1431	笠木小学校	教職員住宅(校長)	19	小学校	その他	W	1	88	1987	S62	32	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
24	1431	笠木小学校	教職員住宅(教頭)	20	小学校	その他	W	1	88	1990	H2	29	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
25	1432	大隅北小学校	教職員住宅(校長)	19	小学校	その他	W	1	90	1993	H5	26	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
26	1432	大隅北小学校	教職員住宅(教頭)	17	小学校	その他	W	1	90	1993	H5	26	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
27	1434	恒吉小学校	教職員住宅(校長)	14	小学校	その他	W	1	88	1986	S61	33	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
28	1434	恒吉小学校	教職員住宅(教頭)	16	小学校	その他	W	1	88	1988	S63	31	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
29	1439	大隅南小学校	教職員住宅(校長)	17	小学校	その他	W	1	88	1987	S62	32	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
30	1439	大隅南小学校	教職員住宅(教頭)	21	小学校	その他	W	1	84	1991	H3	28	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
31	1438	月野小学校	教職員住宅(校長)	20	小学校	その他	W	1	88	1984	S59	35	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
32	1438	月野小学校	教職員住宅(教頭)	24	小学校	その他	W	1	90	1993	H5	26	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
33	1445	財部小学校	教職員住宅(校長)	21	小学校	その他	W	1	80	1987	S62	32	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
34	1445	財部小学校	教職員住宅(教頭)	17	小学校	その他	W	1	76	1986	S61	33	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
35	1446	財部北小学校	教職員住宅(校長)	12	小学校	その他	W	1	80	1990	H2	29	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
36	1446	財部北小学校	教職員住宅(教頭)	7	小学校	その他	W	1	76	1982	S57	37	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
37	1447	財部南小学校	教職員住宅(校長)	15	小学校	その他	W	1	80	1995	H7	24	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
38	1447	財部南小学校	教職員住宅(教頭)	11	小学校	その他	W	1	76	1982	S57	37	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
39	1448	中谷小学校	教職員住宅(校長)	12	小学校	その他	W	1	80	1991	H3	28	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
40	1448	中谷小学校	教職員住宅(教頭)	9	小学校	その他	W	1	76	1983	S58	36	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
41	4219	末吉中学校	教職員住宅(校長)	15	中学校	その他	W	1	96	1986	S61	33	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67	
42	4219	末吉中学校	教職員住宅(教頭)	16	中学校	その他	W	1	96	1987	S62	32	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
43	4919	大隅中学校	教職員住宅(校長)	38	中学校	その他	W	1	88	1984	S59	35	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
44	4919	大隅中学校	教職員住宅(教頭)	39	中学校	その他	W	1	88	1992	H4	27	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
45	4216	財部中学校	教職員住宅(校長)	12	中学校	その他	W	1	80	1996	H8	23	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
46	4216	財部中学校	教職員住宅(教頭)	10	中学校	その他	W	1	76	1986	S61	33	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
47	4219	向江教職員住宅	教職員住宅(指導主事)			その他	W	1	80	1986	S61	33	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
48	4919	教育長住宅	教職員住宅(教育長)			その他	W	1	103	1998	H10	21	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	
49	4919	西中園教職員住宅	教職員住宅(学校教育課長)			その他	B	1	62	1972	S47	47	旧	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	・曾教29-73 住宅改修工事

小学校の対象建物全 130 棟(給食室及び教職員住宅を含む)の健全度の平均値は 72.2 点、健全度 50 点未満の建物は 12 棟あり、中学校では全 24 棟(給食室及び教職員住宅を含む)の平均値は 82.3 点、健全度 50 点未満の建物は 0 棟となっています。また、小中学校の教職員住宅を除いた教職員住宅 3 棟の平均は 73.7 点、給食センターの建物では全 4 棟の平均値が 82.8 点、健全度 50 点未満の建物は 0 棟となっています。

なお、耐震改修工事及び外壁改修工事を近年に行っており、良好な状態の建物もありますが、内部天井に雨漏り跡のある建物が多数見られます。

次に、健全度と建築年度の関係を見ると、1990 年(平成 2 年)以降の建物ではその 95%程度が健全度 70 点以上を保っていますが、それ以前の建築になると健全度が低い建物が増えています。



図：建築年度と健全度の相関

※建築年度及び健全度点数が一致したものは点が重なって表示されます。

(1) 学校施設等の老朽化所見

現地調査の結果、学校施設等の建物は以下のような老朽化状況がみられます。

① 小学校 校舎

建築後 40 年を経過した校舎には劣化が進行しているものが多くあります。また、天井に雨漏り跡のある校舎が多数見られます。また、内部仕上げや電気設備、機械設備については築 40 年が経過し、多くの建物が建築時から改修を行っていない状況です。

なお、建築後 20 年から 40 年未満の校舎については、改修等工事等の実施により比較的良好な状態を保っています。

② 小学校 屋内運動場

屋内運動場は地域の避難所としての機能があり、旧耐震基準の建物は全て耐震補強を行っています。しかしながら、これらの多くは建築後 40 年を経過しており、屋根・天井、外壁の劣化が進行しています。中には内部天井保護材や外壁に広範囲の劣化が見られるものがあります。

③ 中学校 校舎

校舎は平成に入って建てられたものが多く、劣化は少なく、比較的良好な状態を保っています。

④ 中学校 屋内運動場

小学校の屋内運動場と同様に地域の避難所となっており、旧耐震基準の建物の耐震補強も完了しています。

なお、大隅中学校の屋内運動場は雨漏りが数カ所報告されていますが、その他 2 校の屋内運動場は比較的良好な状態です。

⑤ 武道場

大隅中学校の柔剣道場は築 36 年経過し、玄関・更衣室側天井に雨漏り跡が見られますが屋根の改修は完了しており、その他に広範囲の劣化は見られません。

なお、財部中学校の剣道・柔道場は平成 25 年に建築された新しい建物のため良好な状態です。

⑥ 給食センター・給食室

大隅・財部地域の給食センター及び末吉小学校の給食室は、比較的良好な状態を保っています。

なお、末吉中学校の給食室は雨漏りが数カ所報告されていますが、その他に広範囲の劣化は見られません。

⑦ 教職員住宅

その多くが建築後 30 年程度を経過しており、外壁の基礎に部分的なひび割れが見られますが、広範囲の劣化は見られず、比較的良好な状態を保っています。



第3章 学校施設等整備の基本方針

1. 学校施設の規模・配置状況を踏まえた施設整備

(1) 施設整備の方策

本市の学校は、小学校のうち過小規模校が15校、小規模校が4校、中学校は2校が小規模校に分類されます。適正規模校には小学校1校、中学校1校分類されます。

児童・生徒数は引き続き減少傾向にあり、学校の小規模化、過小規模化がさらに進むことが予測されます。

表：学校別の児童数・生徒数、学級数（令和1年5月1日現在）

単位：人、クラス

小学校	末吉小学校	檜小学校	高岡小学校	岩北小学校	岩南小学校
児童数	546	32	9	12	24
学級数	21	5	4	2	3
（うち特別支援学級）	(4)	(1)	(1)	(0)	(0)
小学校	諏訪小学校	光神小学校	深川小学校	柳迫小学校	岩川小学校
児童数	74	14	34	78	279
学級数	8	4	5	8	12
（うち特別支援学級）	(2)	(1)	(1)	(2)	(2)
小学校	菅牟田小学校	笠木小学校	大隅北小学校	恒吉小学校	大隅南小学校
児童数	13	33	30	16	9
学級数	3	5	3	3	3
（うち特別支援学級）	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)
小学校	月野小学校	財部小学校	財部北小学校	財部南小学校	中谷小学校
児童数	57	290	13	27	8
学級数	6	13	3	4	3
（うち特別支援学級）	(1)	(2)	(0)	(1)	(0)

単位：人、クラス

中学校	末吉中学校	大隅中学校	財部中学校
生徒数	445	180	187
学級数	15	8	8
（うち特別支援学級）	(3)	(2)	(2)

	過小規模校 5学級以下	小規模校 6～11学級	適正規模校 12～18学級	大規模校 19～30学級	過大規模校 31学級以上
小学校	檜小学校 高岡小学校 岩北小学校 岩南小学校 光神小学校 深川小学校 菅牟田小学校 笠木小学校 大隅北小学校 恒吉小学校 大隅南小学校 月野小学校 財部北小学校 財部南小学校 中谷小学校	諏訪小学校 柳迫小学校 岩川小学校 財部小学校	末吉小学校		
	過小規模校 2学級以下	小規模校 3～11学級	適正規模校 12～18学級	大規模校 19～30学級	過大規模校 31学級以上
中学校		大隅中学校 財部中学校	末吉中学校		

資料：曾於市資料

一方で、学校は地域コミュニティの核としての役割を有することから、施設整備については、保護者だけでなく地域住民の理解や協力を得ながら進めていくことが重要です。小規模校と大規模校には、一般的には、下記のようなメリットとデメリットがあります。

表：学校の規模によるメリット・デメリット

	メリット	デメリット
小規模校 過小規模校	○ 児童・生徒と教師の距離が近く、一人一人への理解がより深まる。 ○ 意見や感想を発表できる機会が多くなる。 ○ 児童・生徒の特性に応じたきめ細やかな指導が可能である。 ○ 複式学級においては、教師が複数の学年間を行き来する間、児童・生徒が相互に学ぶ合う活動を充実させることができる。 ○ 児童・生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる。 ○ 運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって利用できる。	● クラス替えが全部又は一部の学年でできない。 ● クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない。 ● 協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる。 ● 集団性が必要な活動に支障がでる。 ● 専門の免許を有する教諭等による教科指導が困難である。 ● 運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がる。 ● 人間関係が固定化されている。 ● 教員と児童生徒との心理的な距離が近くなりすぎる。
大規模校 過大規模校	○ 集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力をさらに伸ばしやすい。 ○ クラス替えがしやすいことなどから、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい。 ○ 子ども一人あたりにかかる経費が小さくなりやすい。	● 一人一人が活躍する場や機会が少なくなる場合がある。 ● 同学年でも児童生徒間の人間関係が希薄化する場合がある。 ● 一人一人の個性や行動を把握し、きめ細やかな指導を行うことが困難であり、問題行動が発生しやすい場合がある。

資料：公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き（平成 27 年 1 月）

※大規模校メリット：文科省資料より

(2) 統合化への展望

本市の小学校は 20 校あり、末吉町に 9 校、大隅町に 7 校、財部町に 4 校が配置されていますが、既に大規模校は存在せず、適正規模校が末吉小学校の 1 校、小規模校が諏訪小学校、柳迫小学校、財部小学校、岩川小学校の 4 校となっており、残りの 15 校は 5 学級以下の過小規模校となっています。

平成 22 年度に策定された「曾於市学校規模適正化計画(1 次)」では、市立学校の小規模化によって発生する諸問題の解消に努め、より良い教育環境を提供することで、魅力ある学校環境を作ることとを目的とし、小学校の適正規模及び配置計画は、中学校の適正化計画の進捗により、検討していくこととしています。現時点で小学校の統合は計画されていないため、全ての小学校を存続することを前提に、校舎等の長寿命化計画を策定することを基本方針とします。

2. 改修等の基本的な方針

本市の学校施設等や設備の老朽化、不具合などの実態を踏まえ、「学校施設等の目指すべき姿」を持続的に実現していくための基本方針を次のように設定します。

(1) 長寿命化の方針

本市の学校施設等を整備していくにあたり、建物の老朽化に伴う維持管理コストが課題となります。本計画を策定するには、財政面を考慮した上での中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減、予算の平準化を実現するための対策が重要になっています。それには、建物を将来にわたって長く使い続けるために耐用年数を延ばすことを目的とした長寿命化改修があります。

一般に改修と言っても内容は様々であり、対象は部分なのか全体なのか、また改修内容は元に戻すだけなのか、機能や性能を上げるものなのかで4つの概念に整理されますが、「長寿命化改修」は建物全体を改修し、併せて性能向上を伴うものとなります。



資料：「学校施設の長寿命化改修の手引き」

ただし、中には次のように長寿命化に適さない施設もあります。

- ・ 劣化が激しく、改修に多額の費用がかかるため、改築した方が経済的に望ましい施設
- ・ 改築までの期間が短く長寿命化改修を行うと、維持に係る費用が高くなる施設
- ・ コンクリート強度が著しく低い施設（おおむね 13.5N/mm^2 以下）
- ・ 校地環境または周辺環境の安全性が欠如している施設
- ・ 学校の適正配置など地域の実情により改築せざるを得ない施設

長寿命化改修では、基本的に建物の耐久性向上、建物の性能や機能を向上させるために工事を行います。内容として以下のようなものが挙げられます。

耐久性向上

- ◇ 構造躯体の経年劣化を回復するもの
 - ・ コンクリートの中性化対策や鉄筋の腐食対策 など
- ◇ 耐久性に優れた仕上材へ取り替えるもの
 - ・ 劣化に強い塗装・防水材等の使用
- ◇ 維持管理や設備更新の容易性を確保するもの
- ◇ 水道、電気、ガス管等のライフラインの更新

性能向上

- ◇ 安全・安心な施設環境を確保するもの
 - ・ 耐震対策（非構造部材を含む）
 - ・ 防災機能の強化
 - ・ 事故防止・防犯対策 など
- ◇ 地域コミュニティの拠点形成を図るもの
 - ・ 防災機能の強化
 - ・ バリアフリー化
 - ・ 地域住民の利用を考慮した教室等の配置の変更 など
- ◇ 教育環境の質的向上を図るもの
 - ・ 近年の多様な学習内容・学習形態への対応
 - ・ 今後の学校教育や情報化の進展に対応可能な柔軟な計画
 - ・ 省エネルギー化・再生可能エネルギーの活用
 - ・ バリアフリー化
 - ・ 木材の活用 など

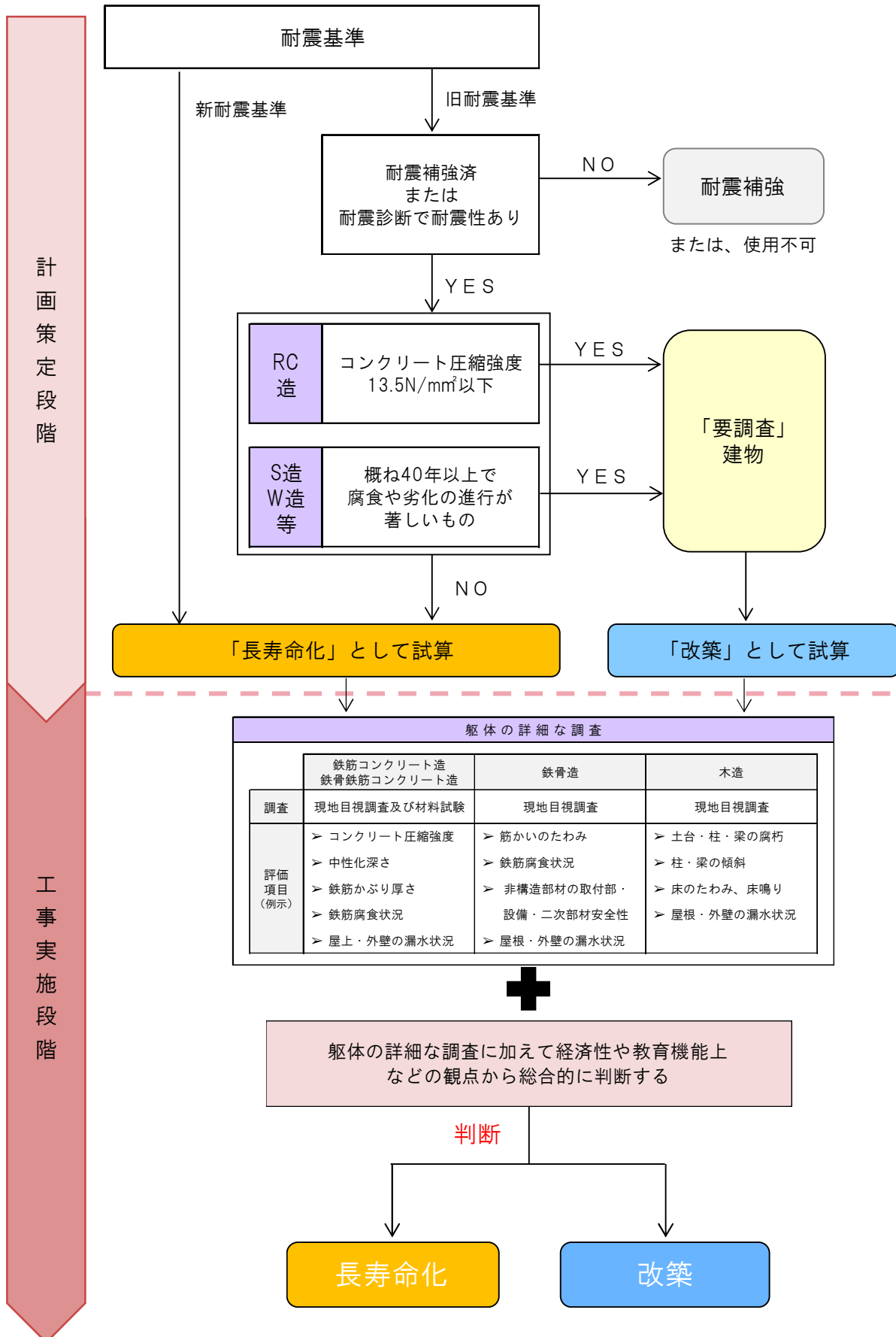
さらに、改築と長寿命化改修には、それぞれ次のようなメリットとデメリットがありますが、長寿命化改修を行う方が、費用を大幅に縮減しつつ、改築と同等の効果が期待でき、費用対効果は非常に大きくなります。

表：改築と長寿命化改修のメリット・デメリット

	メリット	デメリット
改築	○ 設計や施工上の制約が少ない。 ○ 高層化や地下階の拡大が容易に可能、設計や施工は比較的容易、耐震基準、法規などについては最新のものに対応は容易。	● 廃棄物が大量に発生する。 ● 既存建物の解体と廃棄に費用と時間がかかる。 ● 工事に時間と費用がかかる。
長寿命化改修	○ 工期の短縮、工事費の縮減ができる ○ 廃棄物が少ない。	● 設計及び施工上の制約が多い。 ● 柱・耐力壁などの既存躯体を利用するための間取りの変更に制約が生じる場合がある。

資料：「学校施設の長寿命化改修の手引き」より

長寿命化の判定フロー



資料：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成 29 年 3 月 文部科学省）

(2) 予防保全の方針

施設をできる限り長く使用するため、適切な維持管理を行っていくことが重要であり、そのための整備方法として、「事後保全」と「予防保全」の2つがあります。

「事後保全」は老朽化による劣化・破損等の大規模な不具合が生じた後に修繕等を行うもので、従来の施設管理の多くで行われていました。一方、「予防保全」は損傷が軽微である早期段階から予防的な修繕等を実施することで機能・性能の保持・回復を図り、これにより突発的な事故が減少し、多額の費用の発生を抑えることができます。また、「予防保全」では、計画的な修繕を行うことで、施設に不具合が生じる前にメンテナンスを施し、従来の「事後保全」での整備と比較して施設を長く使用することができます。したがって、学校施設等の整備は今後「事後保全」から「予防保全」への転換を図る必要があります。

表：学校施設等の保全

保 全	建物や設備が完成してから取り壊すまでの間、その性質や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けること。保全のための手段として、点検・診断・改修等がある。
事 後 保 全	老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う、事後的な保全のこと。
予 防 保 全	損傷が軽微である早期段階から、機能・性能の保持・回復を図るために修繕等を行う、予防的な保全のこと。なお、あらかじめ周期を決めて計画的に修繕等を行う保全のことを「計画保全」という。

(3) 目標使用年数の設定

学校施設等の鉄筋コンクリート造建物の法定耐用年数は47年となっていますが、これは税務上、減価償却を算定するために設定されたものです。構造物としての物理的な耐用年数はこれよりも長くなっています。社団法人日本建築学会の「建築物の耐久計画に関する考え方」では、建築物全体の望ましい目標使用年数として、鉄筋コンクリート造の学校の場合、普通品質で50～80年、高品質では80～100年とされています。

これを踏まえ、学校施設等の目標使用年数は、公共建築物長寿命化指針で示される70～80年を基本として設定します。なお、各施設の建築時期は、財政負担の関係上、学校施設等全体の事業量について平準化を図る必要があるため、目標使用年数70～80年から若干前後させる設定も必要となる場合があります。

また、鉄骨造建物については、技術的な耐用年数の目安は特にありませんが、鉄骨構造における防錆やボルトの締め付け力が維持される限り使用可能であると想定し、鉄筋コンクリート造建物と同等の年数とします。木造の教職員住宅についても次頁の表を基に、目標使用年数は40年を基本として設定します。

表：建物用途・構造に応じた望ましい目標耐用年数の級

用途	構造種別	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
		高品質 の場合	普通の 品質の場合	重量鉄骨		軽量鉄骨		
				高品質 の場合	普通の 品質の場合			
学校・官庁		Y 100以上	Y 60以上	Y 100以上	Y 60以上	Y 40以上	Y 60以上	Y 60以上
住宅・事務所・病院		Y 100以上	Y 60以上	Y 100以上	Y 60以上	Y 40以上	Y 60以上	Y 40以上
店舗・旅館・ホテル		Y 100以上	Y 60以上	Y 100以上	Y 60以上	Y 40以上	Y 60以上	Y 40以上
工場		Y 40以上	Y 25以上	Y 40以上	Y 25以上	Y 25以上	Y 25以上	Y 25以上

※表中に示す Y は級を示す。級については下に示す。

表：級に応じた目標耐用年数の区分

	目標耐用年		
	代表値	範囲	下限
Y 150	150年	120～200年	120年
Y 100	100年	80～100年	80年
Y 60	60年	50～80年	50年
Y 40	40年	30～50年	30年
Y 25	25年	20～30年	20年

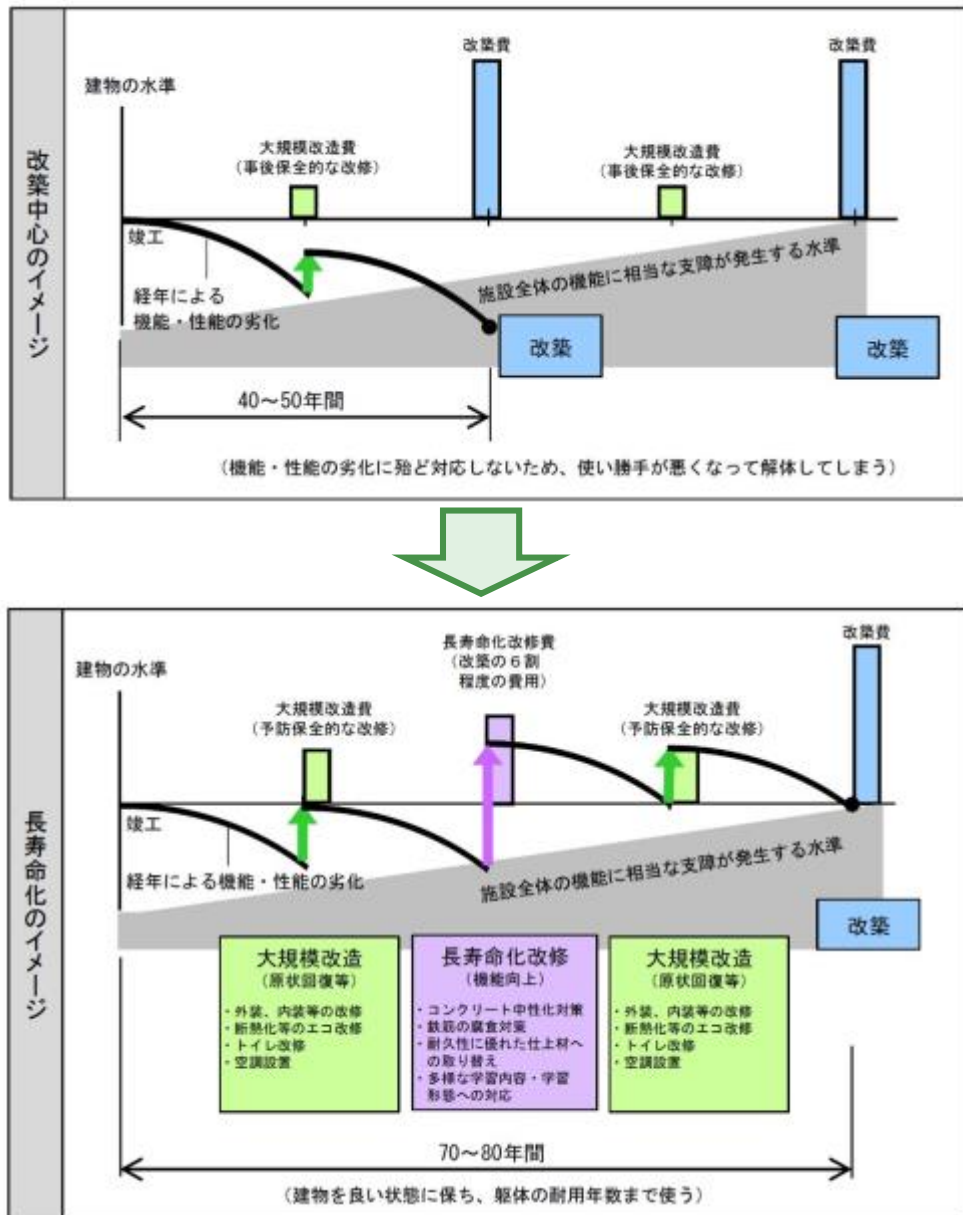
資料：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

(4) 改修周期の設定

学校施設等整備の方針を、改築が中心の整備から長寿命化を図る方向へと転換し、あらかじめ設定した目標使用年数まで使用することを目標に、適切な時期に改修を行います。

今までの改築中心では、劣化や破損等の大規模な不具合が生じた際の改修（事後保全的な改修）を行い目標とする使用年数で改築します。一方、長寿命化では、築 20 年経過後に原状回復のための改修（予防保全的な改修）を行い、目標使用年数の中間期（概ね 40 年後）に長寿命化改修を実施し、その後改築までの期間に再度原状回復のための改修を行うこととなります。

このように定期的に必要な改修を行うことで経年による劣化状況の回復だけでなく、学校施設等の機能・性能の低下を長期間放置することなく、社会的に必要とされる多様な学習形態の水準まで引き上げることができるように取り組めます。



図：改築中心から長寿命化への転換イメージ

資料：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成 29 年 3 月 文部科学省）

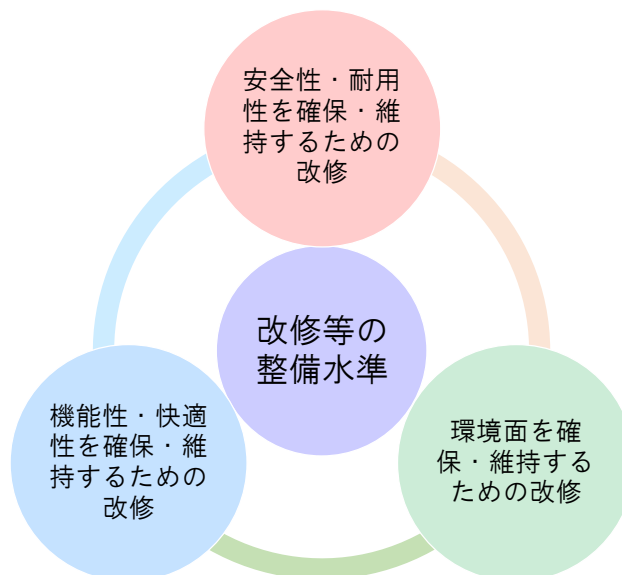


第4章 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準

1. 改修等の整備水準

長寿命化改修にあたっては、単に建築時の状態に戻すのではなく、「安全面・耐用性」「機能性・快適性」「環境面」を確保するための改修を行います。

「安全性・耐用性」「機能性・快適性」の改修では、構造体の長寿命化やライフラインの更新等により建物の耐久性を高め、維持管理コストの縮減、計画的な支出による財政の平準化を図ります。また、「環境面」の改修では多様な学習形態による活動が可能となる環境の提供など、現代の社会的な要請に応じるための改修を行います。



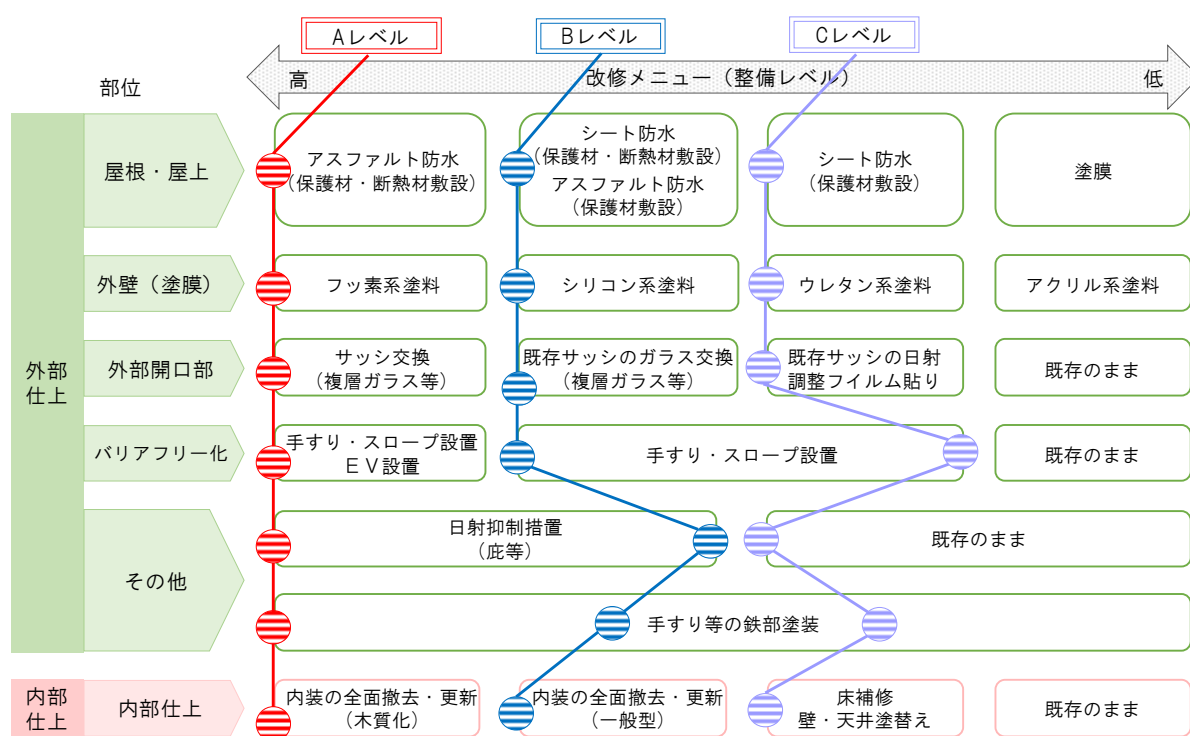
図：整備水準の考え方

表：改修工事等における整備内容例

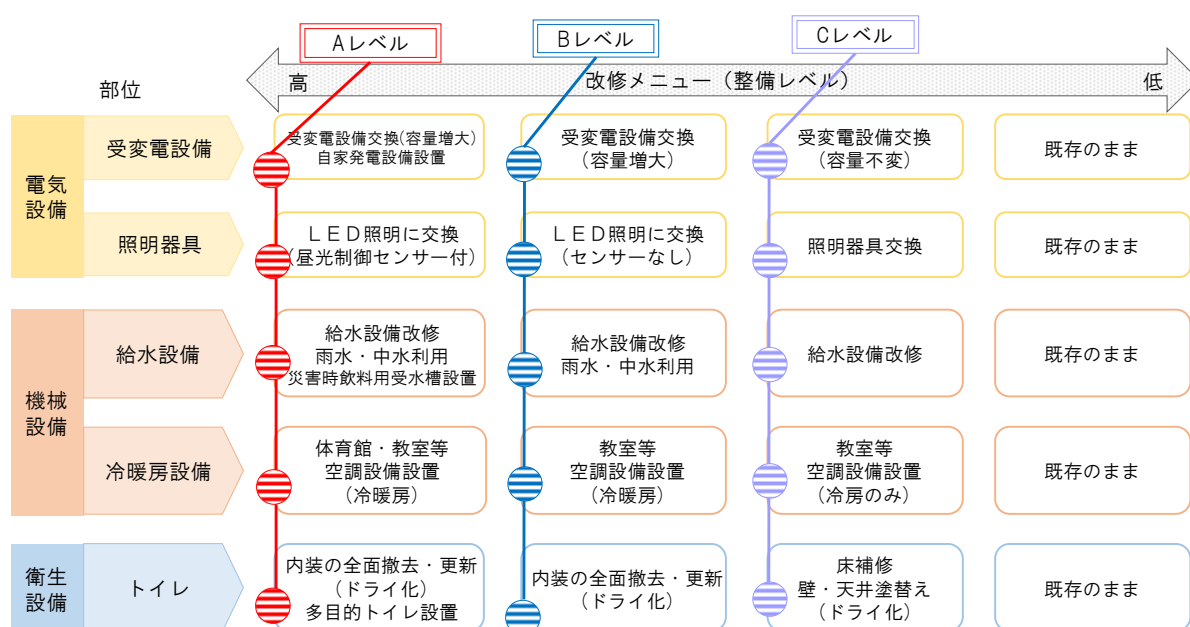
項 目	整 備 内 容
安全性・耐用性を確保・維持するための改修 構造体の長寿命化や内・外装仕上等の改修、設備更新や必要な防災・防犯機能の付加等	◇ 外装（屋上防水、外壁仕上材、躯体のクラック、鉄筋、浮き補修等） ◇ 屋上・屋根（防水改修等） ◇ 内装（床、壁、天井、間仕切り等） ◇ 非構造部材の耐震対策 ◇ 防災機能 ◇ 防犯対策・事故防止対策
機能性・快適性を確保・維持するための改修 機能性や快適性等、学校生活の場として必要な環境の確保・維持や、必要な社会ニーズに応じた機能付加等	◇ 受変電、照明設備等更新 ◇ 設備（空調、給排水等） ◇ ICT設備 ◇ バリアフリー対応（段差の解消等） ◇ トイレ改修（洋式化、乾式化）
環境面を確保・維持するための改修 断熱や遮音等による環境面の向上や省エネ化によるコスト削減等	◇ 断熱性能の向上（壁、開口部等） ◇ 遮音性能の向上（壁、開口部等） ◇ 設備の高効率化（LED化、エアコン設置等）

長寿命化改修では、整備水準を高めるほどコストは高くなりますが、建物性能の向上による建物寿命の延伸や、設備機能の向上により光熱水費の縮減につながります。

以下に示す整備水準において、Aレベルは省エネ型で整備水準が最も高く、Cレベルは従来の整備水準にほぼ相当します。整備水準のBレベルを基本レベルとして設定しますが、現在の仕様、建物の劣化状況、改修内容等により整備水準を柔軟に変更します。また、ライフサイクルにおけるコストの試算を行い、予算の見通しを踏まえた整備水準の設定を行います。



図：校舎・体育館等の整備水準



図：主要な設備の整備水準

2. 維持管理の項目・手法等

(1) 維持管理の必要性

学校施設は、児童・生徒の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には避難所として地域住民の避難生活の拠点としての役割も担うものであるため、平常時だけでなく災害時においても十分な安全性・機能性を有することが求められます。

しかし、建築当初には確保されているこれらの性能も、経年劣化等により必要な性能を満たさなくなっているおそれがあることから、学校施設の管理者においては、当該施設が常に健全な状態を維持できるよう、法令等（建築基準法、消防法等）に基づいて定期的に点検を行い、必要な修理・修繕等を速やかに実施し、適切に維持管理を行っていくことが必要です。

また、学校施設を適切に維持管理するためには、施設の管理者と学校の教職員がそれぞれの立場に応じて点検等を行うことが重要です。

(2) 維持管理の項目

施設の維持管理については、関係者が日常的に点検を行い、建物の劣化状況等を早い段階で把握できるようにするとともに、建築基準法等に基づいて、「定期的な点検の実施」と「点検結果に基づく必要な修繕等」を行うことが義務付けられています。

「定期的な点検の実施」は、建築基準法や消防法に基づき定められた点検項目等について、専門的な知識を持った有資格者に、一定の期間ごとに点検を実施させることとなります。

表：建築基準法に基づく法定点検

点検する項目		点検内容		点検する項目		点検内容	
A. 敷地及び地盤				D. 建築物の内部			
地盤		不陸、傾斜等		天井		劣化・損傷	
敷地		排水		防火設備		劣化・損傷	
敷地内通路		通路の確保、支障物		照明器具、懸垂物等		劣化・損傷	
塀		劣化・損傷		居室の採光及び換気		劣化・損傷、作動	
擁壁		劣化・損傷		E. 避難施設等			
B. 建築物の外部				居室から地上への通路		基準適合性	
基礎・土台		劣化・損傷、沈下		廊下、出入口		物品放置	
外壁	躯体等	劣化・損傷	避難上有効なバルコニー		劣化・損傷		
	外装仕上材	劣化・損傷	階段		劣化・損傷		
	窓サッシ等	劣化・損傷	排煙設備等	防煙壁	劣化・損傷		
C. 屋上及び屋根				非煙設備	作動、排煙口		
屋上面、屋上周り		劣化・損傷		非常時の設備等	進入口等	維持保全	
機器及び工作物		劣化・損傷		照明装置	劣化・損傷		
D. 建築物の内部				F. その他			
防火区画		劣化・損傷		特殊構造等（免震構造等）		劣化・損傷	
内壁		劣化・損傷		避雷設備		劣化・損傷	
床		劣化・損傷		煙突		劣化・損傷	

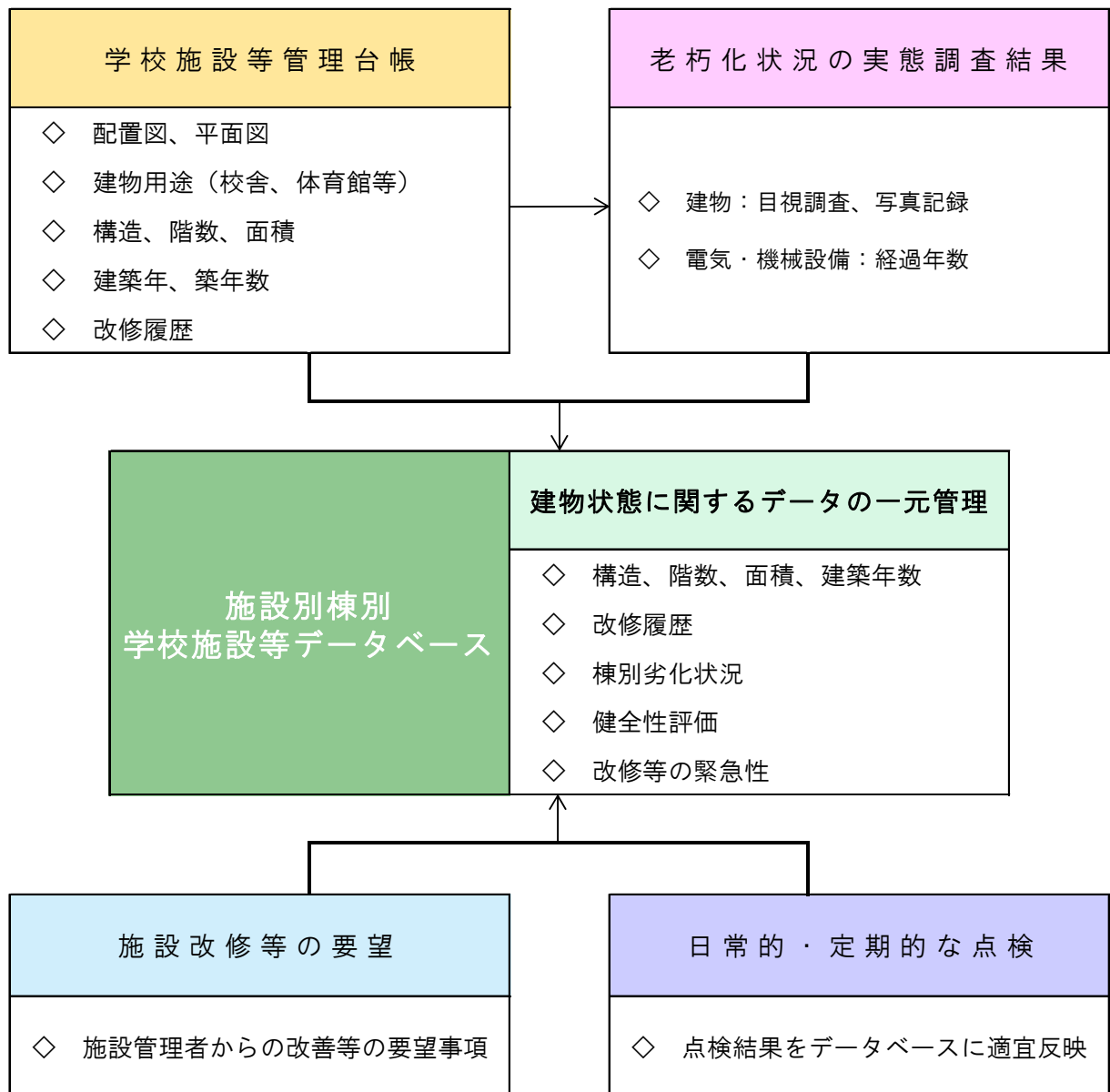
また、日常的に維持管理を行うことで、建物の劣化状況を詳細に把握できるとともに、より早く異常に気付くことができるため、施設の状況に応じた維持、予防保全による改修の内容や時期の検討が早期に可能となります。

表：維持管理のための点検

点検分野	項目	内容	期間	点検者
日常的な維持管理のための点検	清掃	◇ 汚れを除去すること及び汚れを予防することにより仕上材を保護し、快適な環境に保つための作業	毎日	各学校
	保守	◇ 点検の結果に基づき、建築物等の機能の回復又は危険の防止のために行う消耗部品の交換、注油、塗装、その他これらに類する軽微な作業	毎日	各学校
	日常点検	◇ 目視、聴音、触接等の簡易な方法により巡回しながら日常的に行う点検 ◇ 機器及び設備について、異常の有無、兆候を発見	毎月	各学校
定期的な維持管理のための点検	自主点検	◇ 機器及び設備の破損、腐食状況を把握し、修理・修繕等の保全計画の作成	1年	各学校・教育委員会
	法定点検	◇ 自主点検では確認できない箇所や、法的に定められた箇所に関して、専門業者により点検 ◇ 当該点検を実施するために必要な資格又は特別な専門知識を有する者が定期的に行う点検	建築物3年 設備等1年	教育委員会
臨時的な維持管理のための点検	臨時点検	◇ 日常、定期点検以外に行う臨時的な点検 ◇ 建築物等の部分について、損傷、変形、腐食、異臭、その他の異常の有無を調査	随時	各学校

(3) 点検・評価結果の蓄積

施設の予防保全管理に日常的に取り組む上で、建物の定期的な点検により老朽化の状況を把握し、改修履歴を含めた施設の情報をデータベース化し、随時更新していくことにより、長寿命化を図るための大規模改修を計画的かつ円滑に行うように努めます。



図：点検・評価結果のデータベース化（イメージ）



第 5 章 長寿命化の実施計画

1. 施設評価及び優先順位

(1) 施設評価

延床面積 200 ㎡以上の建物および小規模主要施設（小学校 90 棟、中学校 18 棟、教職員住宅 49 棟、学校給食センター4 棟）、合計 161 棟の建物に対して行った劣化状況評価の健全度で、劣化等が進み、健全度が 50 点未満となっている建物 12 棟について、健全度が低い方から並べると次のようになっています。

表：健全度 50 点未満の建物

順位	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	築年数	健全度 (点)	備 考
1	岩川小学校	屋内運動場	16	RC	1	680	47	30	R4解体予定
2	菅牟田小学校	屋内運動場	4	S	2	550	45	30	R1非構造部材改修
3	檜小学校	図工室	4	W	1	91	50	40	
4	高岡小学校	屋内運動場	7	RC	1	533	42	40	R1非構造部材改修
5	岩北小学校	屋内運動場	8	RC	1	533	42	40	R1非構造部材改修
6	光神小学校	屋内運動場	7-1	S	1	533	44	40	R2非構造部材改修予定
7	岩川小学校	管理特別教室棟	11-1	RC	2	1045	52	40	R4解体予定
8	恒吉小学校	管理教室棟	1	RC	2	1293	50	40	
9	岩川小学校	普通教室棟	7	RC	2	755	62	43	R4解体予定
10	諏訪小学校	教室棟	1-1	RC	2	472	59	45	
11	岩川小学校	下足室	10	RC	1	45	53	46	R4解体予定
12	岩南小学校	屋内運動場	6	S	1	533	43	48	R1非構造部材改修

(2) 改修等の優先順位

経過年数が健全度に影響することから、改修等を行う建物は、現段階で健全度の低い建物かつ建築年の古い建物から順次行うことを基本としますが、現時点で進行中または計画されている施設の整備を優先して実施します。また、過小規模校については、今後の児童数の推移等を考慮した整備内容で計画します。

2. ライフサイクルコストの算定（参考）

現在の学校施設等を今後も保有し続け、改修を行いながら耐用年数経過後に現在と同じ規模で改築を行うとした場合（事後保全型の維持・管理）と、適切な時期に長寿命化改修を行い、計画的に施設の長寿命化を図った場合（予防保全型の維持・管理）について、国のライフサイクルコスト（以下、LCC※）算出の考え方に基づき算出します。

LCCの算出は、長寿命化改修を実施せず建築後50年で改築する場合と、長寿命化改修を実施し建築後80年で改築する場合のそれぞれについて、当初の建築時点から次の改築までに要するコストについて比較・検討しています。

学校施設等のコスト試算にあたっては、校舎、体育館、武道場、給食センター、その他施設（教職員住宅等）について、曾於市における過去の工事実績を基に単価設定を行いました。

表：改築単価の設定根拠

分類	工事費 (円)	延床面積 (㎡)	改築単価 (円/㎡)
校舎	市実績：令和2-3年度岩川小 建築工事		
	1,434,000,000	4,475	320,447 ≒ 320,000 (円/㎡)
体育館及び 武道場	市実績：平成25年度 財部中 屋内運動場及び武道場建築工事		
	331,488,500	1,261	262,877 ≒ 260,000 (円/㎡)
体育館	市実績：平成26年度 柳迫小 屋内運動場建築工事		
	217,099,200	659	329,437 ≒ 330,000 (円/㎡)
体育館	市実績：平成27年度 檉小 屋内運動場建築工事		
	202,014,000	659	306,546 ≒ 310,000 (円/㎡)
平均値			300,000 (円/㎡)
給食 センター	他市実績：平成28-30年度 奄美市学校給食センター建築工事		
	1,248,931,000	2,218	563,089 ≒ 560,000 (円/㎡)
その他 (教職員住宅)	市実績：平成30年度 地域振興住宅建築工事		
	14,874,200	90	164,738 ≒ 165,000 (円/㎡)
取壊し費用	参考：平成31年度版 建築物のライフサイクルコスト 第2版 (国土交通省大臣官房庁営繕部監修) による(廃棄処理コストを含まない)		
	18,000 (円/㎡)		

※ LCCとは、建築物の企画設計段階、建設段階、運用管理段階及び解体再利用段階の各段階のコスト（費用）の総計のこと。

◇ 長寿命化型改善を実施しない場合 → コストは少ないが、使用年数も短い

◇ 長寿命化型改善を実施した場合 → コストは高いが、使用年数も長い

前頁で設定した改築単価を基に、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」（以下、「付属エクセルソフト」という）の割合を使用して、以下のように各施設の単価を設定しています。また、改築、長寿命化改修、大規模改造などコスト試算の条件設定を行っています。

表：試算のための単価設定

		校舎		体育館		武道場	
		割合	設定単価	割合	設定単価	割合	設定単価
改築		100.0%	320,000 円/㎡	100.0%	300,000 円/㎡	100.0%	300,000 円/㎡
長寿命化改修		60.0%	192,000 円/㎡	60.0%	180,000 円/㎡	60.0%	180,000 円/㎡
大規模改造		25.0%	80,000 円/㎡	22.0%	66,000 円/㎡	22.0%	66,000 円/㎡
部 位 修 繕	屋根・屋上	3.5%	9,600 円/㎡	3.0%	9,000 円/㎡	3.0%	9,000 円/㎡
	外壁	5.1%	16,320 円/㎡	3.5%	10,500 円/㎡	3.5%	10,500 円/㎡
	内部仕上	5.6%	17,920 円/㎡	5.6%	16,800 円/㎡	5.6%	16,800 円/㎡
	電気設備	4.0%	12,800 円/㎡	4.8%	14,400 円/㎡	4.8%	14,400 円/㎡
	機械設備	3.7%	11,840 円/㎡	1.7%	5,100 円/㎡	1.7%	5,100 円/㎡
		給食センター		教職員住宅			
		割合	設定単価	割合	設定単価		
改築		100.0%	560,000 円/㎡	100.0%	165,000 円/㎡		
長寿命化改修		60.0%	336,000 円/㎡	60.0%	99,000 円/㎡		
大規模改造		25.0%	140,000 円/㎡	25.0%	41,250 円/㎡		
部 位 修 繕	屋根・屋上	3.5%	19,600 円/㎡	3.5%	5,775 円/㎡		
	外壁	5.1%	28,560 円/㎡	5.1%	8,415 円/㎡		
	内部仕上	5.6%	31,360 円/㎡	5.6%	9,240 円/㎡		
	電気設備	4.0%	22,400 円/㎡	4.0%	6,600 円/㎡		
	機械設備	3.7%	20,720 円/㎡	3.7%	6,105 円/㎡		

表：コスト試算条件

	事後保全型（従来型）	予防保全型（長寿命化型）
基準年度	令和元（2019）年度 試算期間：基準年度の翌年度から40年間	
改築	50年	長寿命化80年（50年＋30年）
長寿命化改修	—	築40年目
大規模改造	20年	築20年目
部位修繕	—	C評価:10年以内 D評価:5年以内

前述の条件に基づき、付属エクセルソフトを使用して、40年間の事後保全型（従来型）と予防保全型（長寿命化型）の維持・更新コストを算出しました。

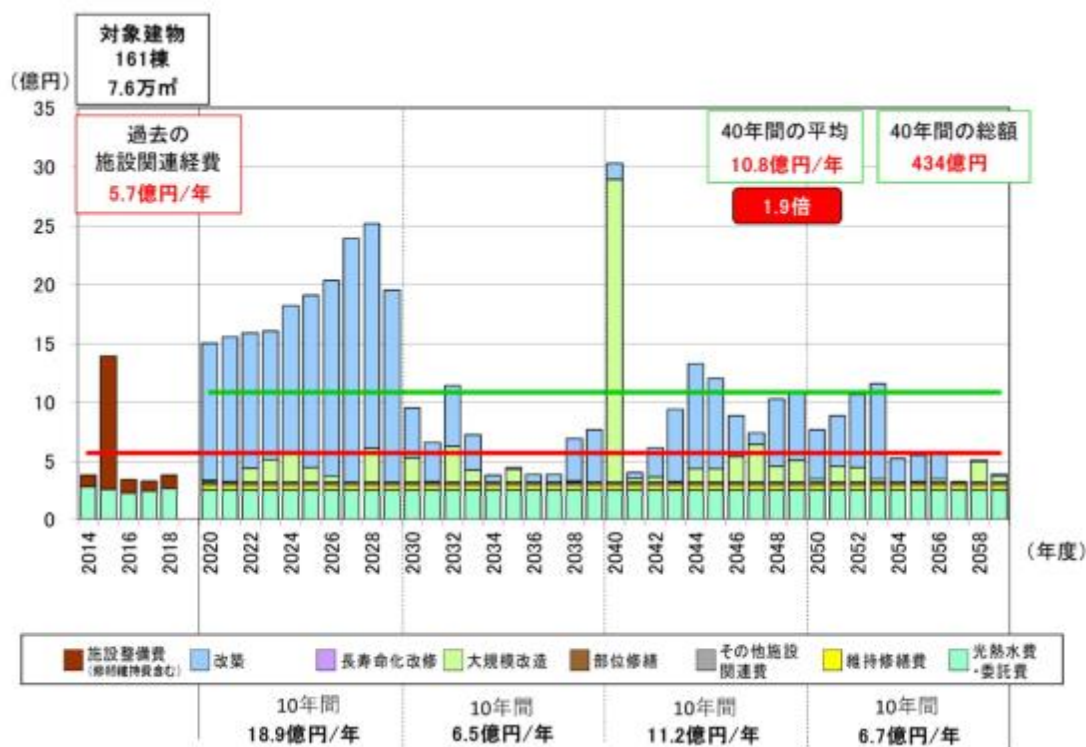
事後保全型（従来型）の維持・更新を行った場合、40年間の累計で434億円の費用が発生し、平均で年間約10.8億円が必要となります。

一方、予防保全型（長寿命化型）で維持・更新を行った場合、40年間の累計で403億円の費用が発生し、平均で年間約10億円が必要となり、事後保全型よりも31億円（年間0.8億円）の費用を削減することが出来ます。

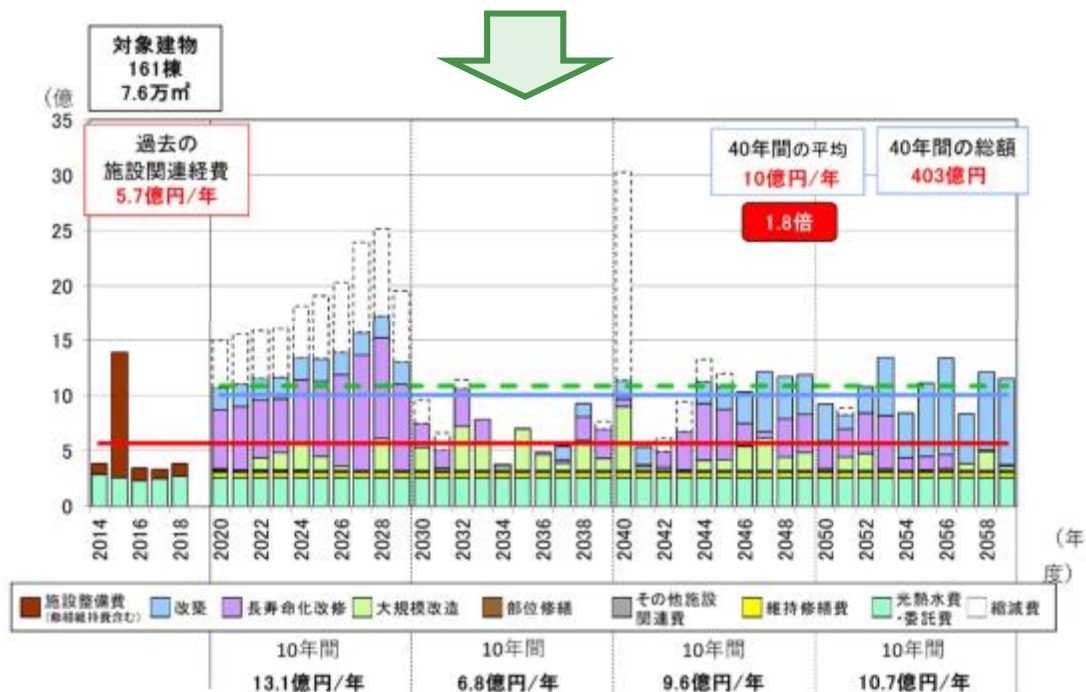
以上のことから、事後保全型の維持・管理から、予防保全型の維持・管理に移行することで、コストの削減を図ることが出来ます。

表：維持・更新コストの結果比較

	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059	40年間合計	40年間平均
事後保全型 （従来型）	189億円	65億円	112億円	67億円	434億円	10.8億円/年
予防保全型 （長寿命化型）	131億円	68億円	96億円	107億円	403億円	10億円/年
差 額	▲58億円	3億円	▲16億円	40億円	▲31億円	▲0.8億円/年



図：今後の維持・更新コスト（従来型）



図：今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

- ※ 計算上の理由により、10年間の平均コストの合計と30年間の総額は必ずしも一致しない
- ※ 2020年以降の「その他施設関連費」「維持修繕費」「光熱水費・委託費」は、2014年～2018年の平均額としている

◇ 2020年～2029年までのコスト算出の考え方

工種	内容
改築	2020年の時点で改築及び長寿命化改修の実施年数より古い建物は、
長寿命化	今後10年以内に改築又は長寿命化を実施するものとし、該当コストの10分の1の金額を10年間計上
部位修繕	2020年の時点でC評価の部位：今後10年以内に修繕するものとし、該当コストの10分の1の金額を10年間計上
	2020年の時点でD評価の部位：今後5年以内に修繕するものとし、該当コストの5分の1の金額を5年間計上

※以上の内容は付属エクセルソフトのプログラムで設定されている

3. 事業計画策定

(1) 今後 10 年間の事業計画

本計画では、「曾於市教育振興基本計画（平成 27 年 4 月）」や「曾於市公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）」を基本的な方針とし、従来型と長寿命化型とのコスト比較にて長寿命化型の効果があることから、将来にわたり継続活用する学校を対象に長寿命化を施し延命措置を行うことを計画の基本とします。

令和 2 年度からの 10 年間の事業計画は、既に進行中の岩川小学校の移転改築を実施し、その後に計画されている学校給食センターの統合改築および末吉小学校の普通教室棟や管理教室棟等の改築を優先して実施します。その他の小学校は、老朽化状況に応じて、年次的に長寿命化改修や大規模改修を実施する必要がありますが、過小規模校については、今後の児童数の推移等を考慮して、部分修繕で対応します。

中学校は、建物の老朽化状況に応じて、年次的に長寿命化改修や大規模改修、部分改修を実施します。小中学校の屋内運動場については、地域の避難場所となっていることから、老朽化状況に応じて、非構造部材の改修など長寿命化改修や大規模改修、部分改修を実施します。教職員住宅については、老朽化状況に応じて、年次的に部分改修を実施します。

また、今後の学校再編の検討により統合等の実行性が明確となった際には、事業計画の見直しを行います。

今後 10 年間に実施する事業のスケジュールは次頁の表のとおりです。

改築	長寿命化改修	大規模改修	部分修繕	解体撤去	利用終了
----	--------	-------	------	------	------

	施設名	建物名	棟番号	構造	延床面積 (㎡)	築年数	劣化状況評価（H30年度調査数値）						1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
													2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
							屋上	外壁	内部	電気	機械	健全度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
普通教室・特別教室・管理教室等																						
1	末吉小学校	管理教室棟	1	RC	1,329	43	C	A	C	C	C	57								解体撤去		
2	末吉小学校	普通教室棟	2	RC	2,517	44	C	A	C	C	C	57								解体撤去		
3	末吉小学校	教室棟	16	RC	380	34	B	A	B	B	B	82								解体撤去		
4	末吉小学校	図書室	17	RC	208	34	A	A	B	B	-	86								解体撤去		
78	末吉小学校	新設															増改築	増改築	増改築			
5	櫛小学校	管理教室棟	1-1	RC	408	59	A	A	C	C	C	62							部分修繕			
6	櫛小学校	管理教室棟	1-2	RC	1,042	58	C	A	B	B	B	79							部分修繕			
7	櫛小学校	管理教室棟	1-3	RC	185	50	A	B	C	C	C	55									部分修繕	
8	櫛小学校	管理教室棟	1-4	S	18	30	A	A	B	B	B	84										部分修繕
9	櫛小学校	図工室	4	W	42	50	C	C	C	C	C	40							部分修繕			
10	高岡小学校	特別教室棟	1	RC	491	53	C	B	C	C	C	50					閉校					
11	高岡小学校	普通教室棟	11	RC	617	32	A	A	B	B	B	84					閉校					
12	岩北小学校	管理教室棟	1-1	RC	472	60	C	B	C	C	C	50								部分修繕		
13	岩北小学校	管理教室棟	1-2	RC	549	59	C	B	C	C	C	50								部分修繕		
14	岩北小学校	管理教室棟	1-3	RC	393	40	C	B	C	C	C	50								部分修繕		
15	岩北小学校	配膳室	1-4	S	15	30	B	A	B	B	B	82										部分修繕
16	岩北小学校	特別教室棟	11	RC	299	30	A	A	B	B	B	84										部分修繕
17	岩南小学校	特別教室棟	1-3	RC	604	52	D	A	C	C	C	55								部分修繕		
18	岩南小学校	普通教室棟	2	RC	674	32	A	A	B	B	B	84								部分修繕		
19	諏訪小学校	教室棟	1-1	RC	472	59	A	C	C	C	C	45									部分修繕	
20	諏訪小学校	管理特別教室棟	1-2	RC	720	58	C	A	C	C	C	57									部分修繕	
21	諏訪小学校	コンテナ室	1-3	S	18	28	A	A	B	B	-	86										
22	諏訪小学校	特別教室棟	2	RC	485	39	A	C	B	B	B	67								部分修繕		
23	光神小学校	普通教室棟	1-1	RC	884	56	C	A	C	C	C	57									部分修繕	
24	光神小学校	特別教室棟	1-2	RC	315	40	C	A	C	C	C	57									部分修繕	
25	光神小学校	特別教室棟	1-3	RC	365	31	A	A	B	B	B	84									部分修繕	
26	深川小学校	特別教室棟	1	RC	641	55	C	B	C	C	C	50										部分修繕
27	深川小学校	普通教室棟	18	RC	835	31	B	A	B	B	B	82										部分修繕
28	柳迫小学校	管理普通教室棟	9-1	RC	778	41	D	A	C	C	C	55										部分修繕
29	柳迫小学校	特別教室棟	9-2	RC	884	30	B	B	B	B	B	75										部分修繕
30	岩川小学校	普通教室棟	7	RC	755	62	B	C	C	C	C	43				解体撤去						
31	岩川小学校	普通教室棟	9	RC	1,216	53	C	B	C	C	C	50				解体撤去						
32	岩川小学校	下足室	10	RC	45	53	A	C	C	C	-	46				解体撤去						
33	岩川小学校	管理特別教室棟	11-1	RC	1,045	52	C	C	C	C	C	40				解体撤去						
34	岩川小学校	管理特別教室棟	11-2	RC	43	31	B	B	B	B	-	75				解体撤去						
35	岩川小学校	管理特別教室棟	11-3	RC	8	30	D	B	B	B	B	70				解体撤去						
36	岩川小学校	特別教室棟	23	RC	736	33	B	C	B	B	B	65				移管						
37	岩川小学校	事務補佐員室	24	RC	33	33	A	B	B	B	B	77				解体撤去						
77	岩川小学校	新設				0							改築	改築								
38	菅牟田小学校	特別教室棟	1	W	119	1	A	A	A	A	A	100										
39	菅牟田小学校	管理教室棟	9	RC	730	51	A	A	C	C	C	62										
40	笠木小学校	特別教室棟	15-1	RC	410	38	A	C	B	B	B	67									部分修繕	
41	笠木小学校	配膳室	15-2	S	28	26	A	A	B	B	B	84										
42	笠木小学校	管理教室棟	21-1	RC	704	14	-	B	A	A	A	92									部分修繕	
43	笠木小学校	管理教室棟	21-2	W	604	14	A	A	A	A	A	100									部分修繕	
44	笠木小学校	管理教室棟	21-3	W	256	14	A	A	A	A	A	100									部分修繕	
45	大隅北小学校	管理普通教室棟	1-1	RC	1,233	55	C	A	A	A	A	95								部分修繕		
46	大隅北小学校	配膳室	1-3	W	30	26	A	B	A	A	A	93										

	施設名	建物名	棟番号	構造	延床面積 (㎡)	築年数	劣化状況評価 (H30年度調査数値)						1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
													2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
							屋上	外壁	内部	電気	機械	健全度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
47	大隅北小学校	音楽室棟	20	S	64	4	A	A	A	A	-	100										
48	大隅北小学校	玄関棟	21	S	23	4	A	A	A	A	A	100										
49	恒吉小学校	管理教室棟	1	RC	1,293	50	C	C	C	C	C	40					大規模改造		部分修繕			
50	大隅南小学校	管理教室棟	5	RC	1,344	56	C	B	C	C	C	50			閉校							
51	大隅南小学校	受入室	5-1	W	18	26	A	A	B	B	-	86			閉校							
52	月野小学校	教室棟	1-1	W	446	21	C	B	B	B	B	72									部分修繕	
53	月野小学校	教室棟	1-2	RC	53	21	A	A	B	B	-	86										
54	月野小学校	教室棟	1-3	W	739	21	C	B	B	B	B	72									部分修繕	
55	月野小学校	教室棟	1-4	RC	455	21	A	A	B	B	B	84										
56	月野小学校	教室棟	1-5	W	186	21	A	A	B	B	-	86										
57	月野小学校	教室棟	1-6	W	88	21	A	A	B	B	-	86										
58	財部小学校	特別教室棟	18	RC	1,739	32	B	B	B	B	B	75								長寿命化改修	長寿命化改修	
59	財部小学校	管理教室棟	27	RC	2,595	9	A	B	A	A	A	93										
60	財部北小学校	管理及び普通教室棟	1	RC	1,567	41	C	B	C	C	C	50				閉校						
61	財部北小学校	郷土館	11	W	66	30	A	B	B	B	-	77				閉校						
62	財部南小学校	普通教室棟	1-1	RC	744	62	B	A	C	C	C	60								部分修繕		
63	財部南小学校	特別教室棟	1-2	RC	573	47	C	A	C	C	C	57								部分修繕		
64	財部南小学校	図工・配膳室	17	W	151	23	A	B	B	B	B	77										
65	中谷小学校	管理棟	11-1	W	802	28	A	B	B	B	B	77										
66	中谷小学校	普通教室棟	11-2	RC	105	28	A	B	B	B	B	77										
67	中谷小学校	特別教室棟	11-3	S	430	28	A	A	B	B	B	84										
68	末吉中学校	特別教室棟	13	RC	3,073	15	B	B	A	A	A	91										大規模改修
69	末吉中学校	普通教室棟	23	RC	3,585	11	A	B	A	A	A	93										
70	大隅中学校	管理教室棟	30-1	RC	2,038	46	B	B	A	A	A	91							長寿命化改修	長寿命化改修		
71	大隅中学校	管理教室棟	30-2	RC	20	26	A	A	A	A	A	100										
72	大隅中学校	管理教室棟	30-3	S	36	15	A	A	A	A	-	100									大規模改修	
73	大隅中学校	特別教室棟	31	RC	599	44	A	B	A	A	A	93								長寿命化改修	長寿命化改修	
74	大隅中学校	普通教室棟	41	RC	1,386	17	A	B	A	A	A	93									大規模改修	
75	大隅中学校	特別教室棟	43	RC	507	16	B	B	A	A	A	91										大規模改修
76	財部中学校	管理教室棟	15	RC	3,785	7	A	B	A	A	A	93										
屋内運動場																						
1	末吉小学校	屋内運動場	4-1	RC	798	40	C	B	C	C	-	51	長寿命化改修	部分修繕								
2	末吉小学校	屋内運動場	4-2	RC	251	31	C	B	B	B	B	72	長寿命化改修	部分修繕								
3	櫛小学校	屋内運動場	14-1	RC	649	4	A	A	A	A	A	100										
4	高岡小学校	屋内運動場	7	RC	533	42	A	A	A	A	A	100	部分修繕	(R1に屋根外壁内壁改修工事を実施)			閉校					
5	岩北小学校	屋内運動場	8	RC	533	42	A	A	A	A	A	100		(R1に外壁内壁改修工事を実施)			部分修繕					
6	岩南小学校	屋内運動場	6	S	533	43	A	A	A	A	A	100	部分修繕	(R1に屋根外壁内壁改修工事を実施)								
7	諏訪小学校	屋内運動場	12	RC	560	35	C	C	B	B	B	62	長寿命化改修	部分修繕								
8	光神小学校	屋内運動場	7-1	S	533	44	C	C	C	C	C	40	長寿命化改修	部分修繕								
9	光神小学校	屋内運動場	7-2	S	108	30	C	B	B	B	-	72	長寿命化改修	部分修繕								
10	深川小学校	屋内運動場	9	RC	560	39	A	A	A	A	A	100	部分修繕	(R1に屋根外壁内壁改修工事を実施)								
11	柳迫小学校	屋内運動場	17	RC	659	4	A	A	A	A	A	100										
12	岩川小学校	屋内運動場	16	RC	680	47	C	D	C	C	-	30				解体撤去						
13	菅牟田小学校	屋内運動場	4	S	550	45	A	A	A	A	A	100		(R1に外壁内壁改修工事を実施)			部分修繕					
14	笠木小学校	屋内運動場	1	RC	609	13	A	C	A	A	A	83								部分修繕		
15	大隅北小学校	屋内運動場	16	RC	630	30	C	C	B	B	B	62	長寿命化改修					部分修繕				
16	恒吉小学校	屋内運動場	4	RC	612	49	A	A	A	A	A	100		(R1に外壁内壁改修工事を実施)								
17	大隅南小学校	屋内運動場	18	RC	550	32	D	A	B	B	B	77	長寿命化改修		閉校							
18	月野小学校	屋内運動場	3	W	633	20	A	B	B	B	B	77										
19	財部小学校	屋内運動場	16	RC	725	35	C	C	B	B	-	60	長寿命化改修				部分修繕					

■ 曾於市学校施設等 10年間事業計画 (R7.3現在「解体撤去」及び「利用終了」情報修正)													改築	長寿命化改修	大規模改修	部分修繕	解体撤去	利用終了				
	施設名	建物名	棟番号	構造	延床面積 (㎡)	築年数	劣化状況評価 (H30年度調査数値)						1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
													2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
							屋上	外壁	内部	電気	機械	健全度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
20	財部北小学校	屋内運動場	8	RC	680	33	C	C	B	B	-	60	長寿命化改修				閉校					
21	財部南小学校	屋内運動場	12	RC	684	34	C	C	B	B	-	60	長寿命化改修							部分修繕		
22	中谷小学校	屋内運動場	13	RC	696	27	A	B	B	B	B	77										
23	末吉中学校	屋内運動場	8	RC	1,756	16	B	C	A	A	A	81										
24	大隅中学校	屋内運動場	11	RC	1,138	41	A	A	A	A	A	100		(R1に外壁内壁改修工事を実施)						部分修繕		
25	大隅中学校	柔剣道場	37	RC	375	37	C	B	B	B	-	72					部分修繕					
26	財部中学校	屋内運動場	17-1	RC	872	6	A	B	A	A	-	92										
27	財部中学校	屋内運動場	17-2	RC	88	6	A	A	A	A	A	100										
28	財部中学校	剣道・柔道場	17-3	RC	301	6	A	A	A	A	-	100										
29	岩川小学校	屋内運動場 (旧岩川高校)				49								大規模改修								
学校給食調理場																						
1	末吉小学校	給食室	18	S	186	33	A	B	B	B	B	77					部分改修	(改修後倉庫利用)			解体撤去	
2	末吉中学校	給食室	5-1	RC	21	48	-	A	C	C	C	59					部分改修	(改修後倉庫利用)			解体撤去	
3	末吉中学校	給食室	5-2	S	100	48	C	B	C	C	C	50					部分改修	(改修後倉庫利用)				
4	末吉中学校	給食室	5-3	S	92	21	C	B	B	B	B	72					部分改修	(改修後倉庫利用)				
5	大隅学校給食セン	給食センター棟	1-1	S	735	27	B	B	B	B	B	75						閉館				
6	大隅学校給食セン	給食センター棟	1-2	S	15	27	A	A	B	B	-	86						閉館				
7	財部学校給食セン	給食センター棟	1-1	RC	460	33	A	B	B	B	B	77						閉館				
8	財部学校給食セン	給食センター棟	1-2	RC	31	19	A	B	A	A	A	93						閉館				
9	給食センター	新設				0									新增改築	新增改築						
教職員住宅																						
1	末吉小学校	教職員住宅 (校長)	19	W	96	31	A	B	B	B	B	77					部分修繕					
2	末吉小学校	教職員住宅 (教頭)	3	W	96	17	A	B	A	A	A	93								部分修繕		
3	櫛小学校	教職員住宅 (校長)	10	W	96	32	A	C	B	B	B	67						部分修繕				
4	櫛小学校	教職員住宅 (教頭)	13	W	96	16	A	B	A	A	A	93								部分修繕		
5	高岡小学校	教職員住宅 (校長)	12	W	96	29	A	C	B	B	B	67						閉校				
6	高岡小学校	教職員住宅 (教頭)	2	W	96	19	A	A	A	A	A	100						閉校				
7	岩北小学校	教職員住宅 (校長)	15	W	96	18	A	B	A	A	A	93						部分修繕				
8	岩北小学校	教職員住宅 (教頭)	13	W	96	30	A	A	A	A	A	100										部分修繕
9	岩南小学校	教職員住宅 (校長)	10	W	96	33	A	B	B	B	B	77						部分修繕				
10	岩南小学校	教職員住宅 (教頭)	3	W	96	22	A	B	B	B	B	77						部分修繕				
11	諏訪小学校	教職員住宅 (校長)	13	W	96	29	A	C	B	B	B	67							部分修繕			
12	諏訪小学校	教職員住宅 (教頭)	7	W	90	8	A	A	A	A	A	100										部分修繕
13	光神小学校	教職員住宅 (校長)	11	W	96	33	A	B	B	B	B	77				部分修繕						
14	光神小学校	教職員住宅 (教頭)	13	W	96	15	A	B	A	A	A	93							部分修繕			
15	深川小学校	教職員住宅 (校長)	17	W	96	34	C	B	B	B	B	72				部分修繕						
16	深川小学校	教職員住宅 (教頭)	19	W	96	23	A	B	B	B	B	77				部分修繕						
17	柳迫小学校	教職員住宅 (校長)	13	W	96	28	A	C	B	B	B	67				部分修繕						
18	柳迫小学校	教職員住宅 (教頭)	14	W	96	28	A	B	B	B	B	77									部分修繕	
19	岩川小学校	教職員住宅 (校長)	22	W	88	34	A	B	B	B	B	77	部分修繕				解体撤去					
20	岩川小学校	教職員住宅 (教頭)	27	W	89	19	A	A	A	A	A	100								部分修繕		
21	菅牟田小学校	教職員住宅 (校長)	21	W	88	30	A	B	B	B	B	77			部分修繕							
22	菅牟田小学校	教職員住宅 (教頭)	22	W	88	30	A	B	B	B	B	77			部分修繕							
23	笠木小学校	教職員住宅 (校長)	19	W	88	32	C	B	B	B	B	72			部分修繕							
24	笠木小学校	教職員住宅 (教頭)	20	W	88	29	A	B	B	B	B	77								部分修繕		
25	大隅北小学校	教職員住宅 (校長)	19	W	90	26	A	B	B	B	B	77								部分修繕		
26	大隅北小学校	教職員住宅 (教頭)	17	W	90	26	C	B	B	B	B	72								部分修繕		
27	恒吉小学校	教職員住宅 (校長)	14	W	88	33	A	B	B	B	B	77									部分修繕	
28	恒吉小学校	教職員住宅 (教頭)	16	W	88	31	A	B	B	B	B	77								部分修繕		

	施設名	建物名	棟番号	構造	延床面積 (㎡)	築年数	劣化状況評価 (H30年度調査数値)						1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
													2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
							屋上	外壁	内部	電気	機械	健全度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
29	大隅南小学校	教職員住宅（校長）	17	W	88	32	A	B	B	B	B	77			閉校							
30	大隅南小学校	教職員住宅（教頭）	21	W	84	28	A	B	B	B	B	77			閉校							
31	月野小学校	教職員住宅（校長）	20	W	88	35	A	B	B	B	B	77								部分修繕		
32	月野小学校	教職員住宅（教頭）	24	W	90	26	A	B	B	B	B	77								部分修繕		
33	財部小学校	教職員住宅（校長）	21	W	80	32	C	B	B	B	B	72		部分修繕								
34	財部小学校	教職員住宅（教頭）	17	W	76	33	A	B	B	B	B	77			部分修繕							
35	財部北小学校	教職員住宅（校長）	12	W	80	29	A	B	B	B	B	77				閉校						
36	財部北小学校	教職員住宅（教頭）	7	W	76	37	A	B	B	B	B	77				閉校						
37	財部南小学校	教職員住宅（校長）	15	W	80	24	A	B	B	B	B	77										部分修繕
38	財部南小学校	教職員住宅（教頭）	11	W	76	37	A	B	B	B	B	77										部分修繕
39	中谷小学校	教職員住宅（校長）	12	W	80	28	A	B	B	B	B	77									部分修繕	
40	中谷小学校	教職員住宅（教頭）	9	W	76	36	A	B	B	B	B	77				部分修繕						
41	末吉中学校	教職員住宅（校長）	15	W	96	33	A	C	B	B	B	67		部分修繕								
42	末吉中学校	教職員住宅（教頭）	16	W	96	32	A	B	B	B	B	77						部分修繕				
43	大隅中学校	教職員住宅（校長）	38	W	88	35	A	B	B	B	B	77			部分修繕							
44	大隅中学校	教職員住宅（教頭）	39	W	88	27	A	B	B	B	B	77				部分修繕						
45	財部中学校	教職員住宅（校長）	12	W	80	23	A	B	B	B	B	77				部分修繕						
46	財部中学校	教職員住宅（教頭）	10	W	76	33	A	B	B	B	B	77		部分修繕								
47	向江教職員住宅	教職員住宅（指導主事）		W	80	33	B	B	B	B	B	75										部分修繕
48	教育長住宅	教職員住宅（教育長）		W	103	21	A	A	B	B	B	84									部分修繕	
49	岩川小学校 (西中国教職員住宅)	教職員住宅（校長）		B	62	47	A	A	A	A	A	100										部分修繕

(1) 事業推進のための財源

学校施設の改造、改修、改築を支援するため、国では「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律」等に基づき、公立学校施設の整備に関する補助事業を定め、支援を行っています。学校施設の整備にあたっては、これらの補助事業を活用しながら必要な対応に取り組んでいきます。

表：国庫補助関係

項目	大規模改造事業	長寿命化改良事業	改築事業
趣旨	文部科学省の学校施設環境改善交付金における対象事業の一つ		
	大規模な改修を行う事業	長寿命化を目的とした改修を行う事業	改築を行う事業
	◇ 経年により、通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置等	◇ 建物の耐久性を高めるとともに、現代の社会要請に応じた施設への改修	◇ 構造上危険な状態にある建物や、教育を行うのに著しく不適当な建物で特別の事情があるものの改築
交付金算定割合	33.3%	33.3%	33.3%
地方財政措置	なし	40.0%	40.0%
実質的な地方負担	66.7%	26.7%	26.7%
上限額	2億円	なし	なし
下限額	7,000万円	7,000万円	なし
補助要件	◇ 建築後20年以上経過したもの	◇ 耐力度調査の結果、基準点以下となったもの	◇ 危険建物の改築 耐力度調査の結果、基準点以下となったもの
	◇ 外部及び内部の両方同時に全面的に改造するもの		◇ 不適格建物の改築 Is値がおおむね0.3に満たないもの、又は保有水平耐力に係る指標（q）の値がおおむね0.5に満たないもの

資料：学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き（平成 27 年 4 月）文部科学省



第6章 長寿命化計画の継続的運営方針

1. 情報基盤の整備と活用

(1) 施設カルテ及び建物目視調査票の作成

本計画を策定するにあたって収集した学校施設等の基礎資料や、屋根・屋上、外壁、内部等の建物目視調査結果を、以下のような構成で施設カルテとして作成しています。

表：施設カルテの構成

【学校施設等別】

図面等	施設全景写真、位置図、施設配置図
施設状況	学校種別、所管課、所在地、延床面積、校地面積、避難場所指定、避難場所収容可能人員、施設保有状況、土地保有状況、複合施設区分
運営情報	運営方法、学校規模（規模分類、児童・生徒数、学級数）
コスト状況	年度別経常経費 （施設整備費、光熱水費、修繕費、委託費、年間コスト）

【棟別】

基本情報		施設名、棟名、調査番号・棟番号、学校種別、建物用途、建築年度・築年数、構造、階数、延床面積、耐震基準、耐震診断、耐震補強
設備情報		生活環境（トイレのドライ化、木質化）、省エネ化（太陽光発電、屋上緑化）、バリアフリー（エレベーター、多目的トイレ、点字ブロック、手すり、スロープ）
改善履歴		年度、種別、工事名称、費用
評価表	外部	劣化状況（屋根・屋上、外壁）、劣化状況部位写真
	内部	劣化状況（床・壁・天井、内部建具、間仕切等、照明器具、エアコン）、劣化状況部位写真
	電気・機械	—

(2) データベース及び簡易マニュアルの作成

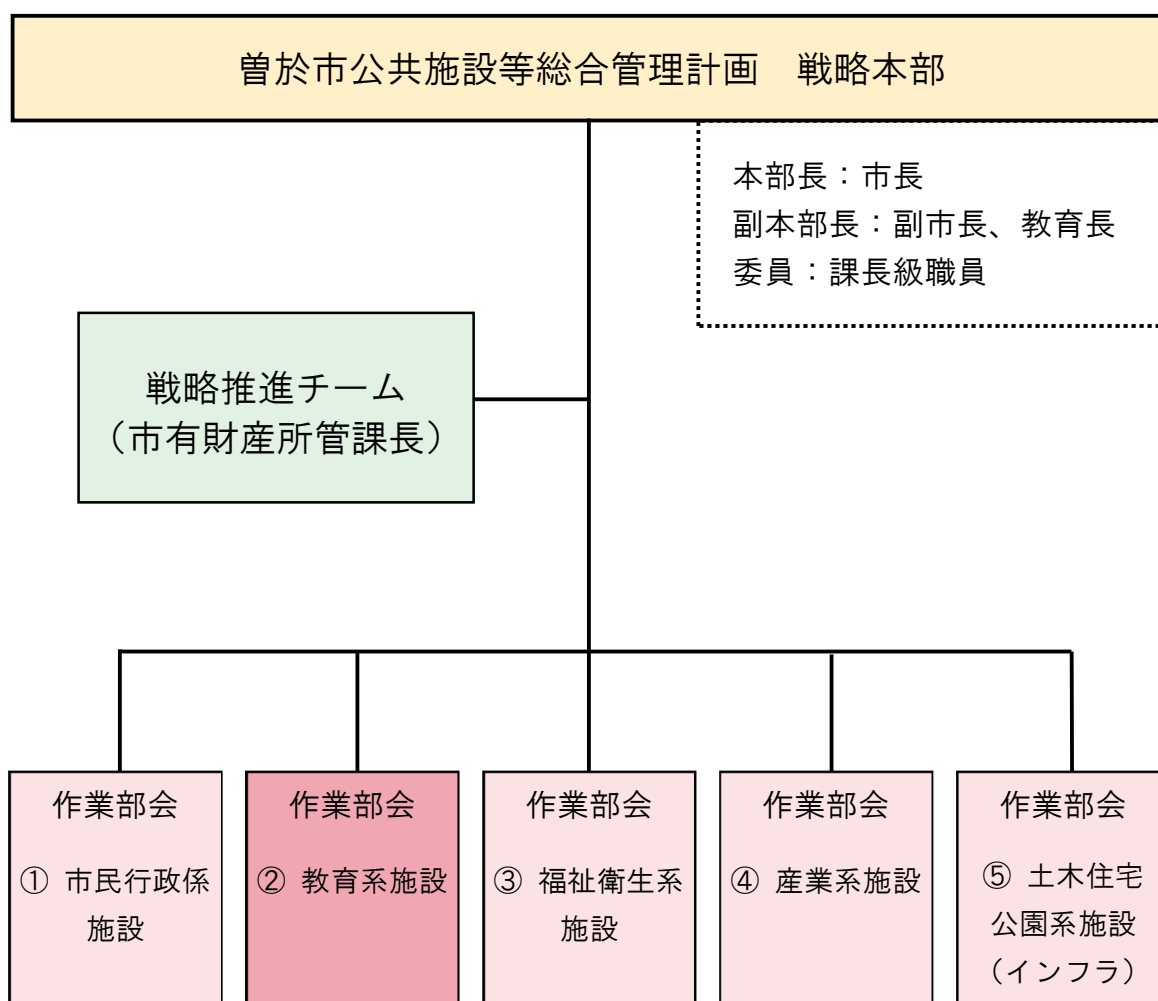
施設カルテの情報は、データベース化し、パソコン上で閲覧でき、情報の一元化、共有化、継続化を図れるようにし、職員の誰もが簡単に操作できる簡易マニュアルを作成します。

(3) データベースの活用

管理データベースは、今後の維持管理の効率化や最適化を図るとともに、改築や改修計画等の基礎的データとして、長期にわたり活用していきます。

2. 推進体制等の整備

本計画に基づいて、担当部署と各小中学校、給食センターの関係者などが協力・連携を図りながら、必要な改修等を計画的・効率的・継続的に取り組んでいくことが必要です。さらに、他の公共施設の長寿命化計画との関係や財政状況、改修の検討に必要な技術的支援など、関係各課と協議・協力しながら推進していくことが重要であるため、庁内組織である「曾於市公共施設等総合管理計画戦略本部」において、庁内横断的な意思決定や調整を図ることとします。

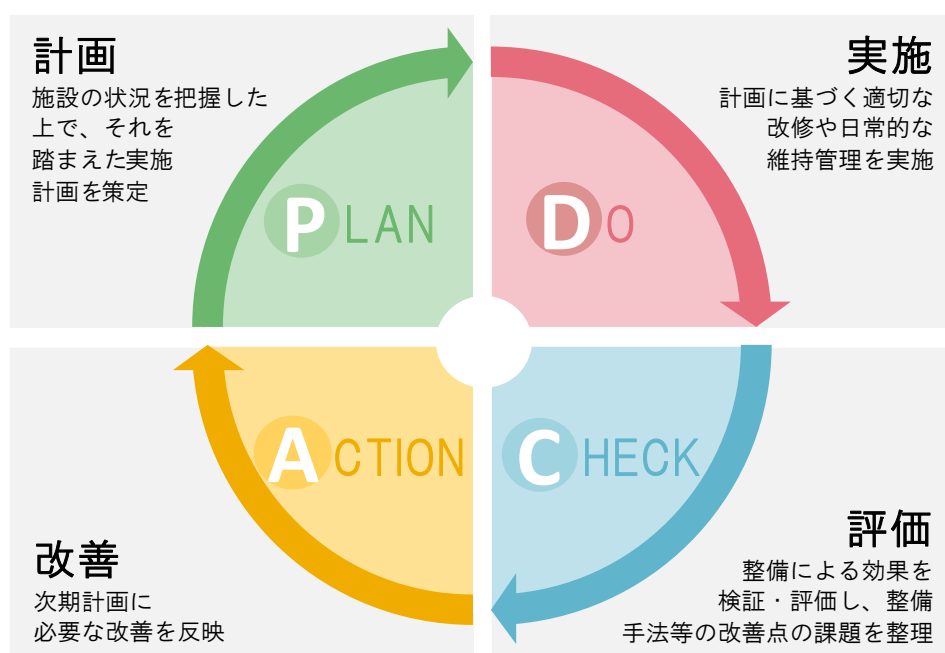


図：曾於市公共施設等総合管理計画戦略本部組織図

3. フォローアップ

効率的・効果的な施設整備を進めていくためには、本計画に基づき適切な改修や維持管理を行うだけではなく、常に施設の現状を把握し、問題点を検証・改善するとともに、計画の進捗状況や目標達成状況を正確に把握するという PDCA サイクルを確立し、的確にフォローアップをしていきます。

また、本計画は計画の進捗状況のフォローアップの結果や社会環境の変化等の状況を踏まえ、必要に応じ見直しを行うこととします。



図：PDCA サイクルイメージ